
庄原市 地域福祉の推進に関するアンケート調査

－ 報告書 －

令和3（2021）年10月
広島県 庄原市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 職業別構成	4
4 世帯構成	5
5 同居家族について	6
III 調査結果	7
1 近所付き合いの程度	7
2 今住んでいる地域について	8
3 地域の範囲	13
4 地域の行事や町内活動への参加状況	14
5 参加したことがない理由	18
6 手助けをしてもらいたいこと	20
7 手助けできること	22
8 地域の福祉課題への関心度	25
9 地域の問題や課題	27
10 経済的に困っている人等への支援について	30
11 子どもの貧困問題に関して必要な支援	32
12 災害時に手助けをしてくれる人	34
13 緊急時の備えとして重要なこと	37
14 ボランティア活動への参加状況	39
15 ボランティア活動への参加意向	41
16 ボランティア活動の輪を広げるために必要なこと	43
17 地域福祉を推進するためにできること	45
18 安心して生活するために必要なこと	47
19 今後、重要だと思う地域活動	50
20 福祉の担い手	52
21 行政が力を入れるべきこと	54
22 協議体の認知状況	57
23 協議体の取組状況	59
24 成年後見制度の認知状況	61
25 成年後見制度に関する相談窓口の認知状況	63
26 用語の認知状況	64
資料 調査票	70

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3期庄原市地域福祉計画」の策定にあたり、市民の福祉に関する現状や課題、意向等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民

【調査方法】

郵送配布～郵送回収

【調査時期】

令和3（2021）年8～9月

【回収結果】

配布数 ----- 3,000 件

有効回収数 ----- 1,771 件

有効回収率 ----- 59.0%

【地域別回収状況】

	構成比(%)	件数(件)
庄原地域	38.7	686
西城地域	11.7	207
東城地域	19.4	344
口和地域	7.5	133
高野地域	7.5	132
比和地域	6.7	118
総領地域	7.5	133
無回答	1.0	18
合計	100.0	1,771

注：問1回答結果より

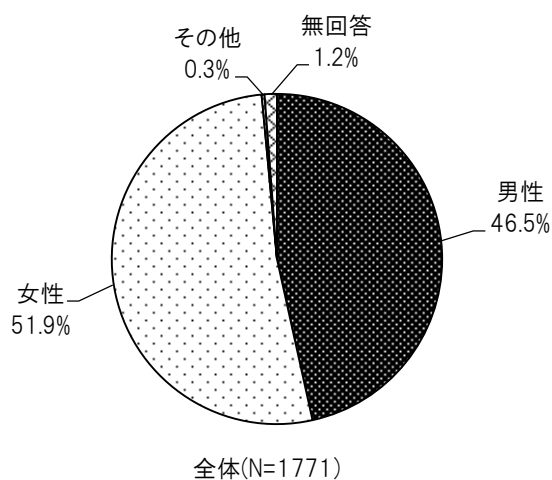
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別構成

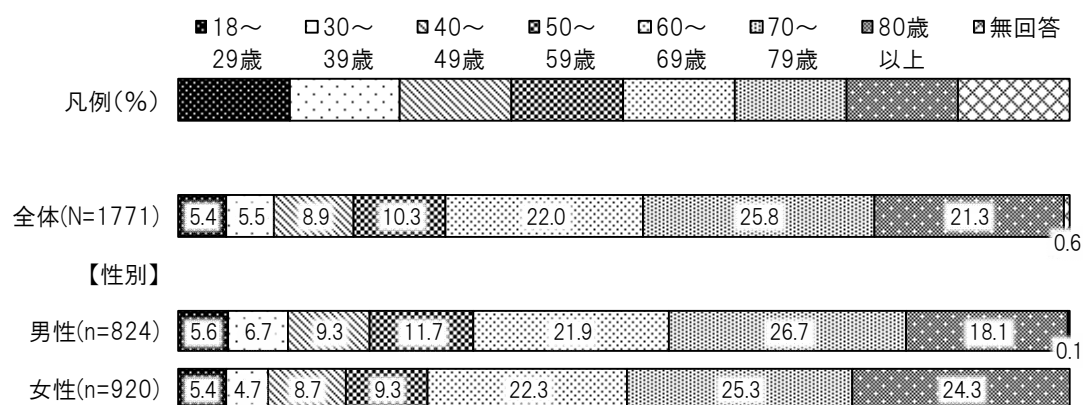
回答者の性別構成比は、「男性」が 46.5%、「女性」が 51.9%と、女性の割合が男性を上回っている。



2 年齢別構成

年齢別構成は、「70～79 歳」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「60～69 歳」(22.0%)、「80 歳以上」(21.3%)が続いており、『60 代以上 (合計)』で全体の約 7 割 (69.1%)を占めている。

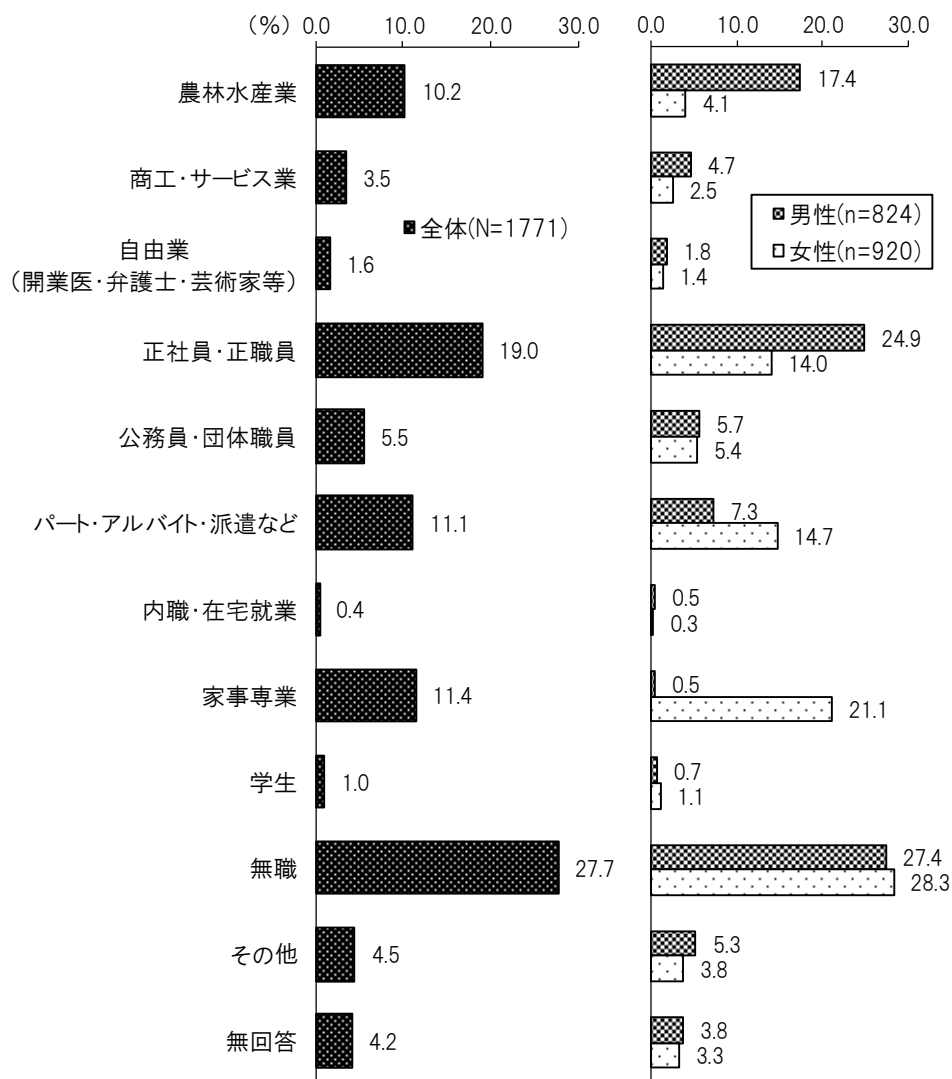
性別では、女性は男性に比べ「80 歳以上」の割合が高くなっている。



3 職業別構成

職業別構成については、「無職」の割合が27.7%と最も高く、次いで「正社員・正職員」(19.0%)、「家事専業」(11.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「農林水産業」「正社員・正職員」の割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣など」「家事専業」の割合が男性を上回っている。

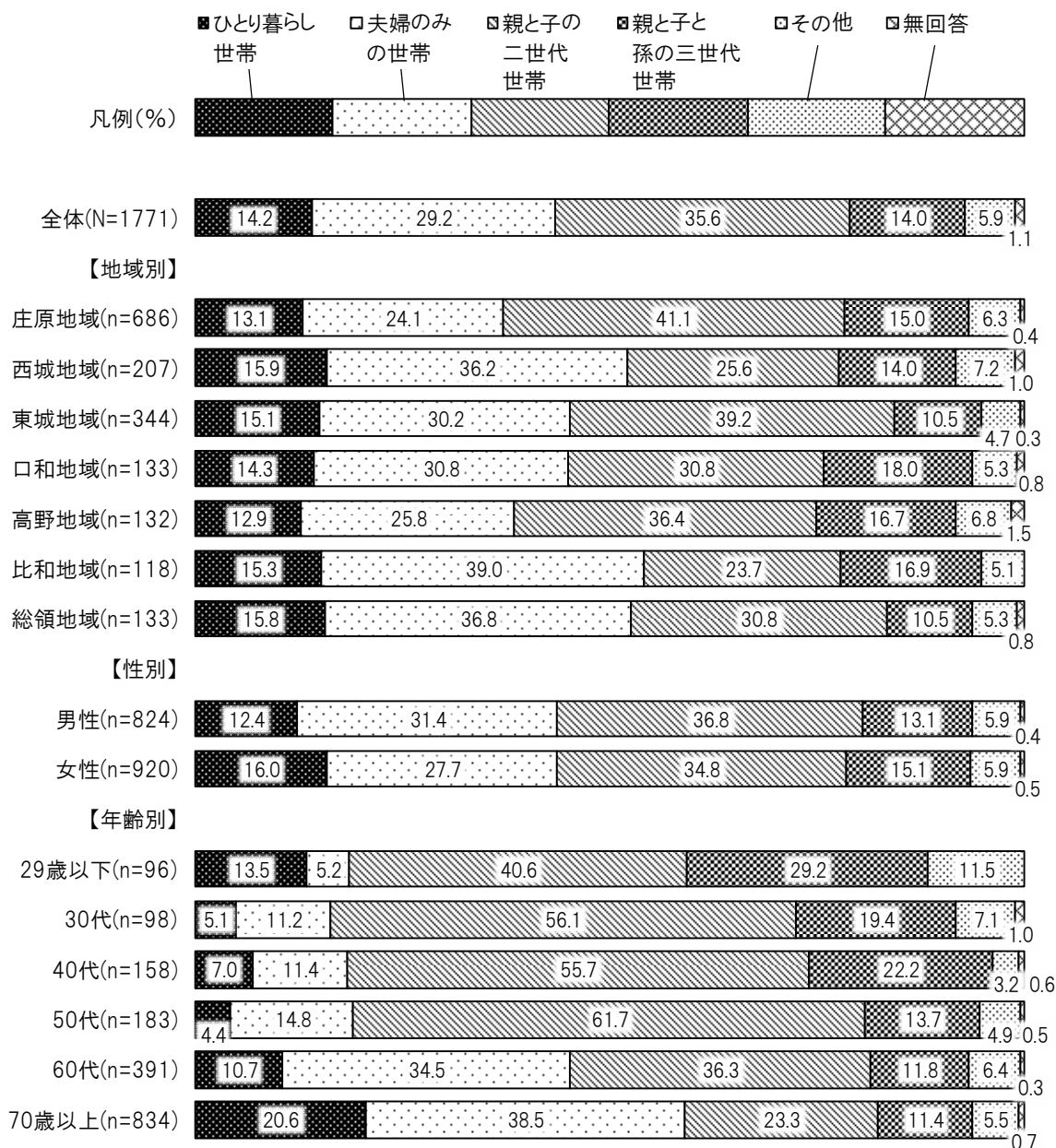


4 世帯構成

世帯構成については、「親と子の二世帯世帯」の割合が35.6%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」(29.2%)、「ひとり暮らし世帯」(14.2%)の順となっている。

地域別では、西城地域や比和地域、総領地域で「夫婦のみの世帯」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

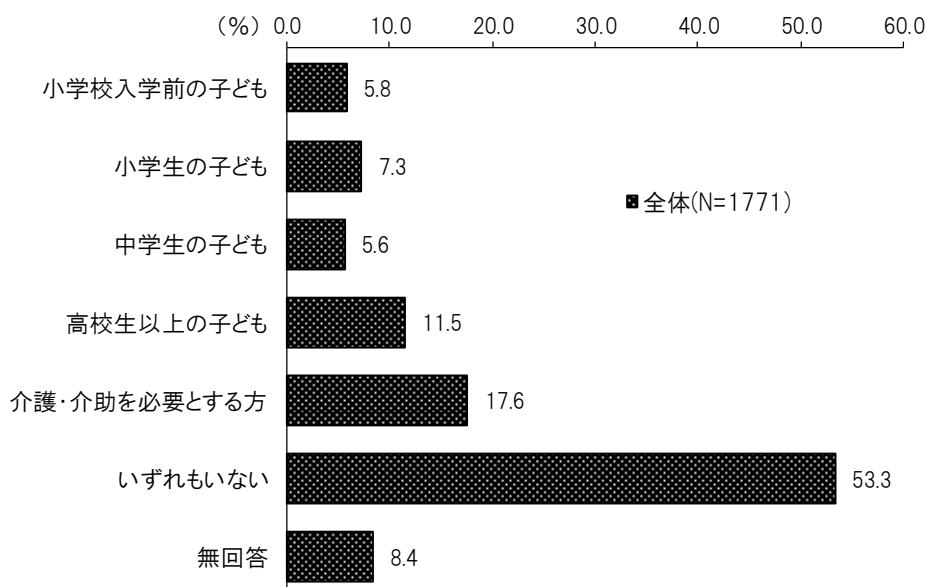
性別では大きな差はみられないが、年齢別では60代以上で「夫婦のみの世帯」、70歳以上で「ひとり暮らし世帯」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



5 同居家族について

同居家族については、「いずれもない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「介護・介助を必要とする方」（17.6%）、「高校生以上の子ども」（11.5%）、「小学生の子ども」（7.3%）の順となっている。

年齢別では、30代以下で「小学校入学前の子ども」、30～40代で「小学生の子ども」、40代で「中学生の子ども」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



単位 (%)	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生の子ども	高校生以上の子ども	介護・介助を必要とする方	いずれもない
全体(N=1771)	5.8	7.3	5.6	11.5	17.6	53.3
【年齢別】						
29歳以下(n=96)	18.8	4.2	4.2	21.9	10.4	50.0
30代(n=98)	29.6	26.5	7.1	4.1	15.3	36.7
40代(n=158)	8.9	27.8	21.5	23.4	10.1	36.1
50代(n=183)	5.5	3.8	10.9	19.7	16.4	55.2
60代(n=391)	5.1	4.9	2.6	10.5	21.2	58.1
70歳以上(n=834)	1.4	3.5	2.9	7.7	18.9	57.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。
（例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け）
但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

Ⅲ 調査結果

1 近所付き合いの程度

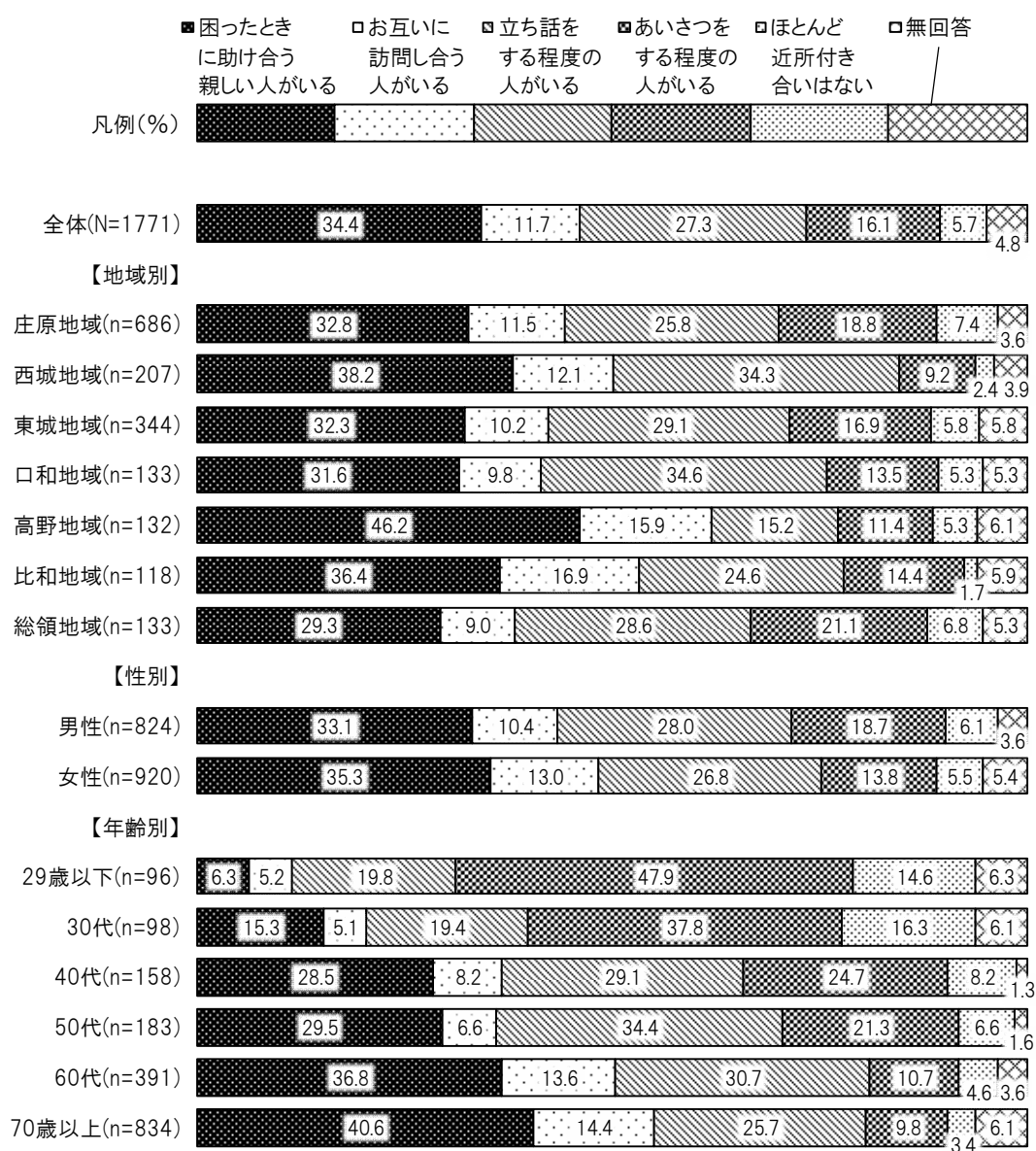
問7 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。（○印1つ）

近所付き合いの程度については、「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合が34.4%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がある」（27.3%）、「あいさつをする程度の人がある」（16.1%）、「お互いに訪問し合う人がいる」（11.7%）の順となっている。

地域別では、高野地域で「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「あいさつをする程度の人がある」の割合が高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「あいさつをする程度の人がある」、年齢が上がるほど「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合がそれぞれ高くなっている。

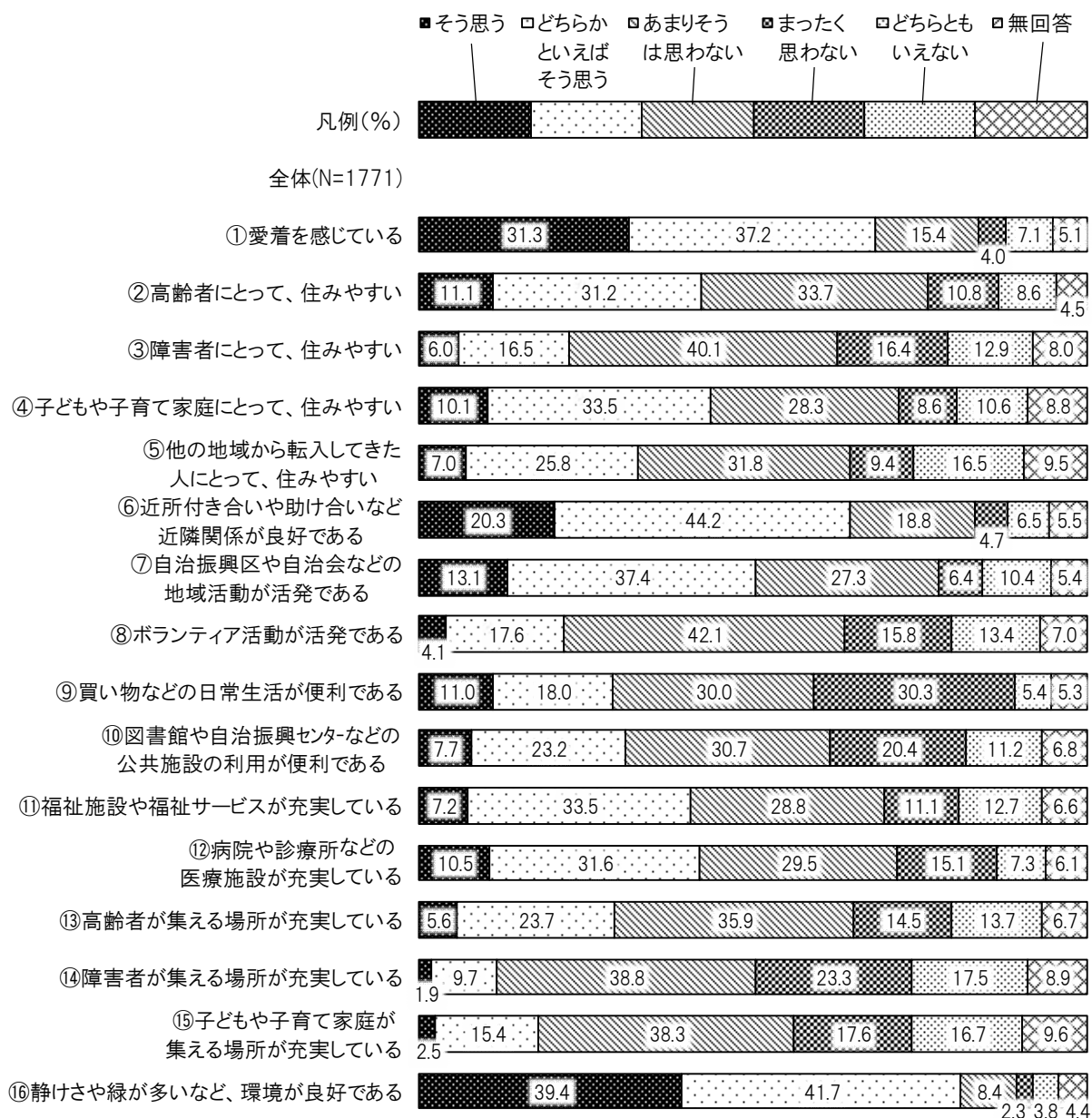


2 今住んでいる地域について

問8 あなたは、今住んでいる地域（おおむね自治振興区の区域）について、どのように
 思いますか。次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○印1つつつ）

今住んでいる地域について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が高い順に、「⑯静けさや緑が多いなど、環境が良好である」（81.1%）、「①愛着を感じている」（68.5%）、「⑥近所付き合いや助け合いなど近隣関係が良好である」（64.5%）、「⑦自治振興区や自治会などの地域活動が活発である」（50.5%）となっている。

一方、「あまりそうは思わない」と「まったく思わない」を合計した割合が高い順に、「⑭障害者が集える場所が充実している」（62.1%）、「⑨買い物などの日常生活が便利である」（60.3%）、「⑧ボランティア活動が活発である」（57.9%）、「③障害者にとって、住みやすい」（56.5%）、「⑮子どもや子育て家庭が集える場所が充実している」（55.9%）となっている。



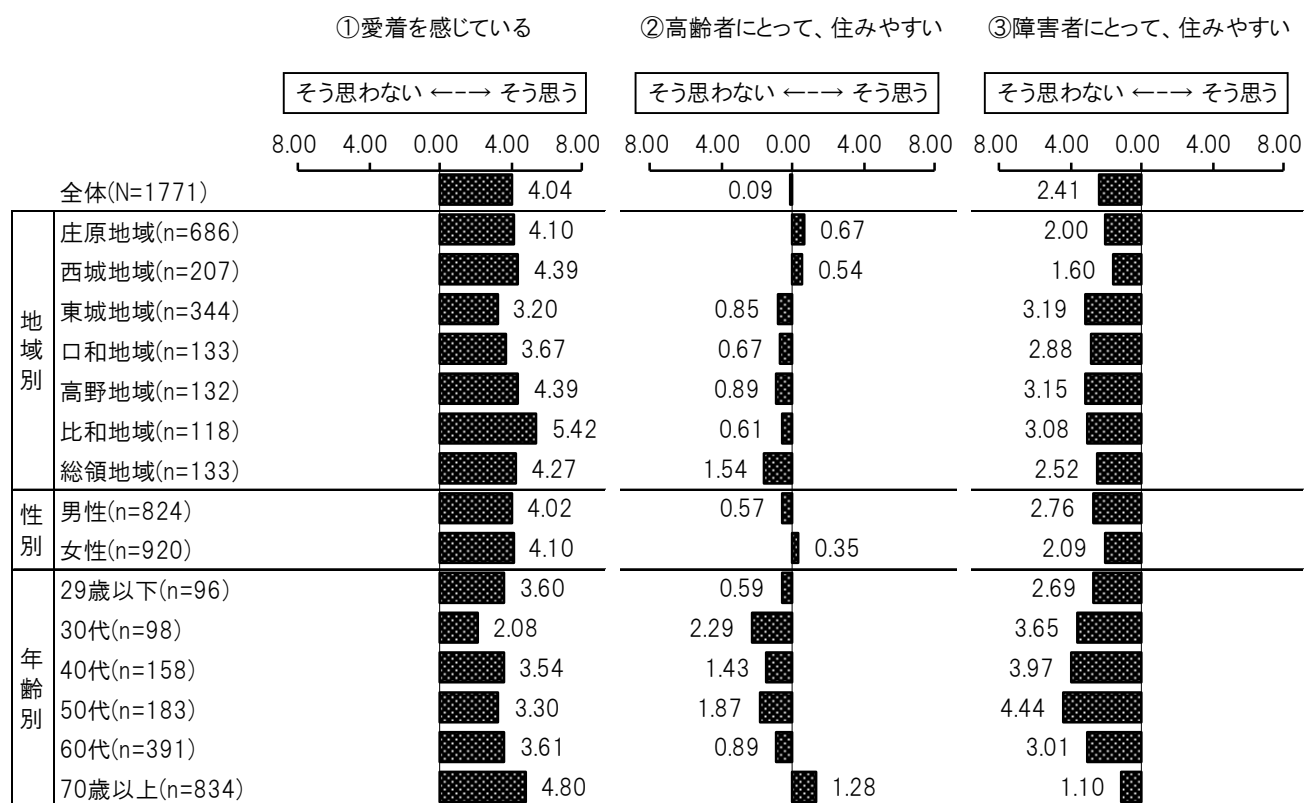
平均評定値※による属性別傾向をみると、「⑫病院や診療所などの医療施設が充実している」では、比和地域で『そう思わない』、西城地域で『そう思う』がそれぞれ高くなっている。また、比和地域では「⑥近所付き合いや助け合いなど近隣関係が良好である」で『そう思う』が高くなっている。

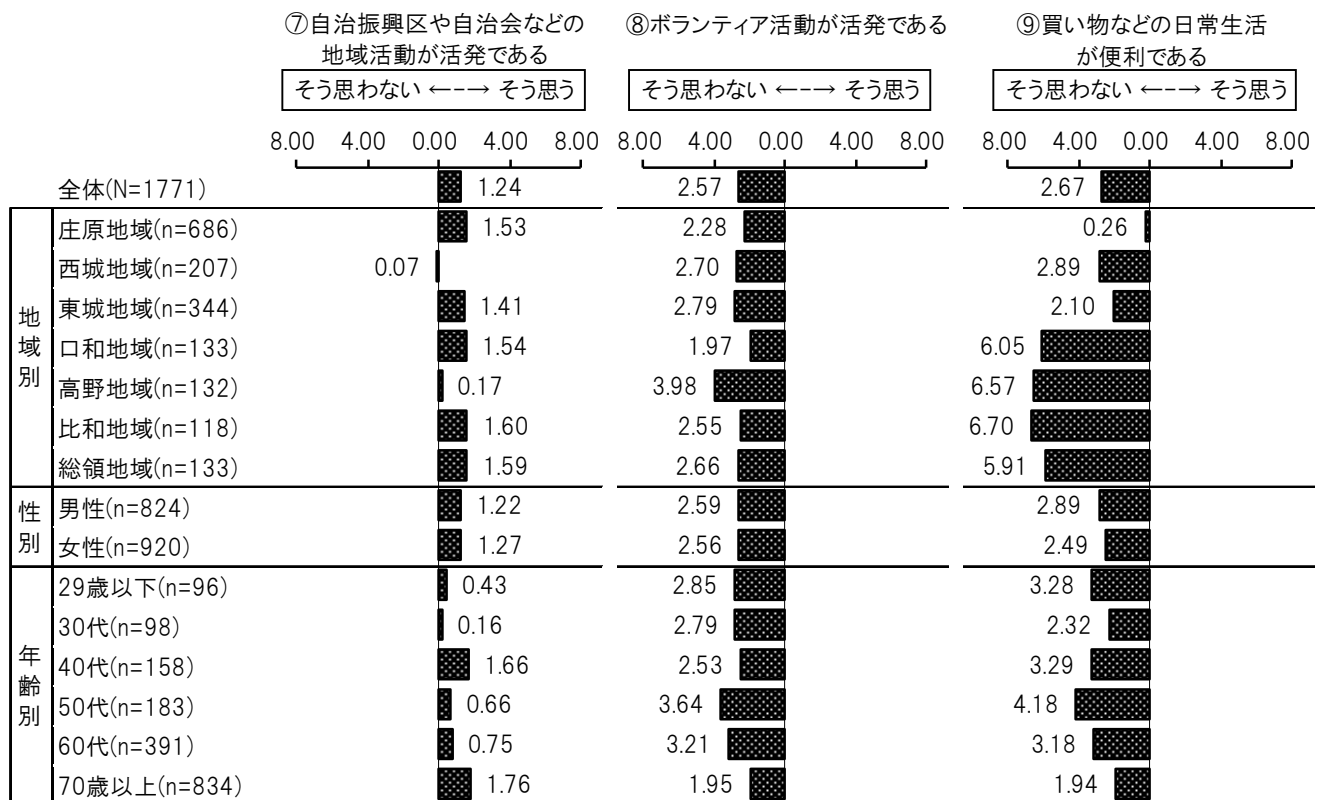
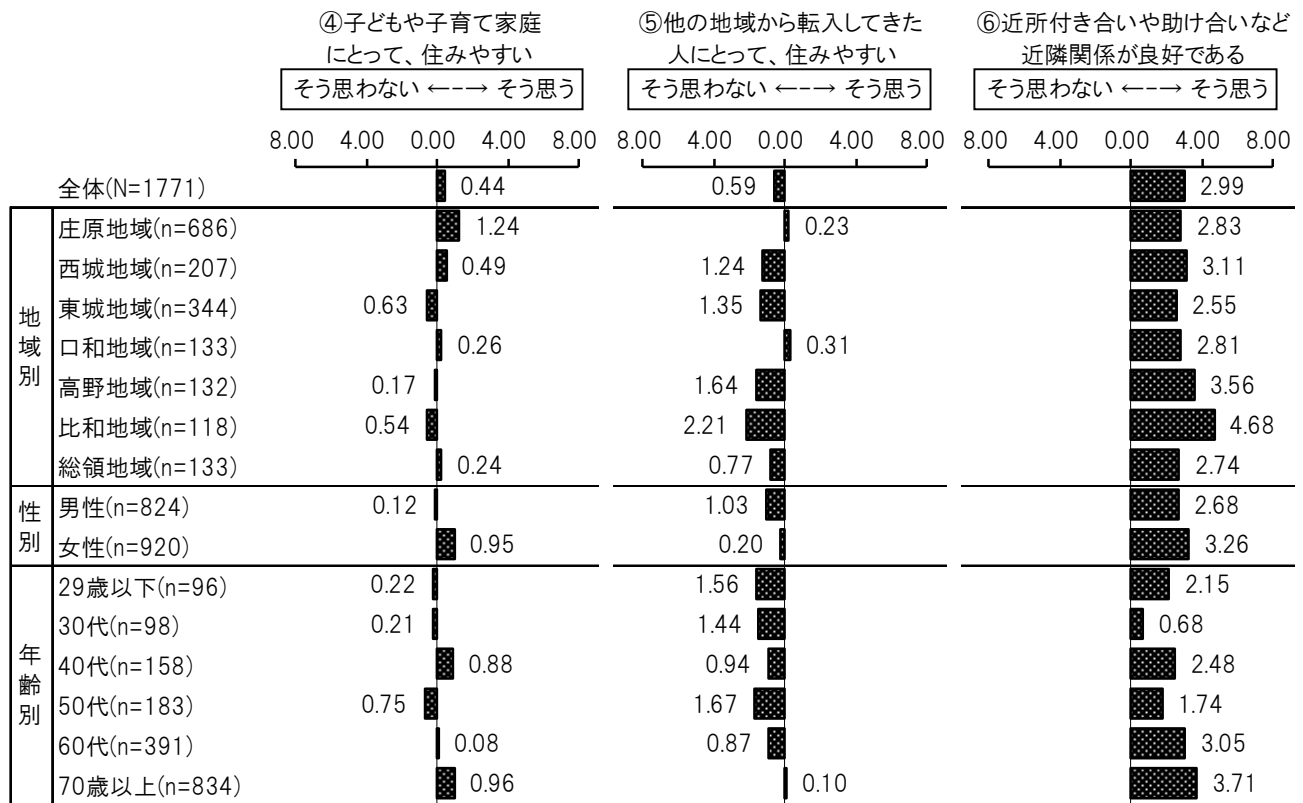
性別では、男性は女性に比べ「⑬高齢者が集える場所が充実している」で『そう思わない』が高くなっている。

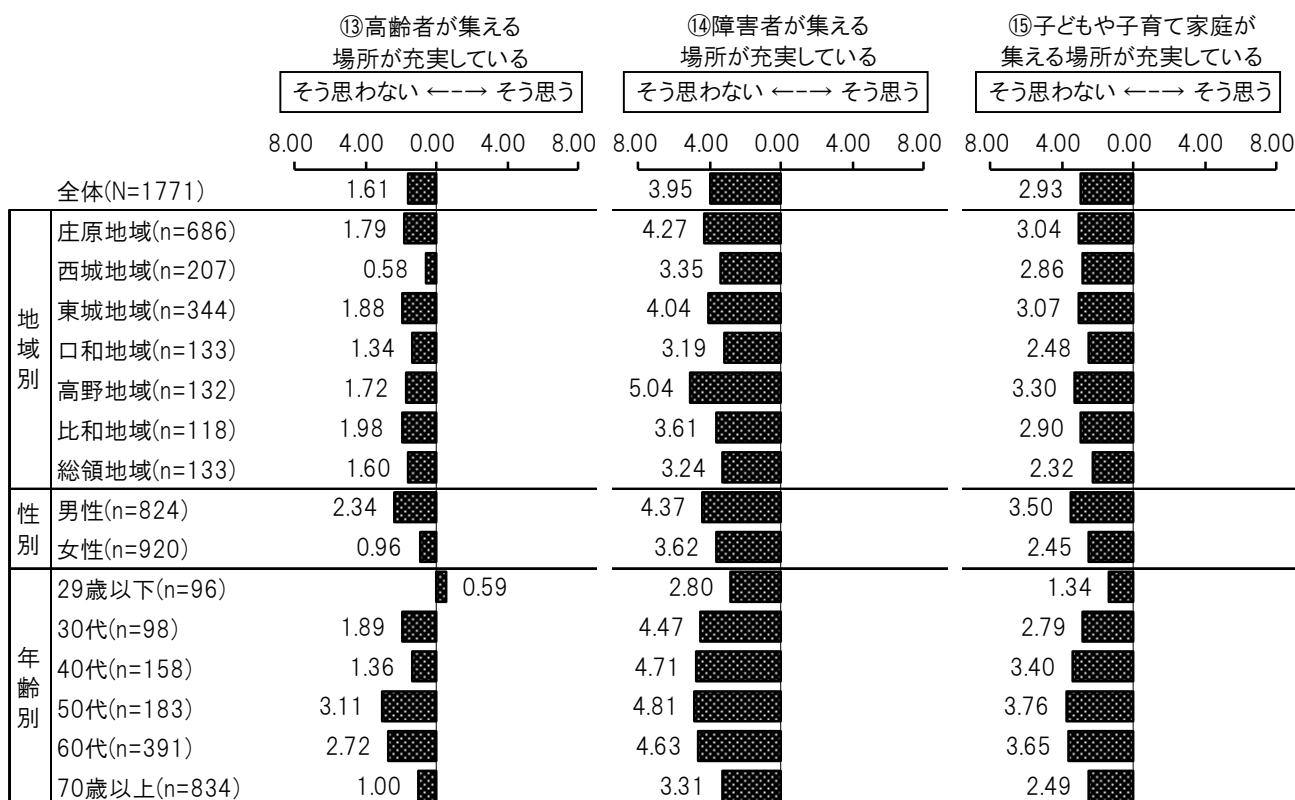
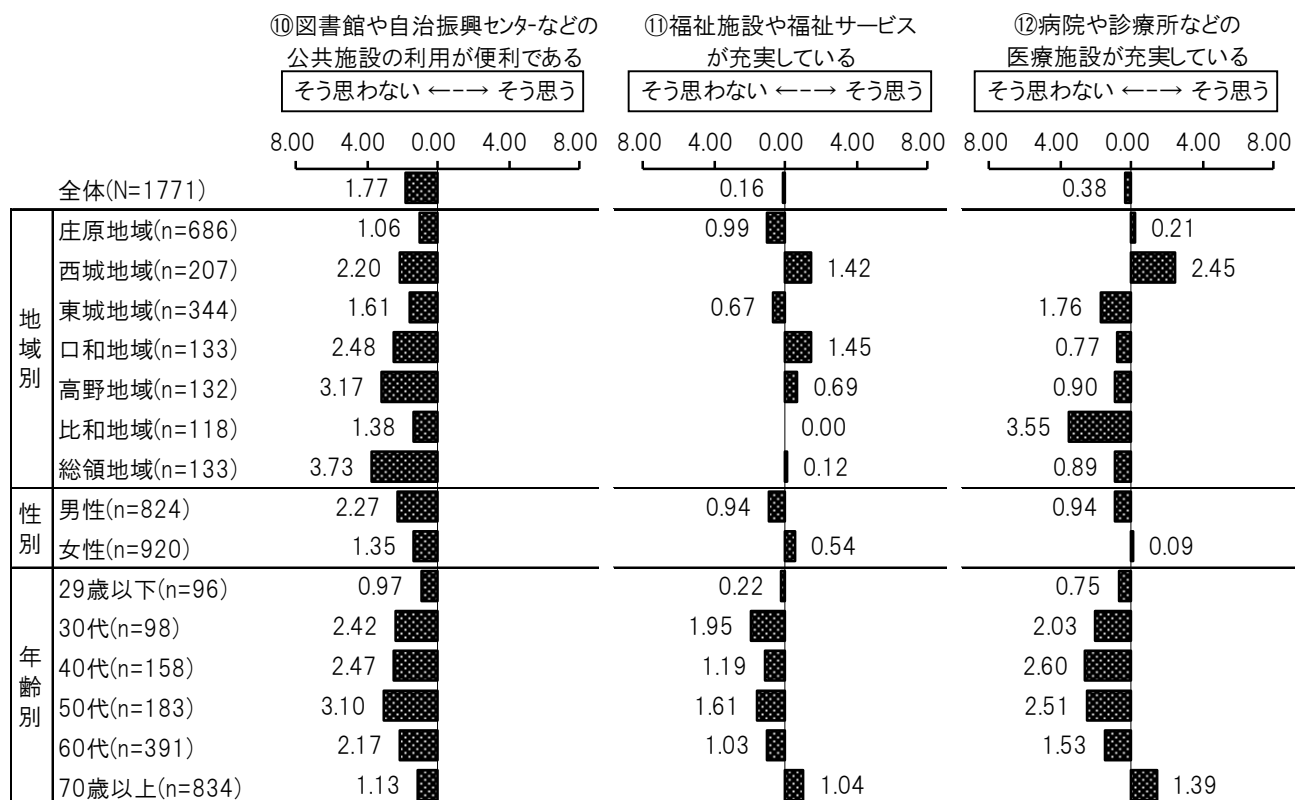
年齢別でみると、70歳以上では「①愛着を感じている」で『そう思う』が高くなっている。

※平均評定値

平均評定値とは、「そう思う」「まったく思わない」に10点、「どちらかといえばそう思う」「あまりそうは思わない」に5点、「どちらともいえない」に0点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、グラフ上では0を中心として左側が『そう思わない』、右側が『そう思う』、0に近いほど『どちらともいえない』を示す指標である。



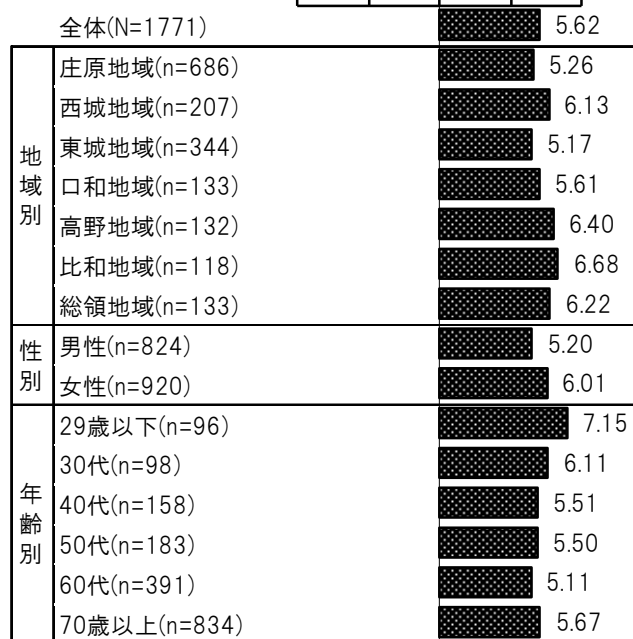




⑩ 静けさや緑が多いなど、
環境が良好である

そう思わない ←--→ そう思う

8.00 4.00 0.00 4.00 8.00



3 地域の範囲

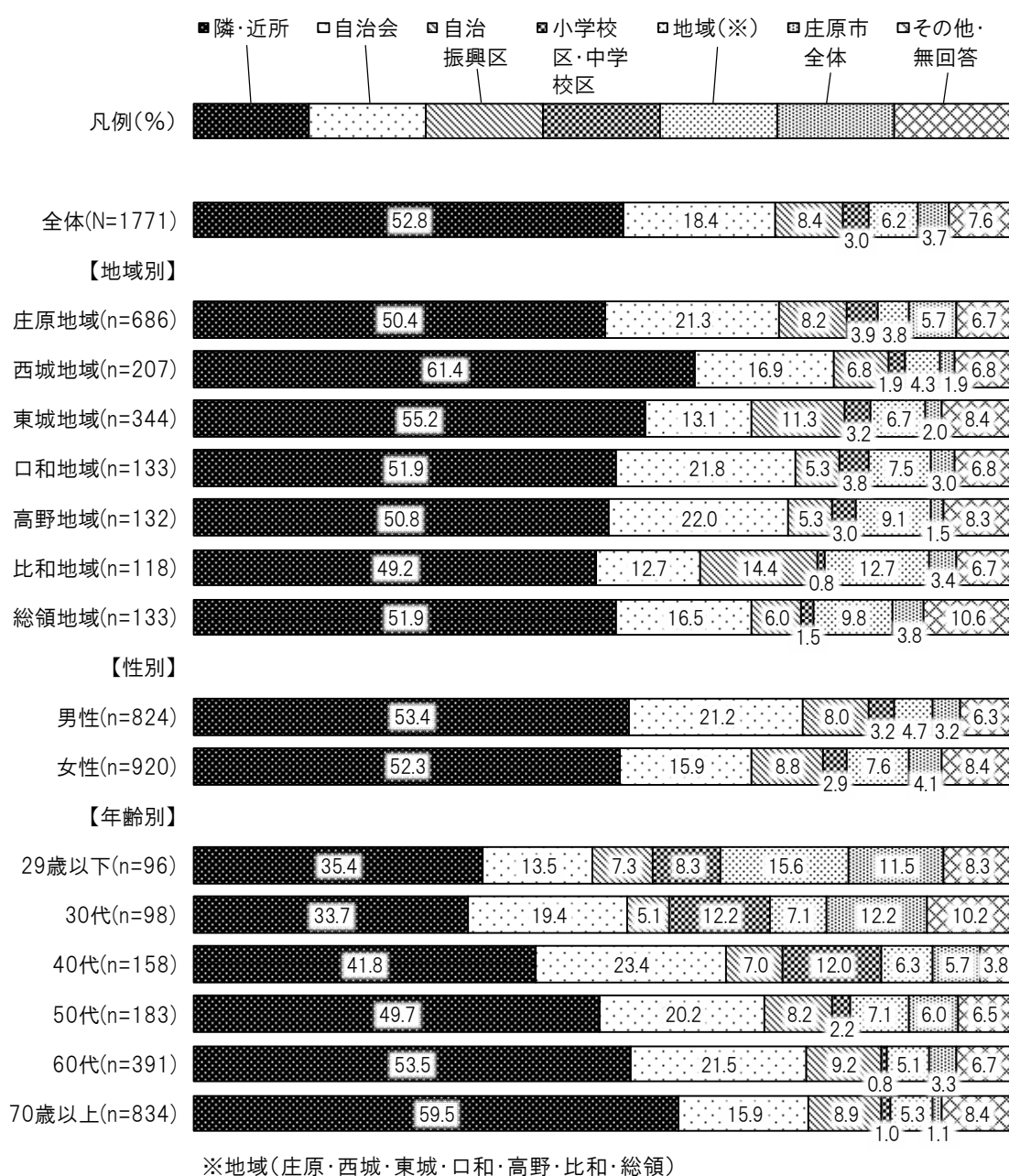
問9 あなたにとって、助け合いや支え合いができる「地域」とは、どの範囲だと思いますか。（○印1つ）

地域の範囲については、「隣・近所」の割合が52.8%と最も高く、次いで「自治会」(18.4%)、「自治振興区」(8.4%)の順となっている。

地域別では、西城地域で「隣・近所」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「自治会」の割合が高くなっている。

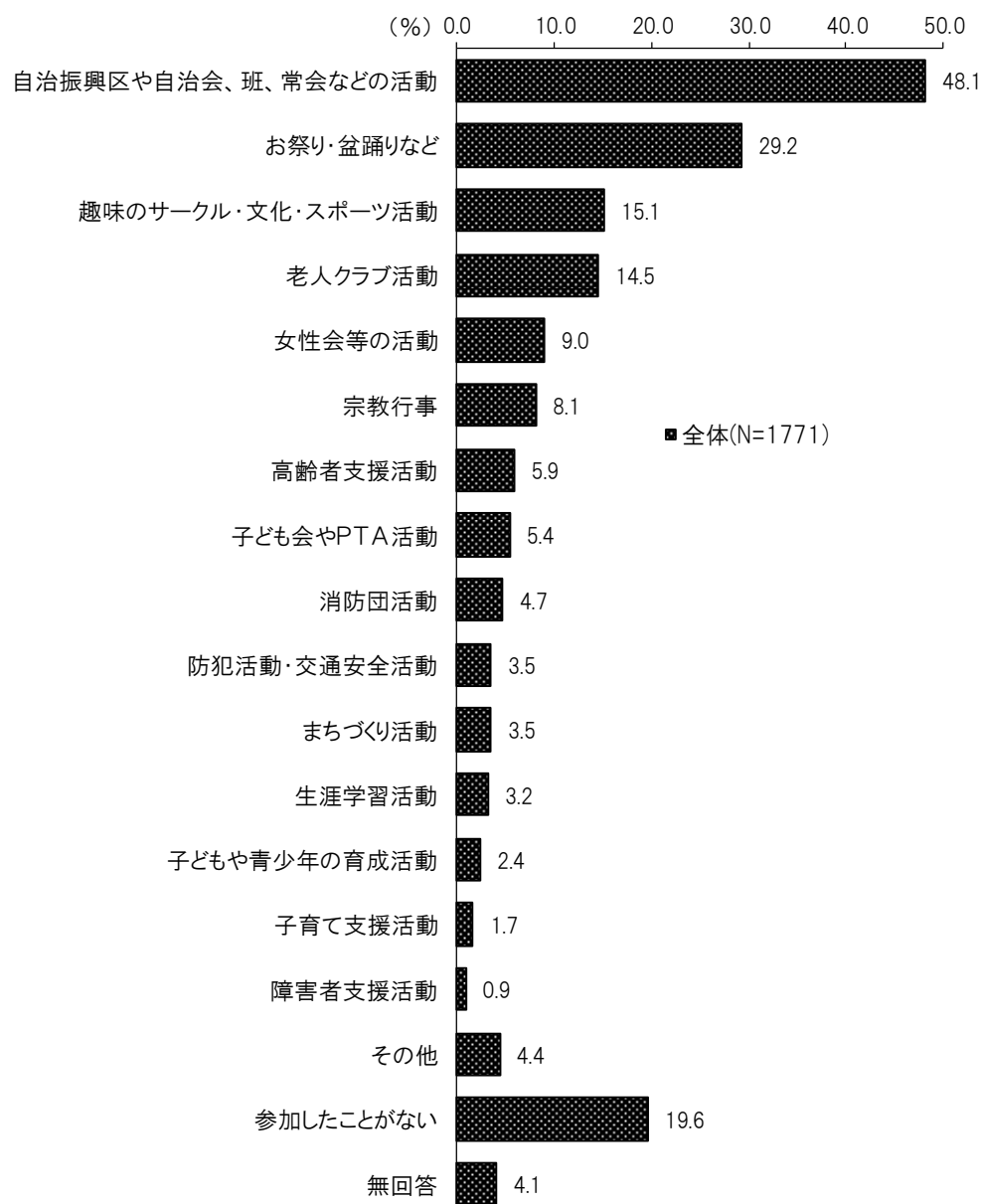
年齢別では、29歳以下で「地域（庄原・西城・東城・口和・高野・比和・総領）」の割合が高く、年齢が上がるほど「隣・近所」の割合が高くなっている。



4 地域の行事や町内活動への参加状況

問 10 あなたが参加している地域の行事や町内活動などについてお答えください。
(○印いくつでも)

地域の行事や町内活動への参加状況については、「自治振興区や自治会、班、常会などの活動」の割合が48.1%と最も高く、次いで「お祭り・盆踊りなど」(29.2%)、「趣味のサークル・文化・スポーツ活動」(15.1%)、「老人クラブ活動」(14.5%)の順となっている。一方、約2割(19.6%)は「参加したことがない」と回答している。



地域別では、西城地域で「自治振興区や自治会、班、常会などの活動」「老人クラブ活動」、比和地域で「お祭り・盆踊りなど」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

単位 (%)	自治振興区や自治会、班、常会などの活動	お祭り・盆踊りなど	趣味のサークル・文化・スポーツ活動	老人クラブ活動	女性会等の活動	宗教行事	高齢者支援活動	子ども会やPTA活動	消防団活動	防犯活動・交通安全	まちづくり活動
全体(N=1771)	48.1	29.2	15.1	14.5	9.0	8.1	5.9	5.4	4.7	3.5	3.5
【地域別】											
庄原地域(n=686)	51.2	29.6	15.2	10.1	8.0	8.0	4.7	7.1	3.5	3.5	1.9
西城地域(n=207)	58.5	19.8	18.4	30.4	7.7	6.3	4.8	2.4	4.3	2.9	2.4
東城地域(n=344)	39.0	28.8	15.1	10.2	8.7	7.0	6.1	5.8	4.9	3.8	5.2
口和地域(n=133)	43.6	33.8	20.3	15.8	15.8	5.3	8.3	4.5	9.0	3.8	3.0
高野地域(n=132)	49.2	31.1	13.6	24.2	7.6	12.1	3.8	6.1	3.8	7.6	6.1
比和地域(n=118)	49.2	38.1	15.3	18.6	10.2	11.0	10.2	1.7	6.8	0.8	5.9
総領地域(n=133)	43.6	29.3	7.5	8.3	10.5	10.5	8.3	3.8	6.8	2.3	3.8

単位 (%)	生涯学習活動	子どもや青少年の育成活動	子育て支援活動	障害者支援活動	その他	参加したことがない
全体(N=1771)	3.2	2.4	1.7	0.9	4.4	19.6
【地域別】						
庄原地域(n=686)	3.2	2.5	1.0	0.7	3.9	19.7
西城地域(n=207)	4.8	1.9	1.0	0.0	6.8	15.5
東城地域(n=344)	2.0	2.0	3.2	1.5	4.4	23.5
口和地域(n=133)	3.8	4.5	1.5	0.0	5.3	16.5
高野地域(n=132)	3.8	1.5	1.5	0.0	6.1	15.2
比和地域(n=118)	4.2	2.5	2.5	5.1	0.0	21.2
総領地域(n=133)	2.3	2.3	2.3	0.0	5.3	22.6

性別では、男性は女性に比べ「自治振興区や自治会、班、常会などの活動」「お祭り・盆踊りなど」の割合が高く、女性は「女性会等の活動」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30～40代で「子ども会やPTA活動」、50～60代で「自治振興区や自治会、班、常会などの活動」、70歳以上で「老人クラブ活動」の割合がそれぞれ高く、若い年齢層ほど「参加したことがない」の割合が高くなっている。

単位 (%)	自治振興区や自治会の活動	お祭り・盆踊りなど	趣味・サークル・文化活動	老人クラブ活動	女性会等の活動	宗教行事	高齢者支援活動	子ども会やPTA活動	消防団活動	防犯活動・交通安全	まちづくり活動
全体(N=1771)	48.1	29.2	15.1	14.5	9.0	8.1	5.9	5.4	4.7	3.5	3.5
【性別】											
男性(n=824)	59.0	33.4	13.6	13.8	1.6	11.9	5.8	5.2	9.3	5.3	4.5
女性(n=920)	38.6	25.7	16.5	15.0	15.9	4.5	5.9	5.7	0.8	1.8	2.5
【年齢別】											
29歳以下(n=96)	8.3	35.4	4.2	1.0	0.0	0.0	0.0	2.1	1.0	1.0	2.1
30代(n=98)	25.5	24.5	8.2	1.0	0.0	1.0	0.0	19.4	9.2	3.1	4.1
40代(n=158)	42.4	36.1	11.4	0.0	3.8	5.7	0.0	31.0	14.6	7.6	4.4
50代(n=183)	59.0	35.0	8.7	1.1	6.0	9.3	0.5	8.2	15.8	6.0	4.9
60代(n=391)	64.5	33.2	13.8	4.9	11.0	9.2	5.1	1.0	3.6	2.3	3.6
70歳以上(n=834)	46.4	24.7	20.0	27.7	11.9	9.6	9.8	0.7	1.0	3.1	2.9

単位 (%)	生涯学習活動	子どもや青少年の育成活動	子育て支援活動	障害者支援活動	その他	参加したことがない
全体(N=1771)	3.2	2.4	1.7	0.9	4.4	19.6
【性別】						
男性(n=824)	2.4	3.2	1.0	1.0	3.6	17.5
女性(n=920)	3.9	1.7	2.4	0.9	5.0	21.6
【年齢別】						
29歳以下(n=96)	0.0	0.0	2.1	1.0	0.0	53.1
30代(n=98)	1.0	2.0	6.1	0.0	2.0	34.7
40代(n=158)	1.3	7.6	5.1	1.3	3.2	24.1
50代(n=183)	3.3	6.6	1.1	2.2	2.7	21.9
60代(n=391)	1.8	1.8	1.8	0.5	3.1	15.1
70歳以上(n=834)	4.9	1.1	0.6	0.8	6.5	15.0

付き合い程度別（問7）では、付き合いが親しい層で割合の高い項目が多くみられ、付き合いがない層で「参加したことがない」の割合が高くなっている。

単位（％）	活動 会、自治 班、振興 区や自治 の 常会など	お祭 り・盆 踊りな ど	化趣 ・味の サー クル 活動・ 文	老人 クラ ブ活 動	女性 会等 の活 動	宗教 行事	高齢 者支 援活 動	動子 ども 会や PTA 活	消防 団活 動	活動 防犯 活動・ 交通 安全
全体(N=1771)	48.1	29.2	15.1	14.5	9.0	8.1	5.9	5.4	4.7	3.5
【付き合い程度別】										
親しい人がいる(n=609)	59.3	35.6	22.7	20.9	14.4	12.3	10.0	4.6	6.2	4.6
訪問し合う人がいる(n=208)	59.6	36.5	23.1	17.8	13.5	12.0	9.1	4.8	3.4	6.7
立ち話をする程度(n=483)	53.8	28.0	11.2	13.5	6.0	6.8	3.5	7.5	4.1	2.5
あいさつをする程度(n=285)	29.8	24.6	6.3	5.3	2.5	3.2	1.8	6.0	5.3	1.4
付き合いがない(n=101)	7.9	9.9	4.0	4.0	2.0	0.0	1.0	2.0	2.0	1.0

単位（％）	まち づくり 活動	生涯 学習 活動	成子 活動 ども もや 青少 年の 育	子育 て支 援活 動	障 害者 支 援活 動	そ の 他	参 加し たこ とが ない
全体(N=1771)	3.5	3.2	2.4	1.7	0.9	4.4	19.6
【付き合い程度別】							
親しい人がいる(n=609)	5.4	4.3	2.6	2.3	1.1	5.4	11.7
訪問し合う人がいる(n=208)	5.8	6.7	2.9	1.0	1.4	3.4	12.0
立ち話をする程度(n=483)	2.5	2.1	2.5	1.4	0.2	3.3	16.8
あいさつをする程度(n=285)	1.4	1.1	2.1	2.1	1.1	3.2	35.8
付き合いがない(n=101)	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	10.9	55.4

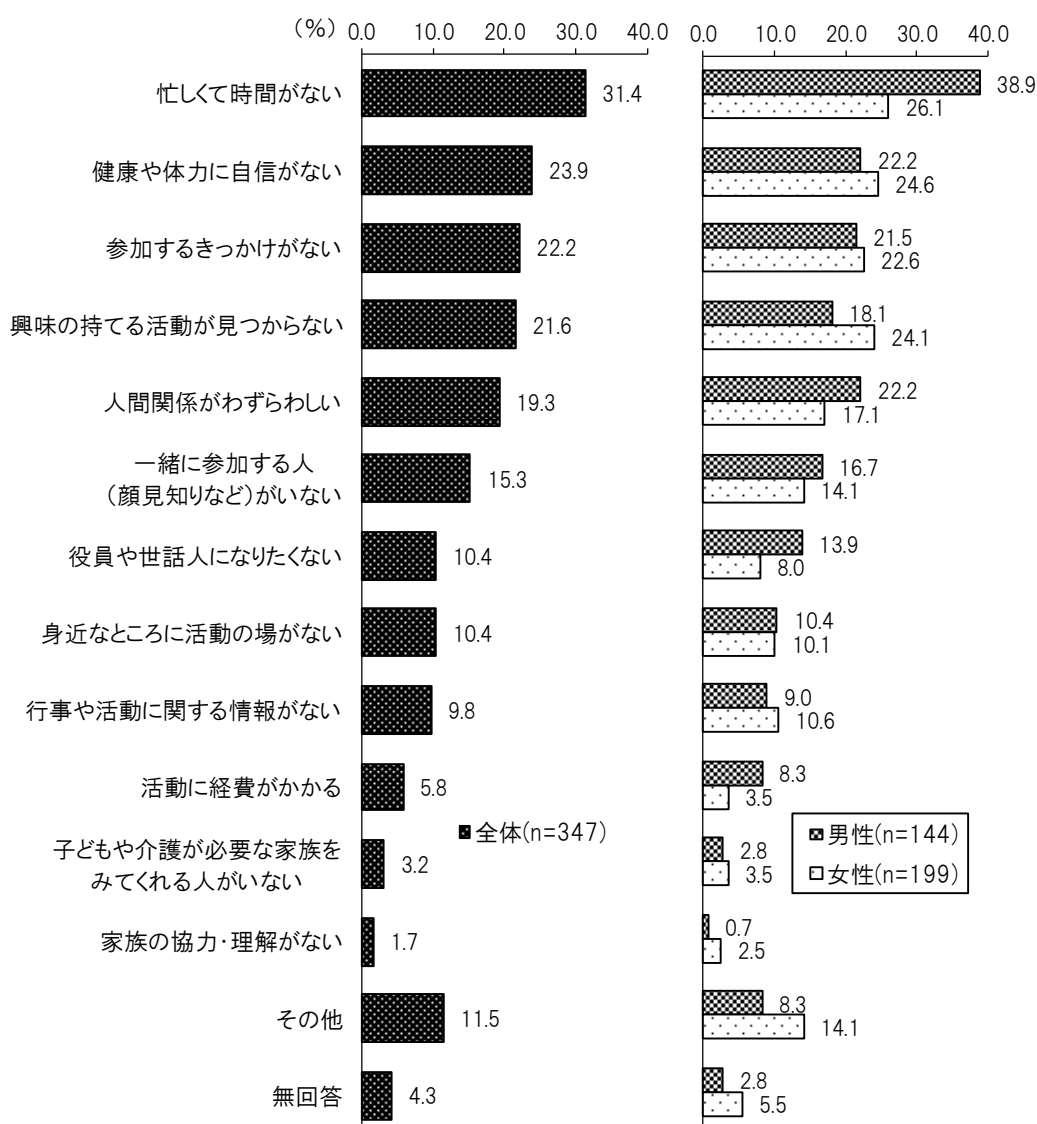
5 参加したことがない理由

【問 10 で「17」と回答した方におたずねします】

問 11 参加したことがない理由は何ですか。（○印いくつでも）

参加したことがない理由については、「忙しくて時間がない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」(23.9%)、「参加するきっかけがない」(22.2%)、「興味の持てる活動が見つからない」(21.6%)、「人間関係がわずらわしい」(19.3%)の順となっている。また「その他」では、「親が参加しているため」「コロナでできない」などの回答がみられた。

性別では、男性は「忙しくて時間がない」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、29 歳以下で「身近なところに活動の場がない」、30 代以下で「参加するきっかけがない」、30 代で「人間関係がわずらわしい」、40 代で「忙しくて時間がない」、70 歳以上で「健康や体力に自信がない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

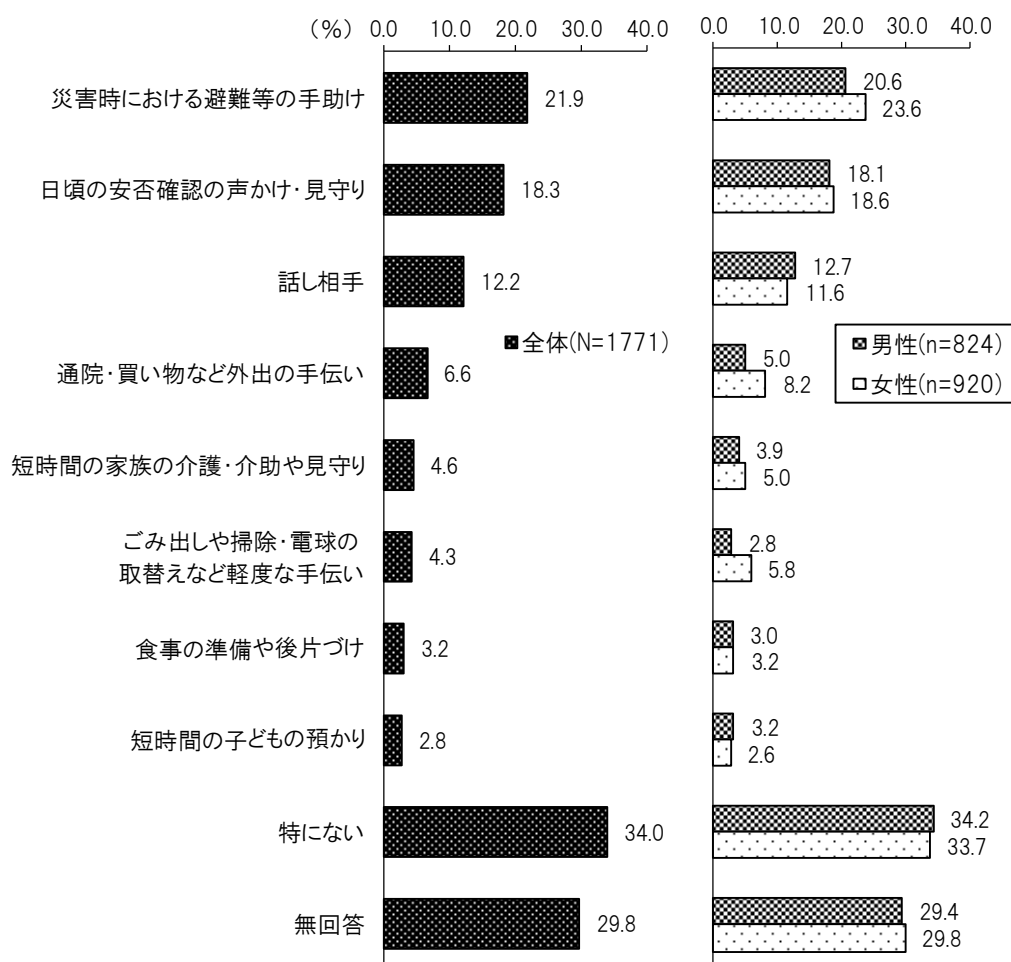
単位 (%)	忙しくて時間がない	健康や体力に自信がない	参加するきっかけがない	興味を持てる活動が見つからない	人間関係がわずらわしい	一緒に参加する人（顔見知りなど）が少ない	役員や世話人になりたくない	身近なところに活動の場がない	行事や活動に関する情報がない	活動に経費がかかる	子どもや介護が必要な家族をみてくれる人がいない	家族の協力・理解がない	その他
全体(n=347)	31.4	23.9	22.2	21.6	19.3	15.3	10.4	10.4	9.8	5.8	3.2	1.7	11.5
【年齢別】													
29歳以下(n=51)	35.3	0.0	41.2	21.6	11.8	23.5	5.9	25.5	25.5	5.9	3.9	2.0	15.7
30代(n=34)	44.1	8.8	44.1	32.4	35.3	29.4	20.6	8.8	20.6	8.8	5.9	0.0	2.9
40代(n=38)	55.3	5.3	31.6	18.4	21.1	13.2	10.5	0.0	10.5	2.6	0.0	2.6	5.3
50代(n=40)	47.5	10.0	15.0	32.5	17.5	22.5	10.0	12.5	0.0	7.5	7.5	0.0	20.0
60代(n=59)	37.3	23.7	15.3	27.1	20.3	16.9	16.9	11.9	8.5	6.8	3.4	5.1	5.1
70歳以上(n=125)	11.2	48.0	11.2	13.6	17.6	5.6	6.4	6.4	4.0	4.8	1.6	0.8	14.4

6 手助けをしてもらいたいこと

問 12① ご近所のお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをしてもらいたいこと」はありますか。（○印いくつでも）

手助けをしてもらいたいことについては、「災害時における避難等の手助け」の割合が21.9%と最も高く、次いで「日頃の安否確認の声かけ・見守り」（18.3%）、「話し相手」（12.2%）、「通院・買い物など外出の手伝い」（6.6%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



年齢別では、29歳以下で「災害時における避難等の手助け」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

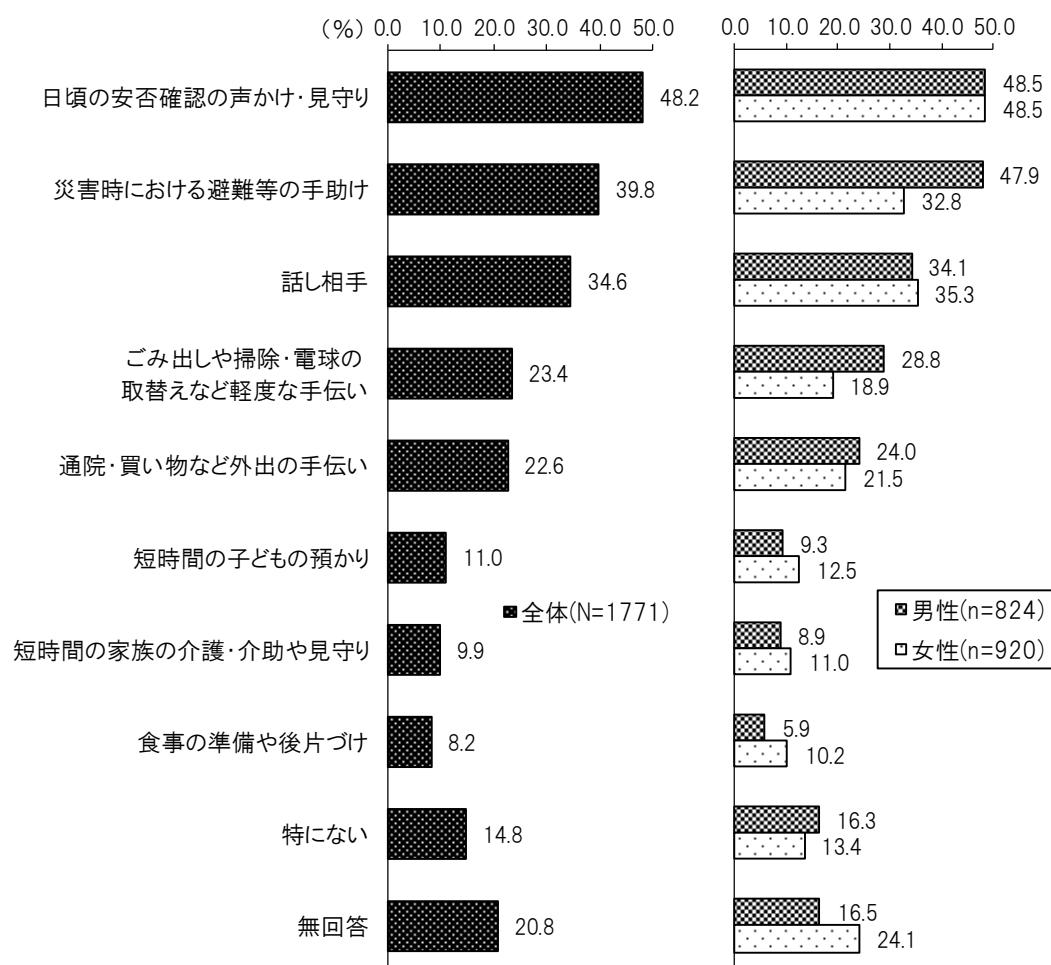
単位 (%)	災害時における避難等の手助け	日頃の安否確認の声かけ・見守り	話し相手	通院・買い物など外出の手伝い	短時間の家族の介護・介助や見守り	ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い	食事の準備や後片づけ	短時間の子どもの預かり	特にない
全体(N=1771)	21.9	18.3	12.2	6.6	4.6	4.3	3.2	2.8	34.0
【年齢別】									
29歳以下(n=96)	37.5	22.9	12.5	5.2	9.4	1.0	3.1	10.4	27.1
30代(n=98)	27.6	17.3	10.2	6.1	6.1	5.1	4.1	10.2	46.9
40代(n=158)	22.8	17.7	7.6	3.2	3.8	3.8	3.2	7.6	36.7
50代(n=183)	20.2	19.7	14.2	4.9	7.1	3.3	2.7	2.7	39.9
60代(n=391)	20.2	16.4	10.7	3.8	5.1	1.5	1.5	1.3	39.4
70歳以上(n=834)	20.6	18.5	13.4	9.1	3.0	6.2	3.7	1.0	29.3

7 手助けできること

問 12② ご近所のお付き合いの中で、あなたのご近所に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたが「手助けできること」はありますか。（○印いくつでも）

手助けできることについては、「日頃の安否確認の声かけ・見守り」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「災害時における避難等の手助け」（39.8%）、「話し相手」（34.6%）、「ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い」（23.4%）、「通院・買い物など外出の手伝い」（22.6%）の順となっている。

性別では、男性は「災害時における避難等の手助け」「ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い」の割合が女性を大きく上回っている。

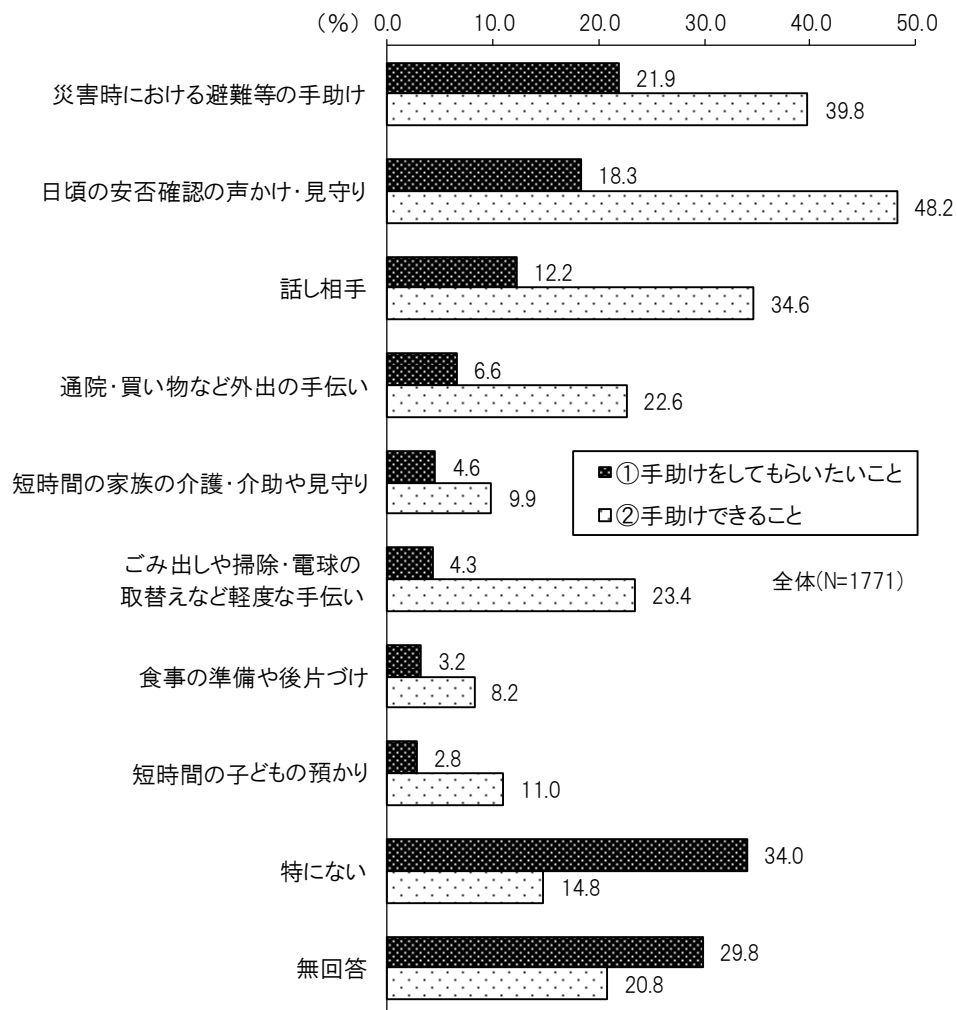


年齢別では、30代で「特にない」、40代で「災害時における避難等の手助け」、60代で「通院・買い物など外出の手伝い」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層で「日頃の安否確認の声かけ・見守り」「話し相手」など手助けできることが多く、付き合いの程度と手助けできることには関連がみられる。

単位 (%)	日頃の安否確認の声かけ・見守り	災害時における避難等の手助け	話し相手	ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い	通院・買い物など外出の手伝い	短時間の子どもの預かり	短時間の家族の介護・介助や見守り	食事の準備や後片づけ	特にない
全体(N=1771)	48.2	39.8	34.6	23.4	22.6	11.0	9.9	8.2	14.8
【年齢別】									
29歳以下(n=96)	43.8	51.0	35.4	29.2	24.0	18.8	16.7	12.5	14.6
30代(n=98)	41.8	43.9	29.6	18.4	16.3	13.3	8.2	4.1	26.5
40代(n=158)	58.9	57.6	39.9	31.6	25.9	15.2	12.0	10.1	10.8
50代(n=183)	55.2	51.9	27.9	30.1	25.1	13.1	10.4	8.2	14.8
60代(n=391)	60.6	51.4	40.2	27.4	30.4	13.3	10.0	8.4	13.3
70歳以上(n=834)	40.5	26.5	33.0	18.6	18.3	7.4	8.9	7.8	15.0
【付き合い程度別】									
親しい人がいる(n=609)	58.3	46.8	43.2	27.1	27.4	13.0	13.3	10.8	10.2
訪問し合う人がいる(n=208)	55.3	39.4	45.7	30.8	29.8	10.6	11.5	9.6	10.6
立ち話をする程度(n=483)	49.1	37.7	33.7	22.4	22.6	10.1	7.0	6.6	15.3
あいさつをする程度(n=285)	36.5	37.5	19.3	17.9	12.3	9.5	7.4	5.6	20.7
付き合いがない(n=101)	19.8	25.7	14.9	16.8	13.9	7.9	9.9	5.0	32.7

【参考／問 12「①手助けをしてもらいたいこと」と「②手助けできること」の比較】



8 地域の福祉課題への関心度

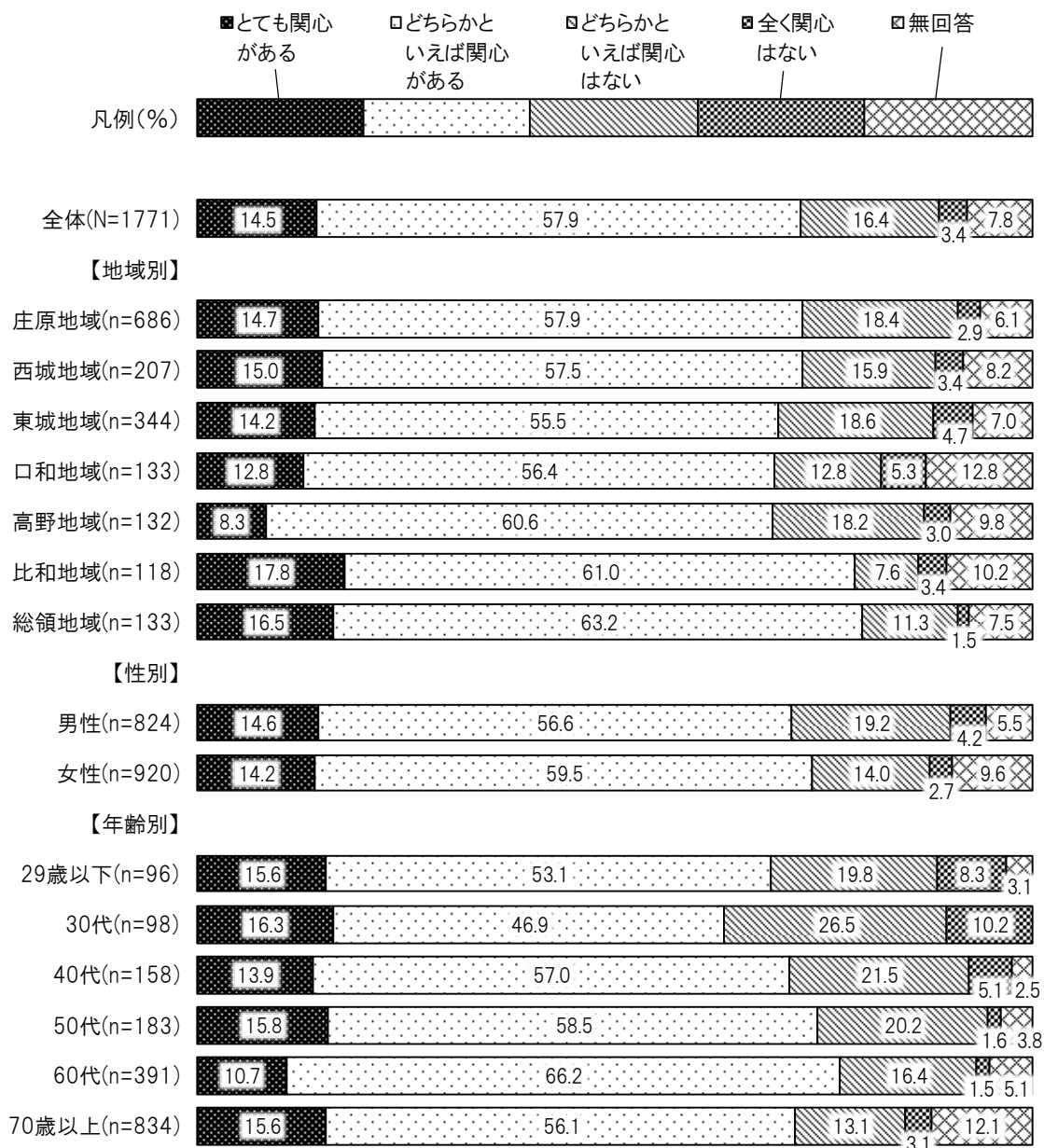
問 13 あなたは、地域の福祉課題（例：ひとり暮らし高齢者の見守り、生活困窮、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、社会的孤立など）に関心がありますか。
（○印1つ）

地域の福祉課題への関心度については、「とても関心がある」が14.5%、「どちらかといえば関心がある」が57.9%で、合計72.4%が『関心がある』と回答している。一方、「どちらかといえば関心はない」(16.4%)、「全く関心はない」(3.4%)の合計は19.8%であった。

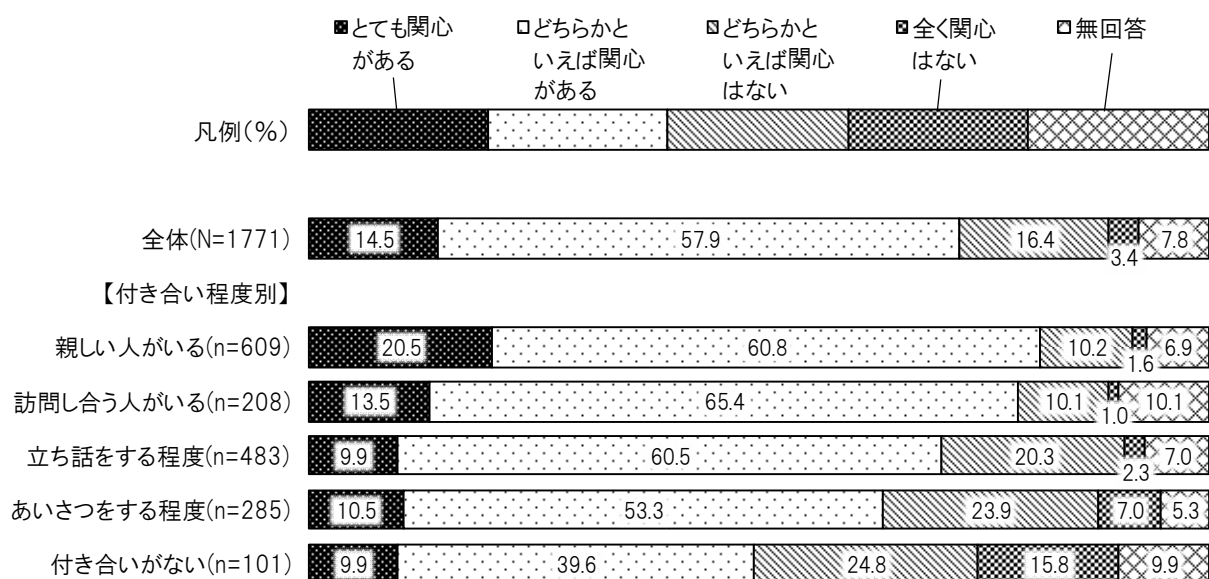
地域別では、比和地域や総領地域で『関心がある（合計）』の割合が他の地域に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「どちらかといえば関心はない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30代で『関心はない（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



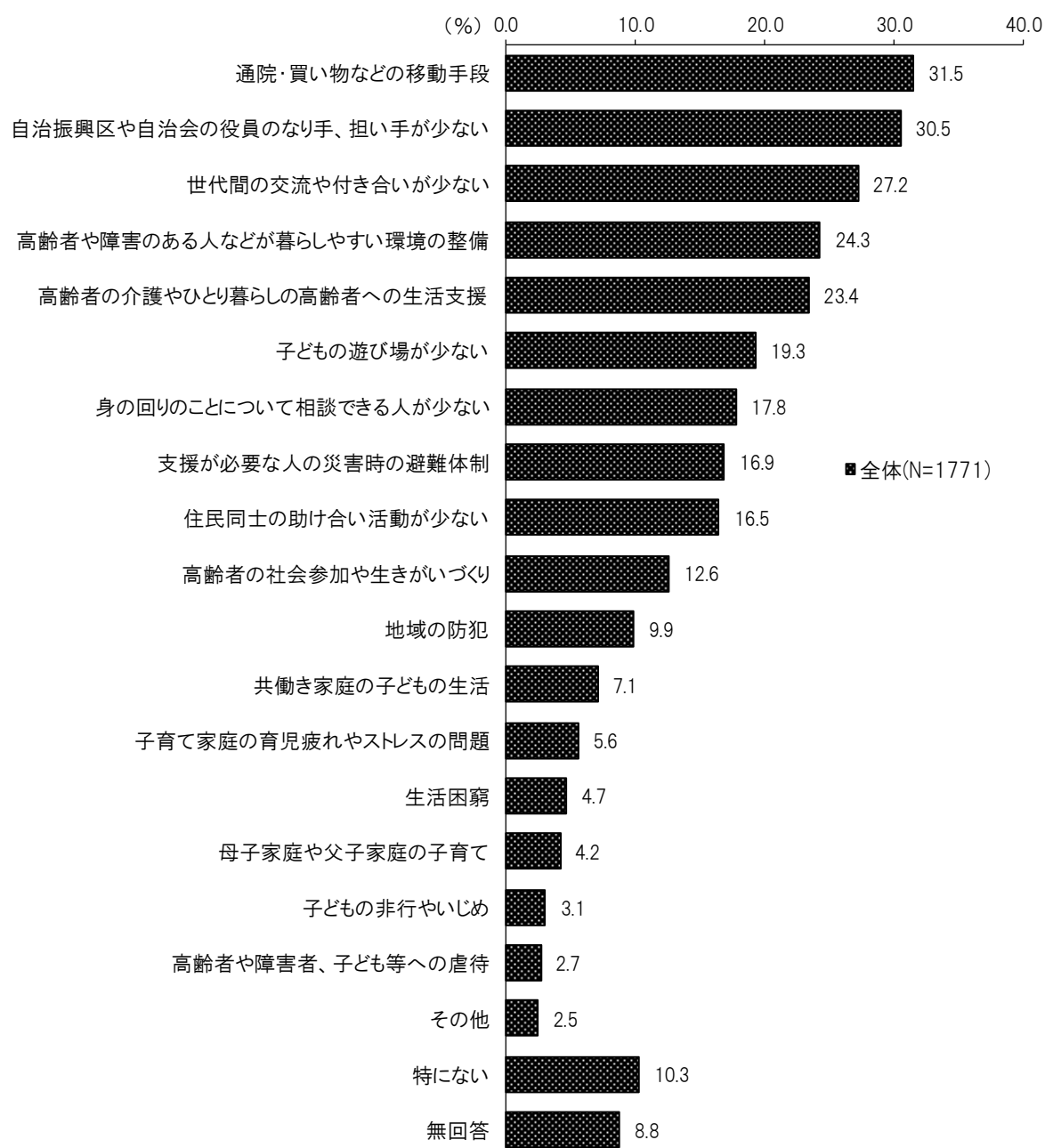
付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど『関心がある（合計）』の割合が高くなっている。



9 地域の問題や課題

問 14 あなたの住んでいる地域では、福祉に関して、どのような問題や課題があると感じていますか。（○印いくつでも）

地域の問題や課題については、「通院・買い物などの移動手段」の割合が31.5%と最も高く、次いで「自治振興区や自治会の役員のなり手、担い手が少ない」（30.5%）、「世代間の交流や付き合いが少ない」（27.2%）、「高齢者や障害のある人などが暮らしやすい環境の整備」（24.3%）、「高齢者の介護やひとり暮らしの高齢者への生活支援」（23.4%）の順となっている。



地域別では、比和地域で「通院・買い物などの移動手段」「支援が必要な人の災害時の避難体制」、東城地域で「子どもの遊び場が少ない」、西城地域や比和地域で「世代間の交流や付き合いが少ない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

単位 (%)	通院・買い物などの移動手段	自治会の役員や担い手の役割	世代間の交流や付き合い	世代間の交流や付き合い	高齢者の介護やひとり暮らしの支援	高齢者の介護やひとり暮らしの支援	子どもの遊び場が少ない	相談できる人が少ない	身の回りのことについて	支援が必要な人の災害時の避難体制	住民同士の助け合い活動	高齢者の社会参加や生きがいづくり
全体(N=1771)	31.5	30.5	27.2	24.3	23.4	19.3	17.8	16.9	16.5	12.6		
【地域別】												
庄原地域(n=686)	25.8	28.4	28.4	22.4	22.9	19.1	18.7	15.0	16.6	12.1		
西城地域(n=207)	29.5	35.7	35.7	28.5	21.3	16.4	19.8	17.9	18.8	13.0		
東城地域(n=344)	31.7	27.3	22.4	24.7	25.0	25.0	18.0	19.5	15.4	11.0		
口和地域(n=133)	34.6	36.1	25.6	20.3	21.1	14.3	19.5	12.0	18.0	13.5		
高野地域(n=132)	40.2	38.6	23.5	28.0	23.5	18.9	18.2	13.6	18.9	13.6		
比和地域(n=118)	46.6	31.4	33.9	30.5	28.0	16.1	11.0	27.1	13.6	14.4		
総領地域(n=133)	40.6	27.8	18.0	20.3	25.6	18.8	14.3	18.0	13.5	13.5		

単位 (%)	地域の防犯	共働き家庭の子どもの生活	子育て家庭の育児疲れやストレスの問題	生活困窮	子育て家庭や父子家庭の子	子どもの非行やいじめ	高齢者や障害者、子ども等への虐待	その他	特にな
全体(N=1771)	9.9	7.1	5.6	4.7	4.2	3.1	2.7	2.5	10.3
【地域別】									
庄原地域(n=686)	12.1	8.7	6.3	5.1	5.0	4.4	3.6	3.4	13.0
西城地域(n=207)	6.3	4.8	2.9	2.9	2.4	1.9	2.4	3.9	10.1
東城地域(n=344)	11.3	7.6	7.3	4.7	6.1	2.0	3.2	2.0	8.4
口和地域(n=133)	3.8	3.8	3.0	6.0	1.5	1.5	1.5	1.5	8.3
高野地域(n=132)	10.6	6.1	6.1	3.8	3.0	4.5	0.8	1.5	6.1
比和地域(n=118)	11.0	4.2	2.5	5.9	1.7	2.5	0.8	0.8	5.9
総領地域(n=133)	6.8	9.0	6.8	3.8	5.3	2.3	1.5	1.5	12.0

性別では、男性は「自治振興区や自治会の役員のなり手、担い手が少ない」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30代で「子どもの遊び場が少ない」「子育て家庭の育児疲れやストレスの問題」、40代で「通院・買い物などの移動手段」、50代で「自治振興区や自治会の役員のなり手、担い手が少ない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	通院・買い物などの移動手段	自治振興区や自治会の役員のなり手、担い手が少ない	世代間の交流や付き合いが少ない	高齢者の暮らしや障害のある環境の整備	高齢者の介護やひとり暮らしの支援	子どもの遊び場が少ない	相談できる人が少ない	身の回りのことについて	支援が必要な人の災害時の避難体制	住民同士の助け合い活動が少ない	高齢者の社会参加や生きがいづくり
全体(N=1771)	31.5	30.5	27.2	24.3	23.4	19.3	17.8	16.9	16.5	12.6	
【性別】											
男性(n=824)	30.8	36.0	27.8	26.3	25.1	18.4	18.6	18.4	18.1	12.3	
女性(n=920)	32.3	26.0	26.7	22.4	22.3	20.1	17.2	15.5	15.1	12.8	
【年齢別】											
29歳以下(n=96)	36.5	18.8	27.1	20.8	24.0	34.4	15.6	13.5	9.4	11.5	
30代(n=98)	32.7	22.4	28.6	27.6	25.5	43.9	15.3	19.4	12.2	16.3	
40代(n=158)	48.7	30.4	20.9	30.4	24.7	32.3	11.4	19.0	10.1	11.4	
50代(n=183)	42.6	45.4	26.8	35.0	30.1	29.5	18.0	20.2	14.8	12.0	
60代(n=391)	31.5	37.1	28.6	30.2	25.1	22.5	19.4	18.7	19.9	14.3	
70歳以上(n=834)	25.4	26.7	27.6	18.0	20.9	8.5	18.7	15.1	17.7	11.6	

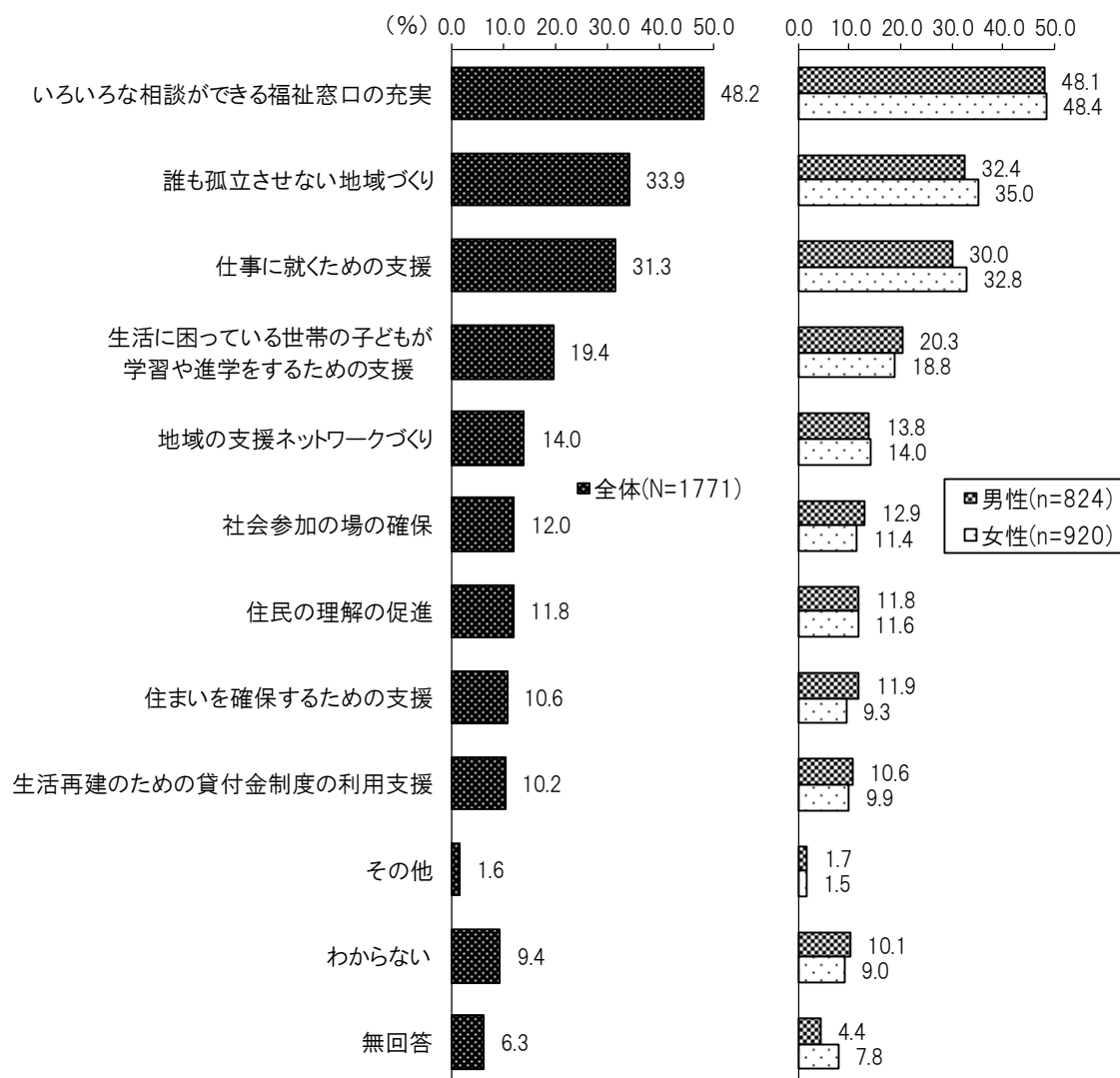
単位 (%)	地域の防犯	共働き家庭の子どもの生活	子育て家庭の育児疲れやストレスの問題	生活困窮	子育て家庭や父子家庭の子	子どもの非行やいじめ	高齢者や障害者、子ども等への虐待	その他	特になし
全体(N=1771)	9.9	7.1	5.6	4.7	4.2	3.1	2.7	2.5	10.3
【性別】									
男性(n=824)	11.7	8.5	5.5	5.9	4.4	2.9	2.7	2.5	9.7
女性(n=920)	8.6	6.0	5.8	3.6	4.1	3.3	2.7	2.4	11.0
【年齢別】									
29歳以下(n=96)	6.3	16.7	12.5	6.3	11.5	5.2	3.1	3.1	14.6
30代(n=98)	13.3	20.4	24.5	13.3	16.3	9.2	10.2	5.1	13.3
40代(n=158)	16.5	17.1	10.8	5.1	6.3	3.2	3.8	1.9	8.9
50代(n=183)	16.9	12.6	12.0	4.4	7.7	6.6	2.2	4.4	6.6
60代(n=391)	12.0	5.4	4.3	4.9	3.8	3.6	3.3	3.1	8.2
70歳以上(n=834)	6.4	2.3	0.8	3.4	1.1	1.2	1.3	1.7	11.6

10 経済的に困っている人等への支援について

問 15 あなたは、経済的に困っている人や社会的に孤立している人に対して、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

経済的に困っている人等への支援については、「いろいろな相談ができる福祉窓口の充実」の割合が48.2%と最も高く、次いで「誰も孤立させない地域づくり」（33.9%）、「仕事に就くための支援」（31.3%）、「生活に困っている世帯の子どもが学習や進学をするための支援」（19.4%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



年齢別では、30代で「住民の理解の促進」、50代で「地域の支援ネットワークづくり」、60代以上で「誰も孤立させない地域づくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

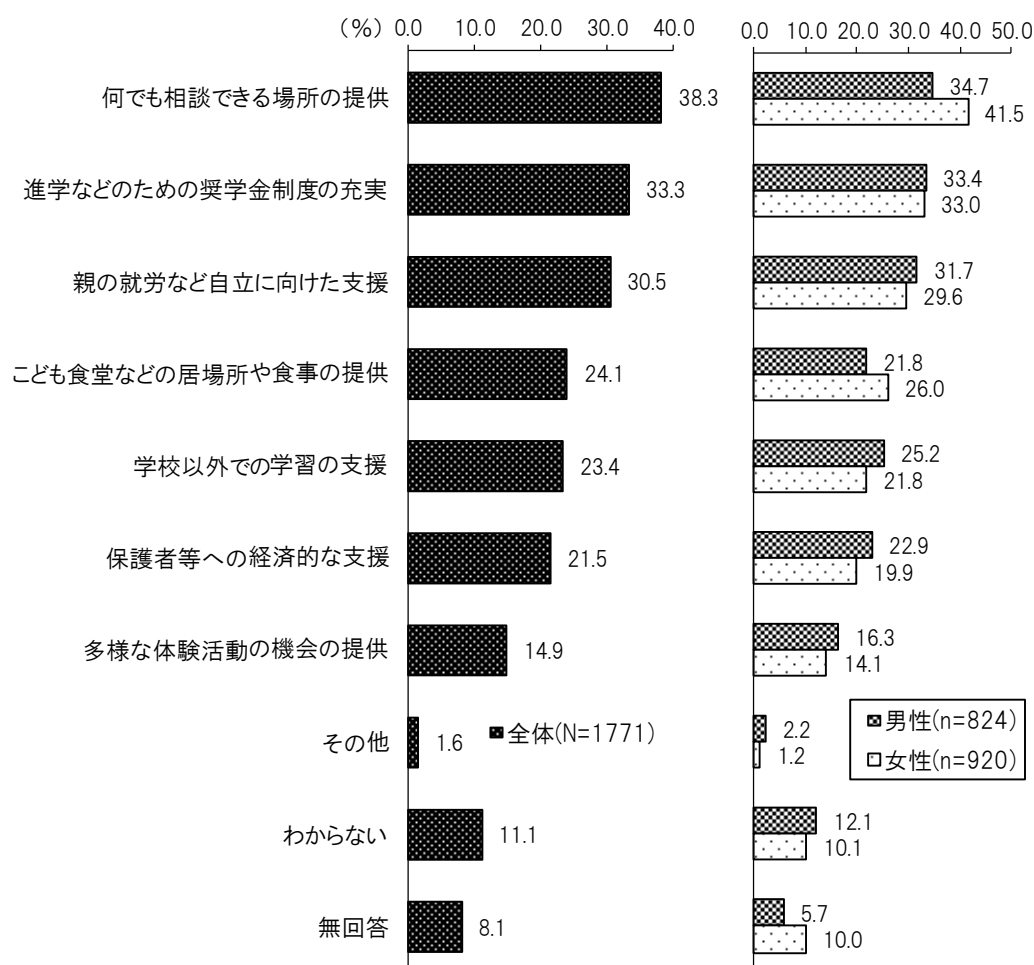
単位 (%)	口の 充実 の 充実	誰 も 孤 立 さ せ な い 地 域 づ く り	仕 事 に 就 く た め の 支 援	生 活 に 困 っ て い る 世 帯 の 子 ど も が 学 習 や 進 学 を す る た め の 支 援	地 域 の 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク づ く り	社 会 参 加 の 場 の 確 保	住 民 の 理 解 の 促 進	住 ま い を 確 保 す る た め の 支 援	生 活 再 建 の た め の 貸 付 金 制 度 の 利 用 支 援	そ の 他	わ か ら な い
全体(N=1771)	48.2	33.9	31.3	19.4	14.0	12.0	11.8	10.6	10.2	1.6	9.4
【年齢別】											
29歳以下(n=96)	36.5	29.2	49.0	27.1	10.4	19.8	12.5	26.0	12.5	0.0	8.3
30代(n=98)	37.8	20.4	52.0	30.6	9.2	16.3	20.4	22.4	4.1	5.1	10.2
40代(n=158)	46.2	27.2	49.4	27.8	12.0	16.5	8.9	18.4	15.2	1.9	7.6
50代(n=183)	48.1	23.5	44.8	27.9	22.4	12.0	14.2	13.7	14.2	1.1	7.1
60代(n=391)	51.4	34.8	34.8	21.2	16.9	15.1	14.1	9.2	12.5	1.3	7.9
70歳以上(n=834)	49.8	39.0	19.3	13.2	11.9	8.4	9.5	6.0	7.6	1.7	11.2

11 子どもの貧困問題に関して必要な支援

問 16 近年、子どもの貧困が社会問題となっていますが、あなたは、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

子どもの貧困問題に関して必要な支援については、「何でも相談できる場所の提供」の割合が38.3%と最も高く、次いで「進学などのための奨学金制度の充実」（33.3%）、「親の就労など自立に向けた支援」（30.5%）、「こども食堂などの居場所や食事の提供」（24.1%）、「学校以外での学習の支援」（23.4%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「何でも相談できる場所の提供」の割合が高くなっている。



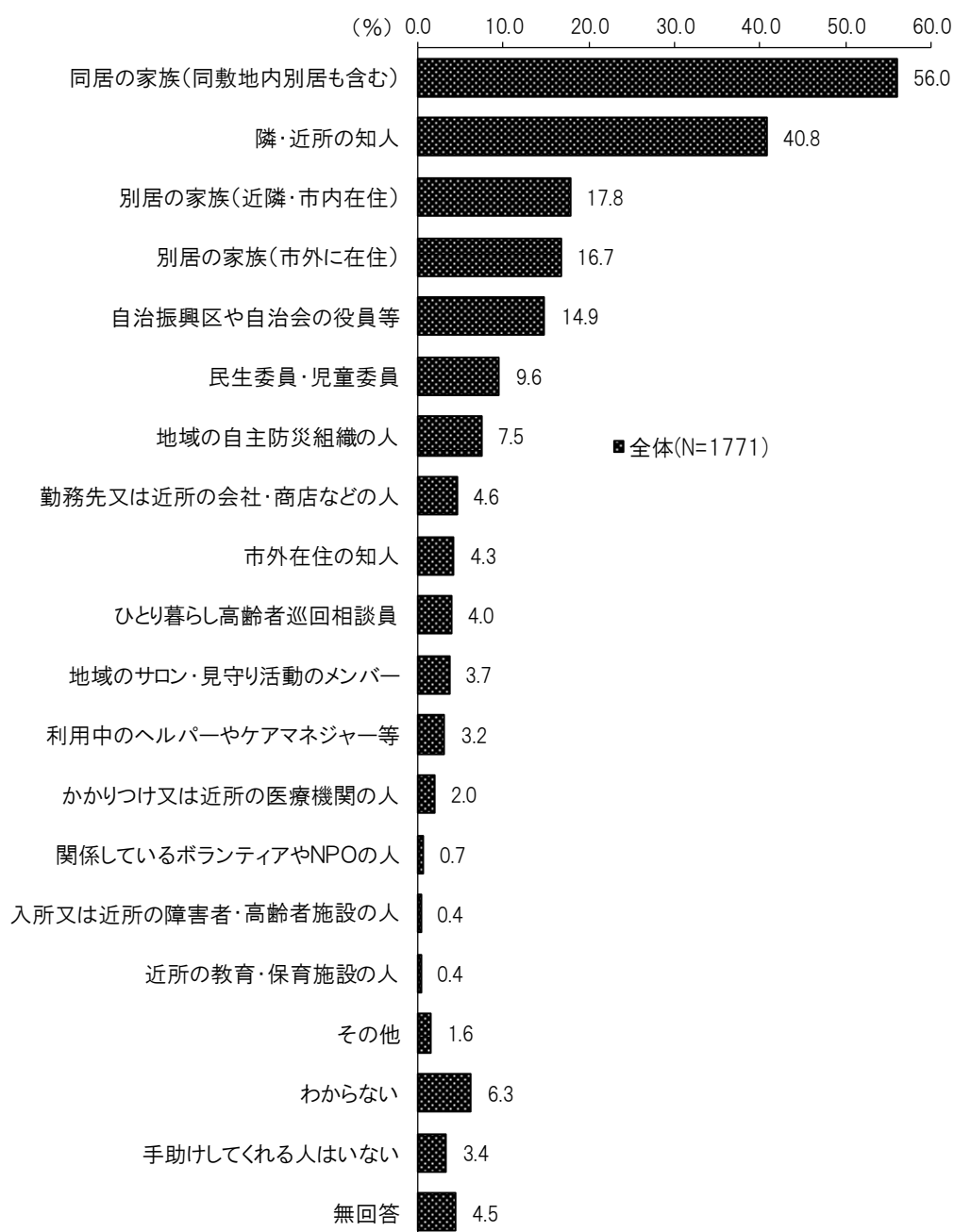
年齢別では、30代以下で「進学などのための奨学金制度の充実」、30代で「学校以外での学習の支援」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	何でも相談できる場所の提供	進学などのための奨学金制度の充実	親の就労など自立に向けた支援	こども食堂などの居場所や食事の提供	学校以外での学習の支援	保護者等への経済的な支援	多様な体験活動の機会の提供	その他	わからない
全体(N=1771)	38.3	33.3	30.5	24.1	23.4	21.5	14.9	1.6	11.1
【年齢別】									
29歳以下(n=96)	27.1	49.0	31.3	38.5	26.0	32.3	16.7	0.0	7.3
30代(n=98)	28.6	45.9	29.6	39.8	35.7	26.5	16.3	3.1	9.2
40代(n=158)	34.8	37.3	36.7	38.6	22.2	29.1	19.0	0.0	5.1
50代(n=183)	38.8	37.2	39.9	32.8	31.7	27.9	14.2	3.3	5.5
60代(n=391)	41.2	34.5	37.3	27.9	25.8	19.7	18.7	2.0	9.5
70歳以上(n=834)	39.9	27.7	24.3	14.1	19.2	17.5	12.4	1.4	14.7

12 災害時に手助けをしてくれる人

問 17 災害時に避難の誘導など、あなたの手助けをしてくれる人はいますか。
(○印いくつでも)

災害時に手助けをしてくれる人については、「同居の家族（同敷地内別居も含む）」の割合が56.0%と最も高く、次いで「隣・近所の知人」（40.8%）、「別居の家族（近隣・市内在住）」（17.8%）、「別居の家族（市外に在住）」（16.7%）、「自治振興区や自治会の役員等」（14.9%）の順となっている。



地域別では、庄原地域で「同居の家族（同敷地内別居も含む）」、比和地域で「隣・近所の知人」、西城地域や比和地域で「民生委員・児童委員」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

単位 (%)	同居の家族（同敷地内別居も含む）	隣・近所の知人	別居の家族（近隣・市内在住）	別居の家族（市外に在住）	自治振興区や自治会の役員等	民生委員・児童委員	地域の自主防災組織の人	勤務先又は近所の会社・商店などの会	市外在住の知人	ひとり暮らし高齢者の巡回相談員
全体(N=1771)	56.0	40.8	17.8	16.7	14.9	9.6	7.5	4.6	4.3	4.0
【地域別】										
庄原地域(n=686)	60.1	41.3	19.5	17.3	15.6	6.9	7.0	5.8	5.2	3.4
西城地域(n=207)	51.7	42.5	13.0	13.5	14.0	18.8	5.8	1.9	5.3	6.8
東城地域(n=344)	54.7	36.9	18.9	15.4	16.3	8.1	8.1	5.5	3.2	4.1
口和地域(n=133)	54.1	38.3	14.3	21.1	10.5	5.3	8.3	5.3	6.0	3.8
高野地域(n=132)	54.5	43.2	20.5	17.4	12.9	7.6	10.6	3.0	3.8	2.3
比和地域(n=118)	49.2	48.3	17.8	16.9	12.7	17.8	6.8	3.4	1.7	5.9
総領地域(n=133)	54.9	38.3	14.3	16.5	16.5	11.3	8.3	3.0	2.3	2.3

単位 (%)	地域の活動のサメンバー・見守り	ケアマネのヘルパー等	利用中の機械又は近所の医療機関	関係するNPOの人	入所又は近所の障害者・高齢者施設の障害者	近所の教育・保育施設	その他	わからない	手助けしてくれる人はいない
全体(N=1771)	3.7	3.2	2.0	0.7	0.4	0.4	1.6	6.3	3.4
【地域別】									
庄原地域(n=686)	3.4	3.6	2.2	0.7	0.3	0.6	2.0	6.6	3.2
西城地域(n=207)	6.3	5.8	1.9	0.5	1.0	0.0	1.0	5.8	3.9
東城地域(n=344)	3.2	1.7	2.0	1.2	0.3	0.6	1.2	5.8	4.4
口和地域(n=133)	1.5	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	3.8
高野地域(n=132)	4.5	1.5	2.3	0.0	0.0	0.0	1.5	5.3	1.5
比和地域(n=118)	5.9	3.4	0.8	0.8	0.8	0.0	0.8	2.5	4.2
総領地域(n=133)	1.5	3.8	1.5	0.8	0.8	0.8	2.3	11.3	2.3

性別では、男性は女性に比べ「隣・近所の知人」「自治振興区や自治会の役員等」の割合が高く、女性は「同居の家族（同敷地内別居も含む）」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、40代で「同居の家族（同敷地内別居も含む）」、70歳以上で「民生委員・児童委員」の割合がそれぞれ高く、年齢が上がるほど「隣・近所の知人」の割合が高くなっている。

単位 (%)	同居の家族（同敷地内別居も含む）	隣・近所の知人	市内別居の家族（近隣・在住）	別居の家族（市外に在住）	自治振興区や自治会の役員等	民生委員・児童委員	地域の自主防災組織	勤務先又は近所の会	市外在住の知人	ひとり暮らし高齢者巡回相談員
全体(N=1771)	56.0	40.8	17.8	16.7	14.9	9.6	7.5	4.6	4.3	4.0
【性別】										
男性(n=824)	52.2	43.4	16.1	14.3	18.1	9.7	9.2	4.4	4.2	3.9
女性(n=920)	59.6	38.4	19.2	18.6	12.1	9.3	6.1	4.9	4.5	4.0
【年齢別】										
29歳以下(n=96)	64.6	26.0	16.7	15.6	4.2	2.1	2.1	9.4	6.3	2.1
30代(n=98)	56.1	29.6	21.4	12.2	4.1	3.1	5.1	9.2	5.1	1.0
40代(n=158)	71.5	35.4	22.8	20.3	13.9	5.1	4.4	13.9	10.8	0.0
50代(n=183)	65.6	38.8	18.6	16.9	15.8	4.9	10.9	13.1	6.0	1.1
60代(n=391)	60.6	41.4	16.1	18.4	18.9	5.4	8.2	3.3	3.1	1.3
70歳以上(n=834)	48.0	44.8	17.3	15.8	15.3	14.9	7.9	0.6	3.0	7.1

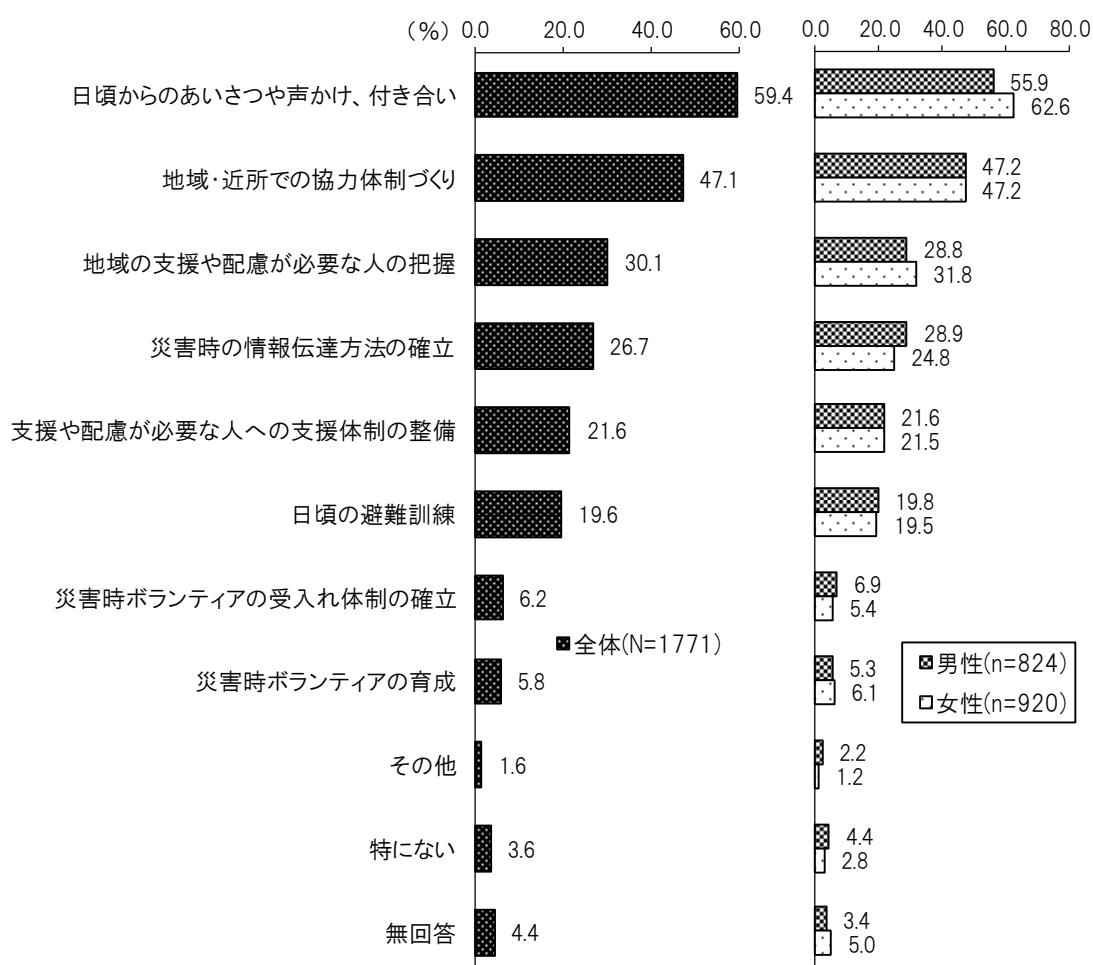
単位 (%)	地域の活動のサロンの見守り	利用中のヘルパー等	かかりつけの又は近所の医療機関	関係するNPOのボランティア	入所又は近所の障害者施設	近所の教育・保育施設	その他	わからない	手助けしてくれる人
全体(N=1771)	3.7	3.2	2.0	0.7	0.4	0.4	1.6	6.3	3.4
【性別】									
男性(n=824)	3.3	2.3	2.5	1.1	0.4	0.4	1.8	8.1	4.0
女性(n=920)	3.9	4.1	1.5	0.3	0.4	0.4	1.4	4.5	2.9
【年齢別】									
29歳以下(n=96)	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	2.1	1.0	11.5	3.1
30代(n=98)	0.0	1.0	2.0	1.0	0.0	1.0	4.1	14.3	8.2
40代(n=158)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.6	7.6	5.1
50代(n=183)	2.7	3.3	3.3	1.1	1.1	0.0	1.1	7.1	4.4
60代(n=391)	1.5	2.6	0.8	0.5	0.3	0.5	1.5	6.9	4.3
70歳以上(n=834)	6.2	4.8	2.8	0.7	0.5	0.0	1.7	3.8	1.9

13 緊急時の備えとして重要なこと

問 18 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

緊急時の備えとして重要なことについては、「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」の割合が59.4%と最も高く、次いで「地域・近所での協力体制づくり」（47.1%）、「地域の支援や配慮が必要な人の把握」（30.1%）、「災害時の情報伝達方法の確立」（26.7%）、「支援や配慮が必要な人への支援体制の整備」（21.6%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」の割合が高くなっている。



地域別では大きな差はみられないが、年齢別では 50～60 代で「災害時の情報伝達方法の確立」「支援や配慮が必要な人への支援体制の整備」、70 歳以上で「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

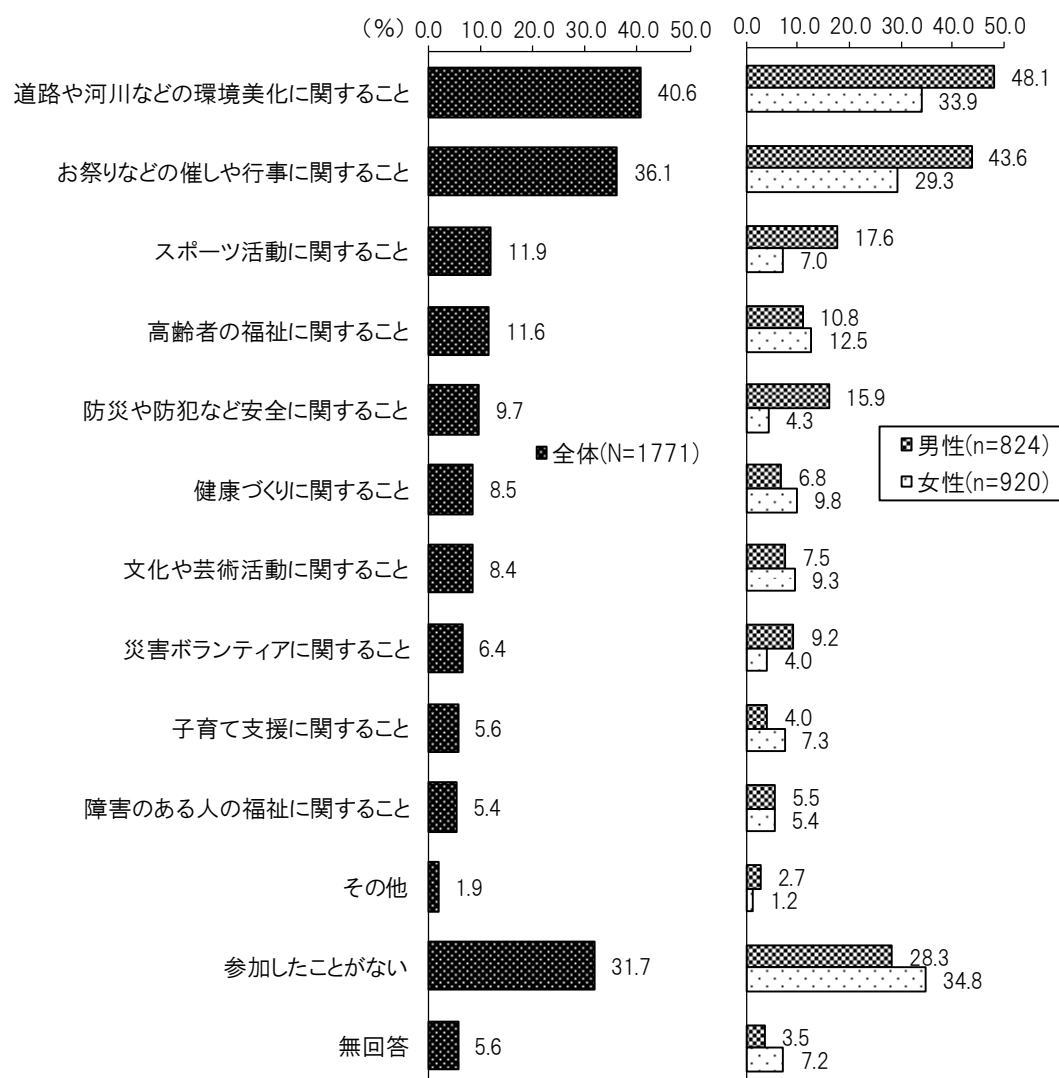
単位 (%)	日頃からのあいさつや声かけ、付き合い	地域・近所での協力体制づくり	地域の支援や配慮が必要な人の把握	災害時の情報伝達方法の確立	支援や配慮が必要な人への支援体制の整備	日頃の避難訓練	災害時ボランティアの受入れ体制の確立	災害時ボランティアの育成	その他	特になし
全体(N=1771)	59.4	47.1	30.1	26.7	21.6	19.6	6.2	5.8	1.6	3.6
【地域別】										
庄原地域(n=686)	61.2	44.9	30.8	27.0	20.6	20.7	4.7	5.8	2.0	3.4
西城地域(n=207)	62.8	49.8	29.5	30.4	22.2	21.3	6.8	4.3	2.9	3.9
東城地域(n=344)	59.9	47.7	32.8	25.3	20.1	18.9	5.5	7.8	1.5	3.2
口和地域(n=133)	50.4	48.9	24.8	30.8	23.3	18.0	10.5	4.5	1.5	3.8
高野地域(n=132)	57.6	50.0	23.5	25.0	19.7	18.9	11.4	6.8	0.0	2.3
比和地域(n=118)	58.5	52.5	32.2	25.4	25.4	17.8	5.9	4.2	0.8	2.5
総領地域(n=133)	55.6	42.9	31.6	21.1	26.3	18.0	5.3	5.3	0.8	6.8
【年齢別】										
29歳以下(n=96)	44.8	32.3	32.3	27.1	20.8	22.9	11.5	7.3	0.0	8.3
30代(n=98)	49.0	37.8	35.7	27.6	20.4	20.4	10.2	5.1	4.1	6.1
40代(n=158)	58.9	49.4	35.4	26.6	19.6	14.6	8.2	7.6	3.8	3.8
50代(n=183)	55.7	49.7	37.7	31.7	24.0	21.9	7.1	8.2	1.6	2.7
60代(n=391)	57.5	48.8	31.7	33.2	26.1	24.0	4.9	5.9	1.5	2.3
70歳以上(n=834)	64.0	48.1	25.8	22.4	19.4	17.7	5.0	4.9	1.2	3.4

14 ボランティア活動への参加状況

問 19 あなたは、今までボランティア活動に参加したことがありますか。
(○印いくつでも)

ボランティア活動への参加状況については、「道路や河川などの環境美化に関すること」の割合が40.6%と最も高く、次いで「お祭りなどの催しや行事に関すること」(36.1%)、「スポーツ活動に関すること」(11.9%)、「高齢者の福祉に関すること」(11.6%)の順となっている。一方、約3割(31.7%)は「参加したことがない」と回答している。

性別では、男性は「道路や河川などの環境美化に関すること」「お祭りなどの催しや行事に関すること」「スポーツ活動に関すること」「防災や防犯など安全に関すること」の割合が女性を大きく上回っている。



地域別では、高野地域で「道路や河川などの環境美化に関すること」、比和地域で「お祭りなどの催しや行事に関すること」、東城地域で「参加したことがない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「高齢者の福祉に関すること」「健康づくりに関すること」の割合が高く、若い年齢層ほど「参加したことがない」の割合が高くなっている。

単位 (%)	道路や河川などの環境美化に関すること	お祭りなどの催しや行事に関すること	スポーツ活動に関すること	高齢者の福祉に関すること	防災や防犯など安全に関すること	健康づくりに関すること	文化や芸術活動に関すること	災害ボランティアに関すること	子育て支援に関すること	障害のある人の福祉に関すること	その他	参加したことがない
全体(N=1771)	40.6	36.1	11.9	11.6	9.7	8.5	8.4	6.4	5.6	5.4	1.9	31.7
【地域別】												
庄原地域(n=686)	38.0	35.3	10.9	10.3	8.0	7.1	6.3	4.4	5.4	4.8	2.5	33.5
西城地域(n=207)	46.4	37.2	15.9	14.5	8.2	9.2	6.8	5.8	4.3	7.2	2.9	27.1
東城地域(n=344)	30.5	34.9	11.9	11.3	10.8	9.0	9.6	9.9	7.0	4.9	1.5	37.8
口和地域(n=133)	41.4	31.6	13.5	9.8	8.3	9.8	12.0	7.5	3.8	3.8	1.5	30.8
高野地域(n=132)	61.4	40.9	14.4	14.4	15.2	12.9	9.1	6.8	8.3	4.5	0.8	18.9
比和地域(n=118)	43.2	44.9	11.9	11.9	10.2	9.3	16.1	5.1	4.2	10.2	0.8	27.1
総領地域(n=133)	49.6	34.6	6.0	13.5	12.8	6.8	8.3	9.0	6.8	6.0	0.8	28.6
【年齢別】												
29歳以下(n=96)	20.8	18.8	11.5	7.3	1.0	3.1	4.2	3.1	4.2	8.3	2.1	46.9
30代(n=98)	19.4	24.5	12.2	8.2	6.1	3.1	5.1	12.2	9.2	3.1	3.1	42.9
40代(n=158)	31.6	36.1	13.9	7.6	12.0	3.8	5.1	10.8	13.3	5.1	1.3	40.5
50代(n=183)	39.9	38.8	14.8	5.5	14.8	5.5	10.4	11.5	9.3	7.7	0.5	34.4
60代(n=391)	47.6	39.6	11.5	7.9	11.5	5.9	9.2	6.6	6.1	4.6	1.8	30.9
70歳以上(n=834)	44.2	37.3	11.0	16.4	8.8	12.6	9.1	4.1	3.0	5.4	2.2	26.6

15 ボランティア活動への参加意向

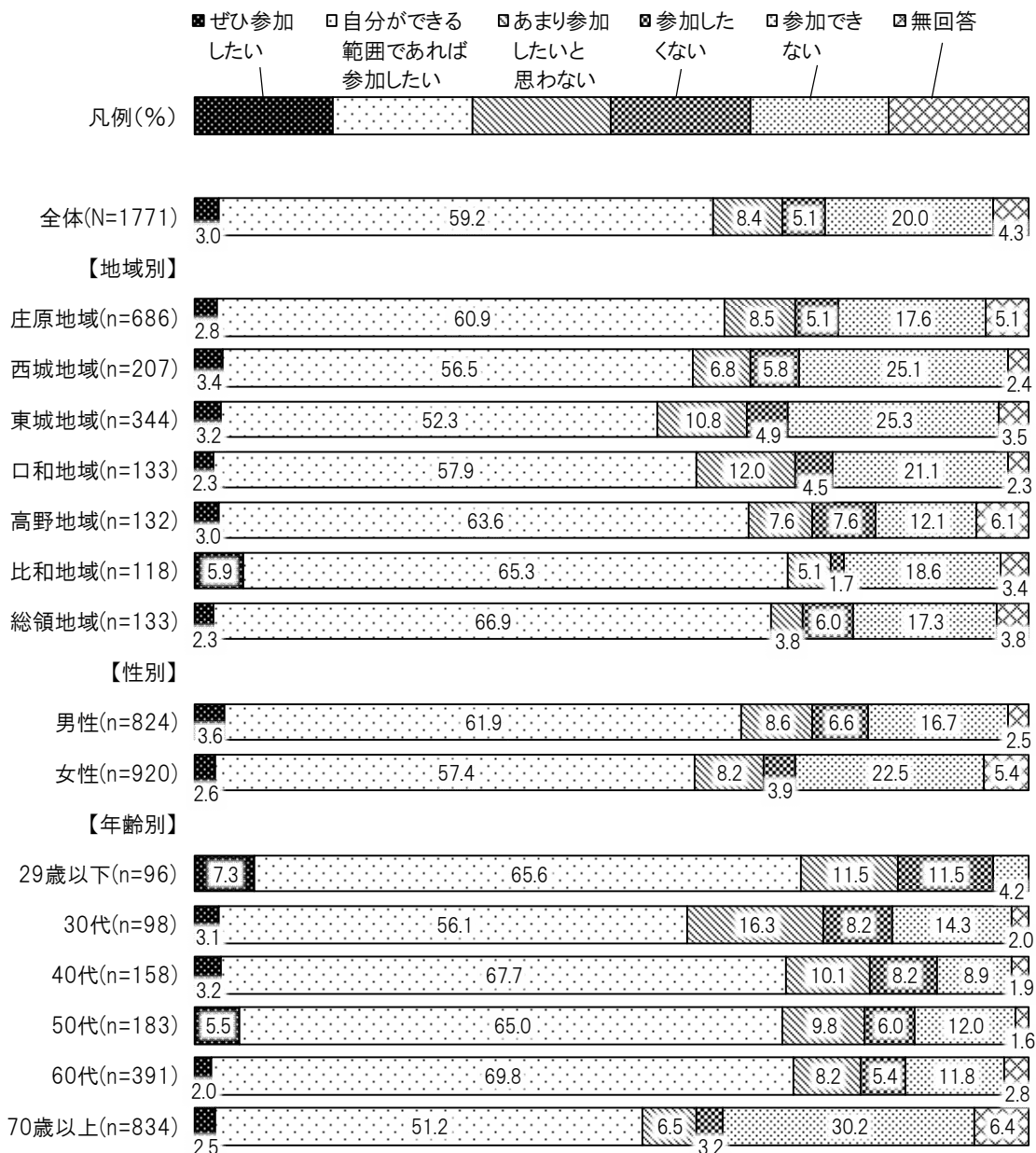
問 20 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。（○印1つ）

ボランティア活動への参加意向については、「ぜひ参加したい」が3.0%、「自分ができる範囲であれば参加したい」が59.2%で、合計約6割（62.2%）が『参加したい』と回答している。一方、「あまり参加したいと思わない」（8.4%）、「参加したくない」（5.1%）の合計は13.5%、「参加できない」は20.0%となっている。

地域別では、比和地域で『参加したい（合計）』の割合が他の地域に比べてやや高く、西城地域や東城地域で「参加できない」の割合が高くなっている。

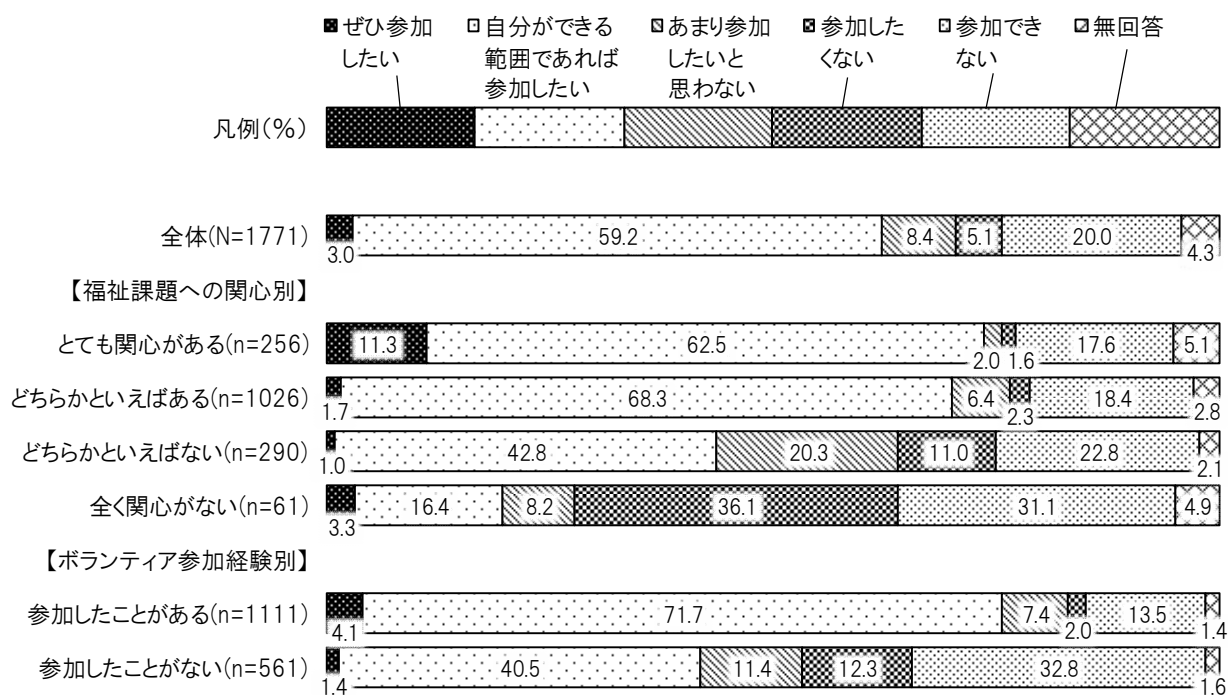
性別では、男性は女性に比べ『参加したい（合計）』の割合が高く、女性は「参加できない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30代で「あまり参加したいと思わない」、70歳以上で「参加できない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



福祉課題への関心別（問 13）では、関心がある層の 7 割以上が『参加したい（合計）』と回答している。

ボランティア参加経験別※（問 19）では、参加したことがない層の約 4 割が「自分ができる範囲であれば参加したい」と回答している。



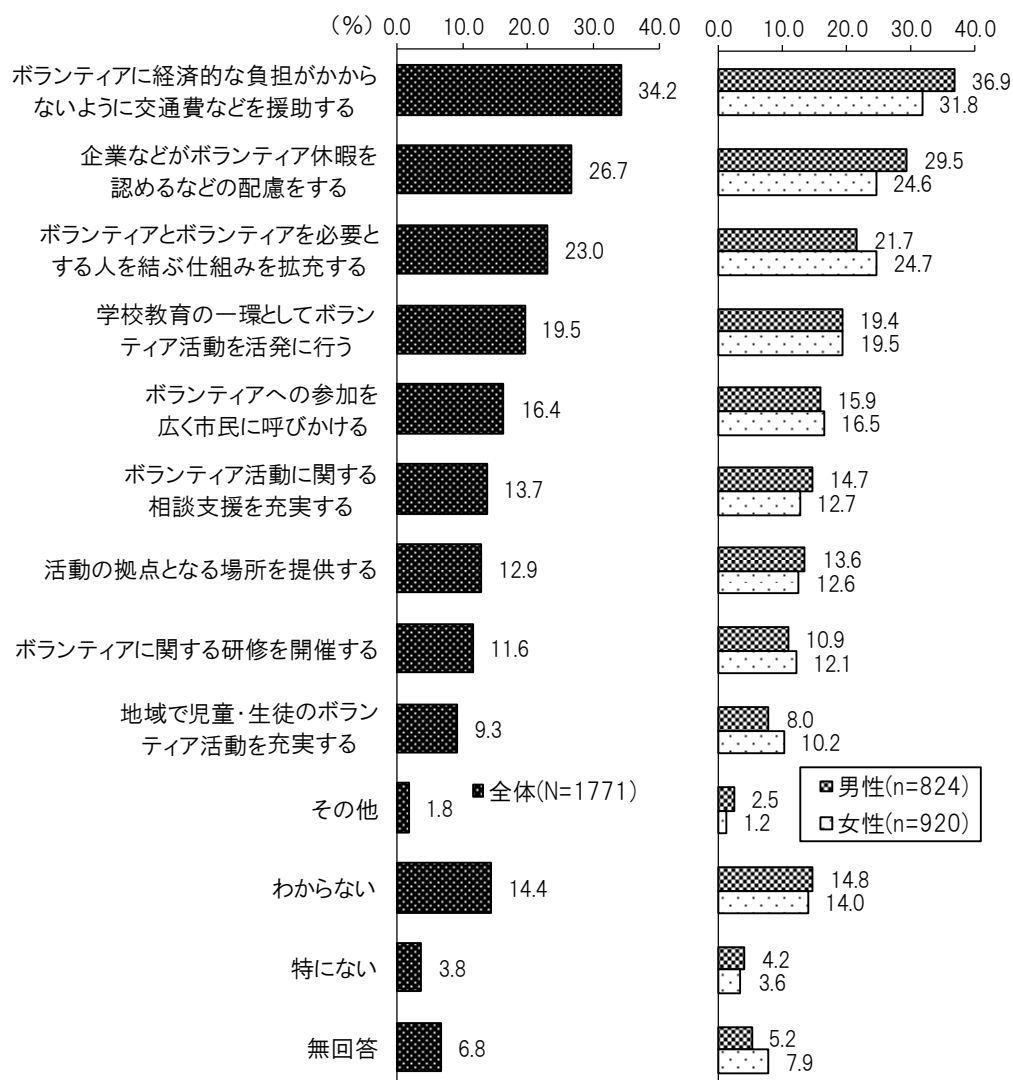
※ボランティア参加経験別では、「参加したことがない」と「無回答」を除いた値を「参加したことがある」として集計している。

16 ボランティア活動の輪を広げるために必要なこと

問 21 今後、ボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○印3つまで）

ボランティア活動の輪を広げるために必要なことについては、「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」の割合が34.2%と最も高く、次いで「企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする」（26.7%）、「ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する」（23.0%）、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」（19.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」「企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする」の割合が高くなっている。



年齢別では、29 歳以下で「地域で児童・生徒のボランティア活動を充実する」、40 代で「ボランティアに関する研修を開催する」、50 代で「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」、60 代以上で「ボランティア活動に関する相談支援を充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べてやや高くなっている。

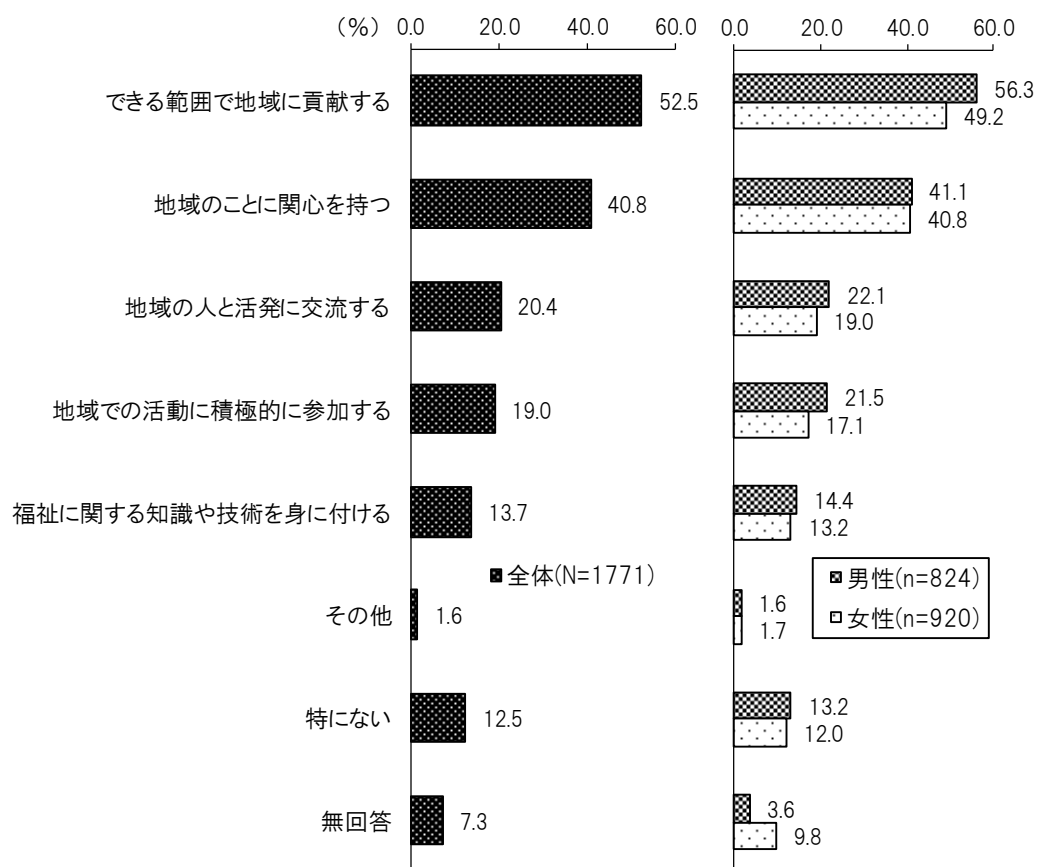
単位 (%)	ボランティアに経済的な負担がかかる	企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする	ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する	学校教育の一環としてボランティア活動を活動に行う	呼びかける	ボランティアへの参加を広く市民に	ボランティア活動に関する相談支援を充実する	活動の拠点となる場所を提供する	ボランティアに関する研修を開催する	地域で児童・生徒のボランティア活動を充実する	その他	わからない	特にな
全体(N=1771)	34.2	26.7	23.0	19.5	16.4	13.7	12.9	11.6	9.3	1.8	14.4	3.8	
【年齢別】													
29歳以下(n=96)	36.5	30.2	32.3	32.3	16.7	5.2	17.7	6.3	21.9	0.0	8.3	1.0	
30代(n=98)	35.7	42.9	26.5	26.5	11.2	8.2	16.3	7.1	13.3	5.1	12.2	2.0	
40代(n=158)	28.5	40.5	22.8	29.7	16.5	8.2	10.1	15.2	17.1	1.3	12.7	3.8	
50代(n=183)	40.4	39.3	28.4	23.5	14.8	11.5	15.3	9.8	10.9	2.7	8.2	2.2	
60代(n=391)	36.1	30.4	29.2	21.7	15.6	15.1	16.1	10.7	8.7	2.0	11.3	3.6	
70歳以上(n=834)	32.6	17.4	17.7	13.3	17.5	16.2	10.7	12.8	5.9	1.4	18.3	4.9	

17 地域福祉を推進するためにできること

問 22 地域福祉を推進するために、今後、あなた自身ができることは何ですか。
(○印3つまで)

地域福祉を推進するためにできることについては、「できる範囲で地域に貢献する」の割合が52.5%と最も高く、次いで「地域のことに興味を持つ」(40.8%)、「地域の人と活発に交流する」(20.4%)、「地域での活動に積極的に参加する」(19.0%)、「福祉に関する知識や技術を身に付ける」(13.7%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「できる範囲で地域に貢献する」の割合が高くなっている。



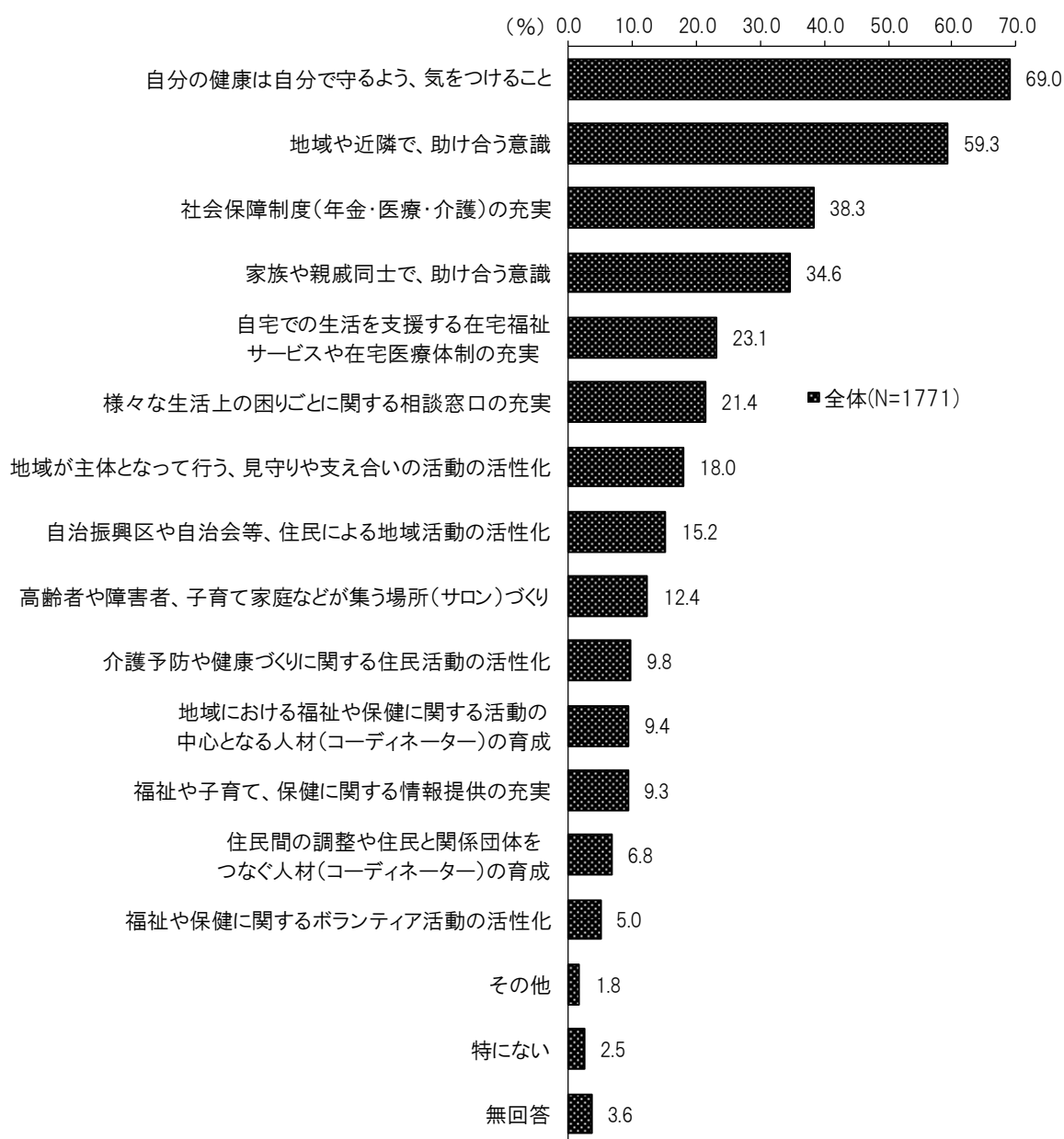
年齢別では、29 歳以下で「福祉に関する知識や技術を身に付ける」、60 代で「できる範囲で地域に貢献する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	できる範囲で地域に貢献する	地域のことに興味を持つ	地域のひとと活発に交流する	地域での活動に積極的に参加する	福祉に関する知識や技術を身に付ける	その他	特にない
全体(N=1771)	52.5	40.8	20.4	19.0	13.7	1.6	12.5
【年齢別】							
29歳以下(n=96)	39.6	47.9	19.8	24.0	25.0	0.0	16.7
30代(n=98)	40.8	48.0	20.4	15.3	17.3	2.0	14.3
40代(n=158)	54.4	45.6	20.9	20.9	16.5	1.3	9.5
50代(n=183)	56.3	44.8	19.7	17.5	13.7	2.7	9.3
60代(n=391)	61.4	41.2	21.0	21.0	17.6	0.8	9.5
70歳以上(n=834)	50.0	37.5	20.3	18.1	9.6	2.0	14.6

18 安心して生活するために必要なこと

問 23 あなたは、誰もが住み慣れた地域で安心して生活するために、どのようなことが特に必要だと思いますか。（○印5つまで）

安心して生活するために必要なことについては、「自分の健康は自分で守るよう、気をつけること」の割合が69.0%と最も高く、次いで「地域や近隣で、助け合う意識」(59.3%)、「社会保障制度（年金・医療・介護）の充実」（38.3%）、「家族や親戚同士で、助け合う意識」（34.6%）、「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスや在宅医療体制の充実」（23.1%）の順となっている。



地域別では、西城地域で「自分の健康は自分で守るよう、気をつけること」、口和地域で「様々な生活上の困りごとに関する相談窓口の充実」「高齢者や障害者、子育て家庭などが集う場所（サロン）づくり」、比和地域や総領地域で「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスや在宅医療体制の充実」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

単位(%)	自分の健康は自分で守るよう気をつけること	地域や近隣で、助け合おう意識	社会保険・介護（年金・医療・制度）の充実	家族や親戚同士で、助け合おう意識	在宅医療体制の充実	在宅生活の支援	様々な生活に関する相談窓口の充実	地域の活動の活性化	自治体の活性化	高齢者や障害者、子育て家庭などが集う場所（サロン）づくり
全体(N=1771)	69.0	59.3	38.3	34.6	23.1	21.4	18.0	15.2	12.4	
【地域別】										
庄原地域(n=686)	67.8	57.6	37.6	36.2	21.0	21.3	15.9	15.7	13.6	
西城地域(n=207)	81.6	65.2	36.2	36.7	24.2	22.2	18.8	18.8	11.6	
東城地域(n=344)	68.6	56.4	41.3	33.7	23.5	20.9	18.9	13.7	9.9	
口和地域(n=133)	64.7	63.2	36.8	33.8	22.6	27.1	19.5	13.5	18.0	
高野地域(n=132)	65.2	60.6	43.2	35.6	15.9	22.0	22.7	12.9	8.3	
比和地域(n=118)	69.5	68.6	37.3	27.1	33.9	13.6	19.5	17.8	11.9	
総領地域(n=133)	63.9	54.9	34.6	32.3	29.3	23.3	18.0	14.3	12.0	

単位(%)	介護予防や住民活動の活性化	高齢者の生活の充実	地域における福祉活動の充実	福祉に関する子育て情報提供の充実	人材関係の育成	住民間の連携の強化	福祉や保健活動の充実	その他	特になし
全体(N=1771)	9.8	9.4	9.3	6.8	5.0	1.8	2.5		
【地域別】									
庄原地域(n=686)	10.6	9.9	10.6	6.9	5.0	2.0	2.8		
西城地域(n=207)	13.0	7.7	6.8	5.3	3.4	2.9	2.9		
東城地域(n=344)	7.8	9.3	10.2	8.1	7.6	1.2	2.6		
口和地域(n=133)	10.5	6.8	8.3	6.8	7.5	1.5	1.5		
高野地域(n=132)	4.5	11.4	3.8	3.8	3.0	1.5	0.8		
比和地域(n=118)	8.5	10.2	9.3	8.5	3.4	1.7	0.8		
総領地域(n=133)	9.0	9.0	10.5	6.8	2.3	0.8	3.8		

性別では、男性は女性に比べ「自治振興区や自治会等、住民による地域活動の活性化」の割合が高く、女性は「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスや在宅医療体制の充実」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「高齢者や障害者、子育て家庭などが集う場所（サロン）づくり」の割合が高く、年齢が上がるほど「自分の健康は自分で守るよう、気をつけること」の割合が高くなっている。

単位(%)	自分の健康は自分で守る	地域や近隣で、助け合おう意識	金・医療・介護（年）の充実	社会保険制度（年）の充実	家族や親戚、近所の人と助け合おう意識	在宅医療体制の充実	自宅での生活の充実	日々の生活の充実	地域の活動の充実	自治振興区や自治会等の活動の充実	高齢者や障害者などが集う場所（サロン）づくり
全体(N=1771)	69.0	59.3	38.3	34.6	23.1	21.4	18.0	15.2	12.4		
【性別】											
男性(n=824)	70.9	57.2	38.2	36.5	19.3	20.8	17.0	20.5	10.2		
女性(n=920)	67.1	61.6	38.3	32.8	26.7	21.6	18.9	10.8	14.5		
【年齢別】											
29歳以下(n=96)	39.6	44.8	41.7	35.4	8.3	27.1	18.8	11.5	24.0		
30代(n=98)	44.9	40.8	42.9	32.7	16.3	26.5	19.4	11.2	12.2		
40代(n=158)	48.7	55.7	46.8	42.4	21.5	18.4	17.1	13.3	14.6		
50代(n=183)	57.4	57.9	45.4	39.9	27.9	26.2	19.1	13.7	12.0		
60代(n=391)	70.8	62.7	44.2	30.4	27.9	22.8	21.2	17.1	11.0		
70歳以上(n=834)	80.7	62.6	31.4	34.1	22.8	19.2	16.2	16.2	11.4		

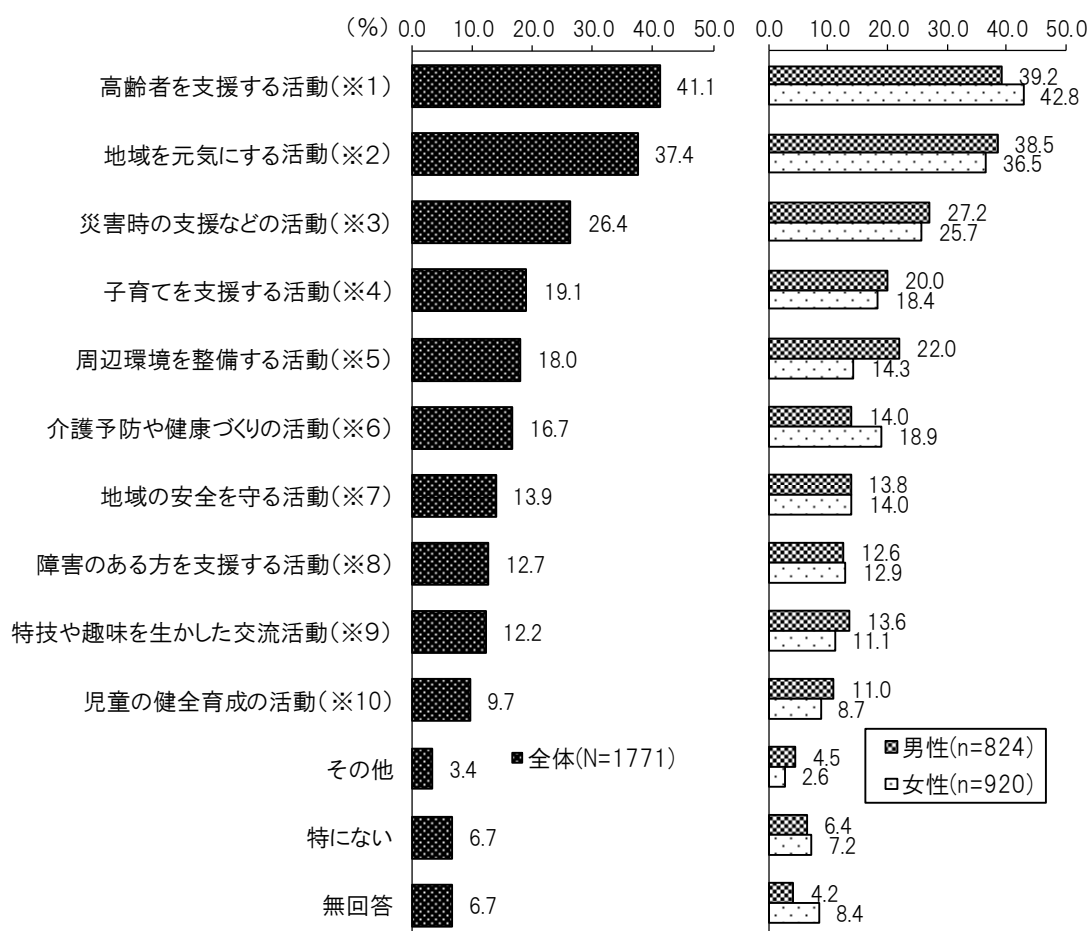
単位(%)	介護予防や健康づくり活動の充実	高齢者や障害者などが集う場所（サロン）づくり	地域や近隣で、助け合おう意識	金・医療・介護（年）の充実	社会保険制度（年）の充実	家族や親戚、近所の人と助け合おう意識	在宅医療体制の充実	自宅での生活の充実	日々の生活の充実	自治振興区や自治会等の活動の充実	高齢者や障害者などが集う場所（サロン）づくり
全体(N=1771)	9.8	9.4	9.3	6.8	5.0	1.8	2.5				
【性別】											
男性(n=824)	8.5	9.3	7.0	7.9	5.7	2.4	2.4				
女性(n=920)	10.9	9.5	11.3	5.8	4.6	1.2	2.6				
【年齢別】											
29歳以下(n=96)	9.4	8.3	27.1	5.2	13.5	0.0	7.3				
30代(n=98)	10.2	10.2	24.5	8.2	8.2	4.1	4.1				
40代(n=158)	10.8	12.0	19.0	12.0	5.1	1.3	1.9				
50代(n=183)	9.8	11.5	11.5	13.1	4.9	4.4	2.2				
60代(n=391)	7.2	10.0	7.9	7.2	3.6	1.8	2.0				
70歳以上(n=834)	10.7	8.0	3.7	4.2	4.4	1.2	2.2				

19 今後、重要だと思う地域活動

問 24 あなたは、今後、庄原市にはどのような地域活動が重要だと思いますか。
(○印3つまで)

今後、重要だと思う地域活動については、「高齢者を支援する活動」の割合が41.1%と最も高く、次いで「地域を元気にする活動」(37.4%)、「災害時の支援などの活動」(26.4%)、「子育てを支援する活動」(19.1%)、「周辺環境を整備する活動」(18.0%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「周辺環境を整備する活動」の割合が高く、女性は「介護予防や健康づくりの活動」の割合が男性を上回っている。



※1:高齢者を支援する活動(家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出時の付き添いなど)

※2:地域を元気にする活動(自治振興区や自治会での交流活動など)

※3:災害時の支援などの活動(物資の寄付、復興支援、災害時要支援者の見守りなど)

※4:子育てを支援する活動(子育て交流会や乳児健診、児童の一時預かりなど)

※5:周辺環境を整備する活動(道路・公園の清掃、リサイクルなど)

※6:介護予防や健康づくりの活動(運動教室、生活習慣病予防、食育など)

※7:地域の安全を守る活動(防犯パトロール、子どもの見守りなど)

※8:障害のある方を支援する活動(手話、点字、要約筆記、軽介助、外出時の付き添いなど)

※9:特技や趣味を生かした交流活動(手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)

※10:児童の健全育成の活動(スポーツの指導、子ども会の活動など)

地域別では、比和地域で「地域を元気にする活動」、高野地域で「周辺環境を整備する活動」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

年齢別では、30 代以下で「子育てを支援する活動」、50 代で「災害時の支援などの活動」、70 歳以上で「地域を元気にする活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

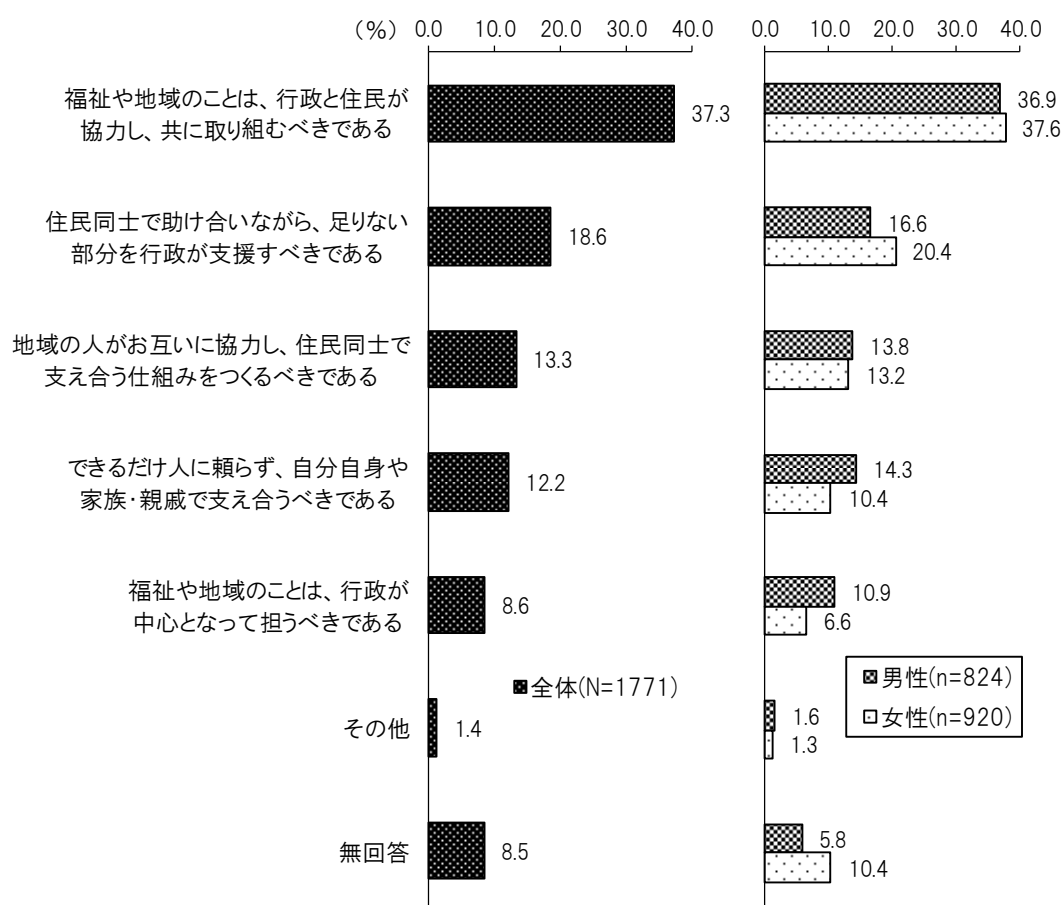
単位 (%)	高齢者を支援する活動	地域を元気にする活動	災害時の支援などの活動	子育てを支援する活動	周辺環境を整備する活動	介護予防や健康づくりの活動	地域の安全を守る活動	障害のある方を支援する活動	特技や趣味を生かした交流活動	児童の健全育成の活動	その他	特にない
全体(N=1771)	41.1	37.4	26.4	19.1	18.0	16.7	13.9	12.7	12.2	9.7	3.4	6.7
【地域別】												
庄原地域(n=686)	37.2	37.2	27.6	22.2	17.9	16.2	15.0	14.9	11.4	10.6	4.2	6.3
西城地域(n=207)	43.5	42.0	23.2	15.0	14.5	19.8	12.6	14.0	13.0	7.7	5.3	8.2
東城地域(n=344)	46.8	33.7	27.9	18.6	20.6	17.2	13.1	11.3	12.8	7.6	3.2	6.1
口和地域(n=133)	43.6	39.1	19.5	21.1	15.0	18.0	15.0	10.5	15.8	10.5	3.0	6.8
高野地域(n=132)	34.8	40.2	29.5	12.1	25.0	12.1	14.4	6.1	9.1	10.6	3.0	4.5
比和地域(n=118)	44.1	46.6	22.9	13.6	11.0	20.3	9.3	13.6	16.1	10.2	0.0	7.6
総領地域(n=133)	42.1	29.3	27.1	24.1	15.8	11.3	15.0	10.5	9.8	12.0	1.5	9.8
【年齢別】												
29歳以下(n=96)	27.1	34.4	21.9	44.8	17.7	8.3	17.7	21.9	19.8	13.5	2.1	10.4
30代(n=98)	24.5	28.6	20.4	45.9	16.3	13.3	13.3	18.4	17.3	19.4	8.2	7.1
40代(n=158)	32.9	30.4	29.1	35.4	21.5	10.8	15.8	10.1	9.5	18.4	5.7	8.9
50代(n=183)	39.9	32.8	36.1	25.1	20.8	16.4	14.2	18.6	11.5	10.4	4.4	6.0
60代(n=391)	42.5	36.1	30.4	19.7	25.6	15.9	11.3	12.5	13.0	9.0	3.1	5.4
70歳以上(n=834)	45.7	41.8	23.0	8.6	13.1	19.4	14.3	10.3	11.0	6.7	2.6	6.7

20 福祉の担い手

問 25 地域における「福祉」を誰が担うべきかという考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。（○印1つ）

福祉の担い手については、「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」の割合が37.3%と最も高く、次いで「住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである」（18.6%）、「地域の人がお互いに協力し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである」（13.3%）、「できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親戚で支え合うべきである」（12.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親戚で支え合うべきである」「福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである」の割合がやや高くなっている。



年齢別では、40代で「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」、70歳以上で「できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親戚で支え合うべきである」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

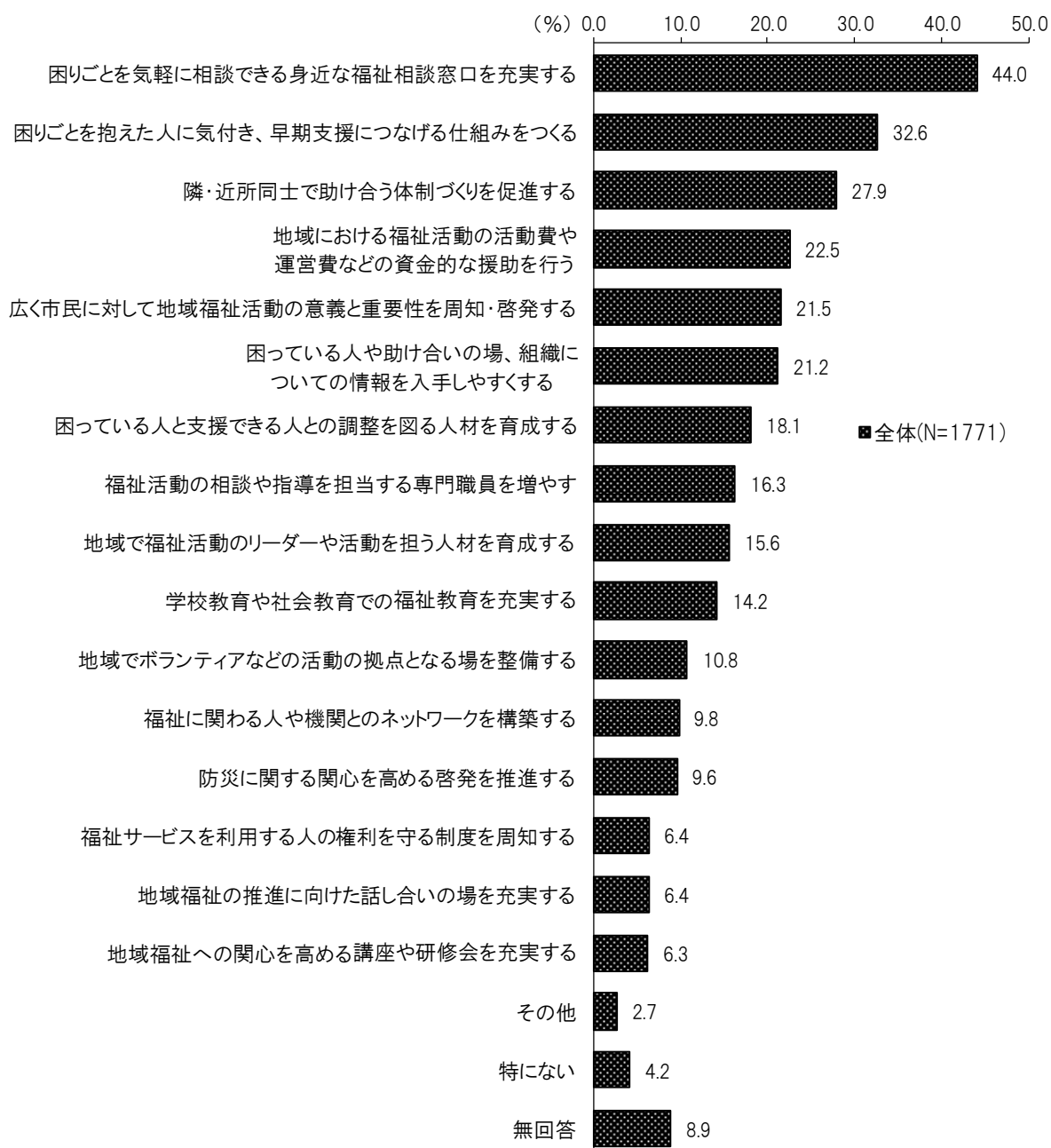
付き合い程度別では、付き合いがない層で「福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである」の割合が他の層を大きく上回っている。

単位 (%)	福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである	地域の人がお互いに協力し、住	民同士の助け合いながら、足	住民の大部分を行政が支援すべき	身や家族・親戚で支え合うべき	心となつて担うべきである	その他
全体(N=1771)	37.3	18.6	13.3	12.2	8.6	1.4	
【年齢別】							
29歳以下(n=96)	41.7	21.9	13.5	9.4	8.3	1.0	
30代(n=98)	38.8	18.4	9.2	10.2	15.3	5.1	
40代(n=158)	48.7	19.6	8.2	5.7	11.4	1.3	
50代(n=183)	41.5	18.6	10.4	10.9	10.9	1.1	
60代(n=391)	44.5	16.6	12.3	9.5	9.5	1.5	
70歳以上(n=834)	30.1	19.1	16.1	15.7	6.5	1.1	
【付き合い程度別】							
親しい人がある(n=609)	38.3	19.5	17.9	9.9	5.3	1.3	
訪問し合う人がある(n=208)	39.4	23.1	13.5	8.7	7.2	0.5	
立ち話をする程度(n=483)	39.3	17.6	9.5	15.9	9.5	1.0	
あいさつをする程度(n=285)	38.2	15.1	12.6	14.0	10.9	2.5	
付き合いがない(n=101)	31.7	14.9	5.0	10.9	22.8	2.0	

21 行政が力を入れるべきこと

問 26 地域福祉を推進するために、行政（庄原市）はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印5つまで）

行政が力を入れるべきことについては、「困りごとを気軽に相談できる身近な福祉相談窓口を充実する」の割合が44.0%と最も高く、次いで「困りごとを抱えた人に気づき、早期支援につなげる仕組みをつくる」（32.6%）、「隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する」（27.9%）、「地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う」（22.5%）の順となっている。



地域別では、口和地域で「困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなげる仕組みをつくる」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

単位 (%)	窓で困りごとを抱えた人を支援する	なげり、困りごとを抱えた人を支援する	るう隣・近所の人を支援する	の資活動における支援を行う	の地域に活動の場を提供する	性福を周知・啓発する	広く市民の意識を高める	すの情報を入手しやすくする	困りごとを抱えた人を支援する	人材を育成・調整を図る	増やす	福祉活動の専門職を指導	を育成する	地域で活動する人材
全体(N=1771)	44.0	32.6	27.9	22.5	21.5	21.2	18.1	16.3	15.6					
【地域別】														
庄原地域(n=686)	45.8	30.3	25.9	21.7	21.6	23.5	17.1	16.8	14.1					
西城地域(n=207)	47.8	30.4	33.3	23.2	24.6	21.3	20.3	17.9	17.9					
東城地域(n=344)	41.3	33.7	24.7	25.9	21.8	18.0	17.7	17.4	17.7					
口和地域(n=133)	44.4	42.1	32.3	19.5	18.8	25.6	23.3	12.8	18.0					
高野地域(n=132)	43.9	31.8	30.3	26.5	18.9	15.2	16.7	18.9	12.9					
比和地域(n=118)	41.5	32.2	34.7	20.3	22.9	18.6	15.3	15.3	17.8					
総領地域(n=133)	39.8	36.1	26.3	19.5	19.5	21.8	21.1	12.0	14.3					

単位 (%)	の福祉教育や社会実教育で	場の整備する	地域の活動拠点となる	築するネットワークを構築	と福祉に関する人々を関	め防災に発関を推進する	を周知・啓発する	福を周知・啓発する	すの情報を入手しやすくする	困りごとを抱えた人を支援する	人材を育成・調整を図る	増やす	福祉活動の専門職を指導	を育成する	地域で活動する人材
全体(N=1771)	14.2	10.8	9.8	9.6	6.4	6.4	6.3	2.7	4.2						
【地域別】															
庄原地域(n=686)	15.6	11.4	10.1	11.5	6.7	6.4	6.3	3.5	5.0						
西城地域(n=207)	12.6	8.2	7.7	8.2	5.3	6.3	7.7	3.4	4.8						
東城地域(n=344)	14.2	12.8	10.2	9.9	8.1	6.7	5.2	2.0	3.5						
口和地域(n=133)	11.3	4.5	6.8	7.5	9.8	11.3	5.3	0.0	3.8						
高野地域(n=132)	10.6	9.1	12.1	6.8	3.8	6.1	6.1	3.0	2.3						
比和地域(n=118)	16.1	13.6	11.0	5.1	5.9	5.9	11.0	1.7	4.2						
総領地域(n=133)	14.3	10.5	9.8	10.5	3.0	2.3	3.8	2.3	3.8						

性別では、男性は女性に比べ「広く市民に対して地域福祉活動の意義と重要性を周知・啓発する」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「困っている人や助け合いの場、組織についての情報を入手しやすくする」、70歳以上で「隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	窓で困り口を充てる	な気付ける	るう隣	のの地	性福広	すのい	困	人き困	増を福	をダ地
全体(N=1771)	44.0	32.6	27.9	22.5	21.5	21.2	18.1	16.3	15.6	
【性別】										
男性(n=824)	42.5	29.6	29.5	24.5	25.1	19.4	19.3	18.4	18.8	
女性(n=920)	45.7	35.1	26.6	20.9	18.3	22.6	17.2	14.7	13.2	
【年齢別】										
29歳以下(n=96)	34.4	30.2	19.8	21.9	16.7	39.6	17.7	10.4	9.4	
30代(n=98)	36.7	34.7	11.2	23.5	15.3	27.6	16.3	13.3	14.3	
40代(n=158)	46.8	38.0	24.7	22.8	16.5	27.2	23.4	14.6	15.8	
50代(n=183)	44.8	32.2	21.9	27.3	15.8	17.5	23.0	24.6	14.8	
60代(n=391)	46.8	34.3	24.6	28.9	21.0	20.5	18.9	13.6	16.6	
70歳以上(n=834)	44.2	30.8	34.3	18.5	25.3	18.3	16.1	17.3	16.4	

単位 (%)	の学	場を	地の	築と	福	め防	を福	すた	地	実め	地	そ	特
全体(N=1771)	14.2	10.8	9.8	9.6	6.4	6.4	6.3	2.7	4.2				
【性別】													
男性(n=824)	14.8	13.3	10.0	11.0	5.8	7.0	5.9	3.5	4.7				
女性(n=920)	13.6	8.5	9.9	8.5	7.2	6.0	6.7	2.0	3.8				
【年齢別】													
29歳以下(n=96)	26.0	15.6	17.7	13.5	7.3	4.2	7.3	0.0	7.3				
30代(n=98)	18.4	9.2	14.3	8.2	9.2	6.1	5.1	6.1	10.2				
40代(n=158)	22.2	13.3	10.8	14.6	5.1	4.4	3.8	2.5	5.1				
50代(n=183)	16.4	12.6	14.8	12.0	5.5	4.4	3.8	3.8	4.9				
60代(n=391)	15.3	11.8	13.0	10.7	7.9	6.4	4.3	2.8	3.1				
70歳以上(n=834)	9.8	9.1	5.6	7.4	5.9	7.6	8.3	2.3	3.4				

22 協議体の認知状況

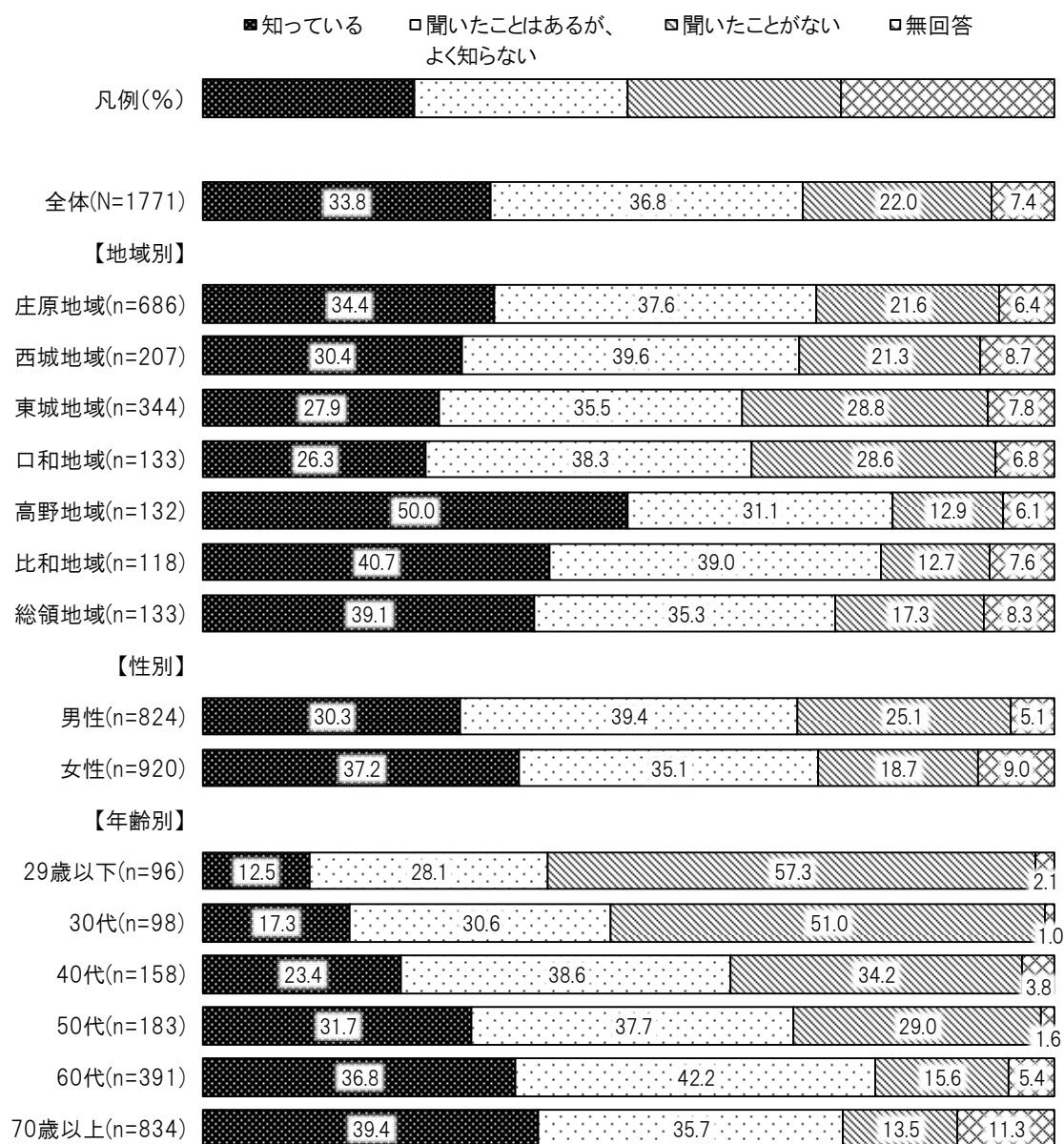
問 27 庄原市と庄原市社会福祉協議会では、自治振興区等が主体となって、高齢者等の世帯の見守りや支援など、誰もが住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、「協議体（おたがいさまネット・〇〇サロン（集まりの場）など）」の取組を充実させています。あなたは協議体について知っていますか。（○印1つ）

協議体の認知状況については、「知っている」の割合が33.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が36.8%、合計で70.6%となっている。一方、「聞いたことがない」は22.0%となっている。

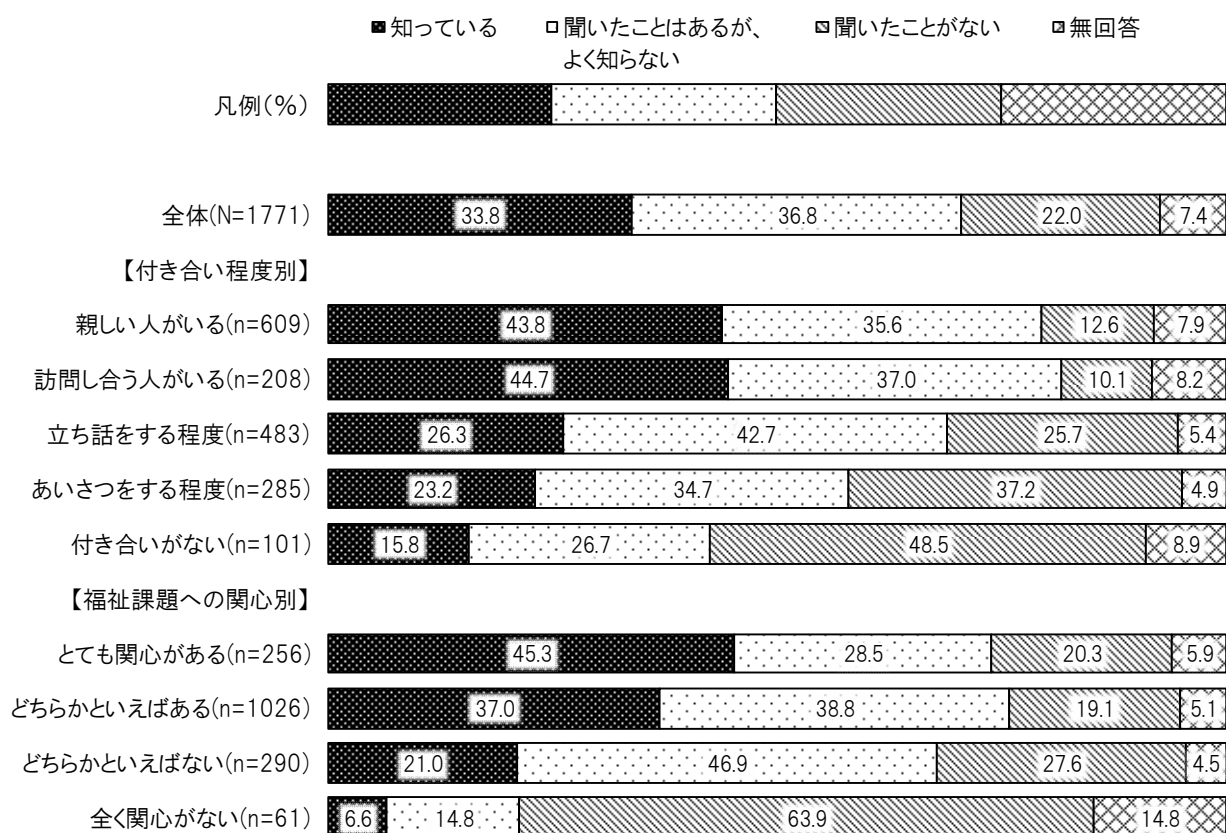
地域別では、高野地域で「知っている」の割合が他の地域を大きく上回っている。

性別では、女性は男性に比べ「知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層で「知っている」の割合が高くなっている。
福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「知っている」の割合が高くなっている。



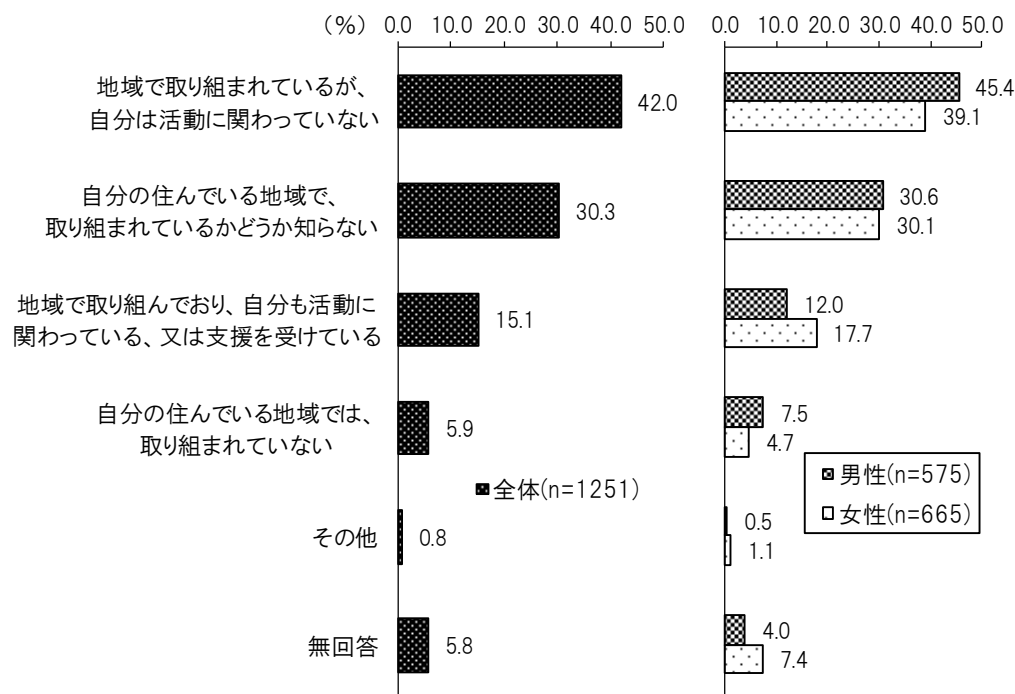
23 協議体の取組状況

【問 27 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

問 28 あなたの住んでいる地域では「協議体」に取り組んでいますか。（○印1つ）

協議体の取組状況については、「地域で取り組まれているが、自分は活動に関わっていない」の割合が42.0%と最も高く、次いで「自分の住んでいる地域で、取り組まれているかどうか知らない」（30.3%）、「地域で取り組んでおり、自分も活動に関わっている、又は支援を受けている」（15.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「地域で取り組まれているが、自分は活動に関わっていない」の割合が高く、女性は「地域で取り組んでおり、自分も活動に関わっている、又は支援を受けている」の割合が男性を上回っている。



地域別では、高野地域で「地域で取り組まれているが、自分は活動に関わっていない」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「地域で取り組んでおり、自分も活動に関わっている、又は支援を受けている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	い、地 な、域 い、自 分、取 は、り 活、組 動、ま に、れ 関、て わ、い つ、る て	知、取 ら、り な、分 い、ま 組、の れ、住 ん、で い、い る、か 地、域 ど、う で、か	又、分 は、も 支、活 援、動 を、に 受、関 け、わ て、つ て、お い、り る、自	は、自 分、の 取、り 組、ん で、い る、地 な、域 い、で	そ の 他
全体(n=1251)	42.0	30.3	15.1	5.9	0.8
【地域別】					
庄原地域(n=494)	42.3	30.6	14.8	5.7	1.0
西城地域(n=145)	37.9	33.1	14.5	6.9	1.4
東城地域(n=218)	42.2	30.3	16.1	5.0	0.0
口和地域(n=86)	37.2	30.2	17.4	5.8	0.0
高野地域(n=107)	48.6	27.1	13.1	1.9	1.9
比和地域(n=94)	44.7	26.6	18.1	9.6	1.1
総領地域(n=99)	42.4	31.3	13.1	8.1	0.0
【年齢別】					
29歳以下(n=39)	48.7	33.3	5.1	7.7	0.0
30代(n=47)	51.1	34.0	4.3	6.4	0.0
40代(n=98)	54.1	34.7	5.1	2.0	1.0
50代(n=127)	45.7	36.2	11.8	3.1	0.8
60代(n=309)	50.2	30.1	12.6	4.2	0.0
70歳以上(n=627)	34.3	28.2	19.9	7.8	1.3

24 成年後見制度の認知状況

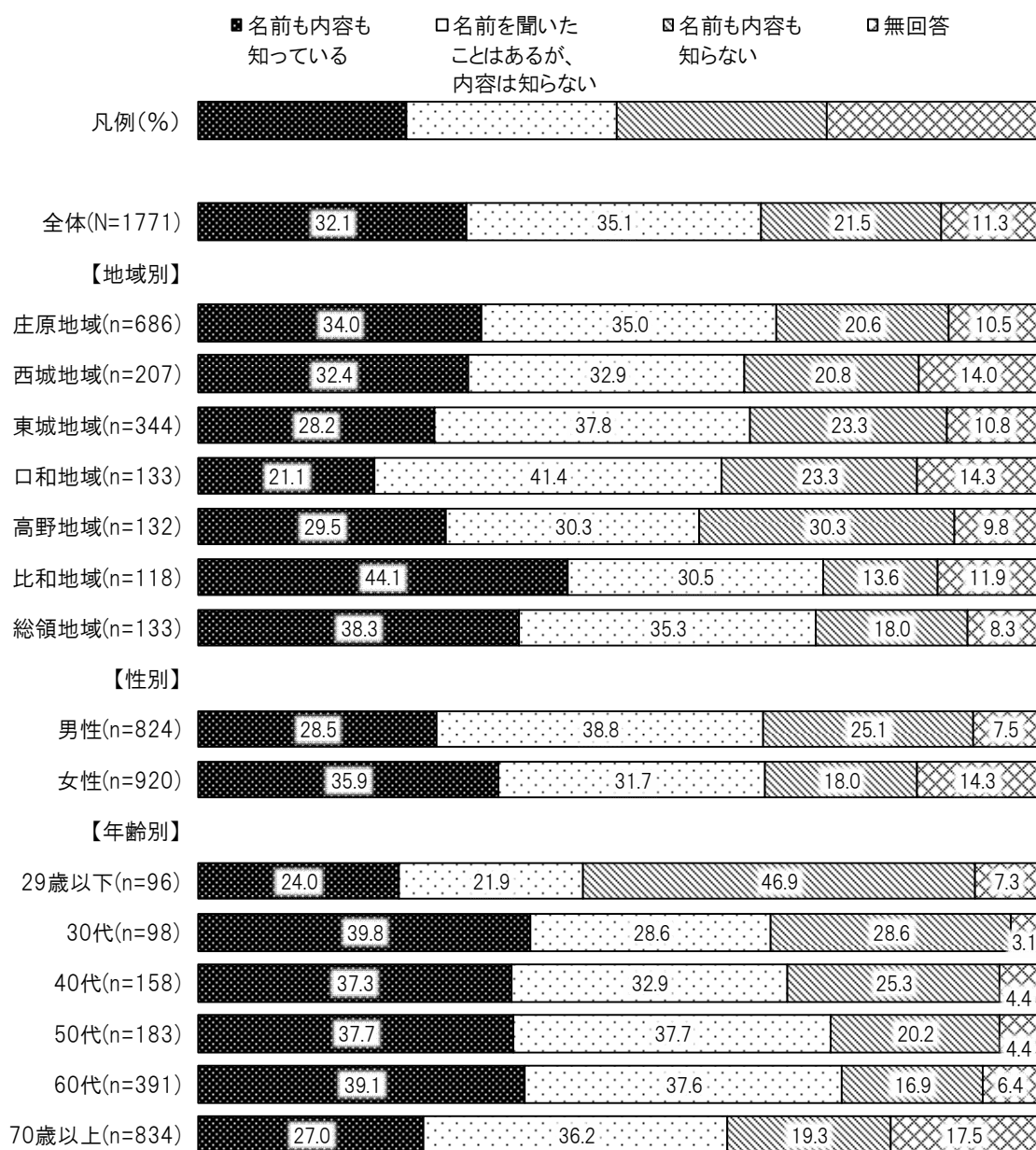
問 29 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（○印1つ）

成年後見制度の認知状況については、「名前も内容も知っている」の割合が32.1%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.1%、合計で67.2%となっている。一方、「名前も内容も知らない」は21.5%となっている。

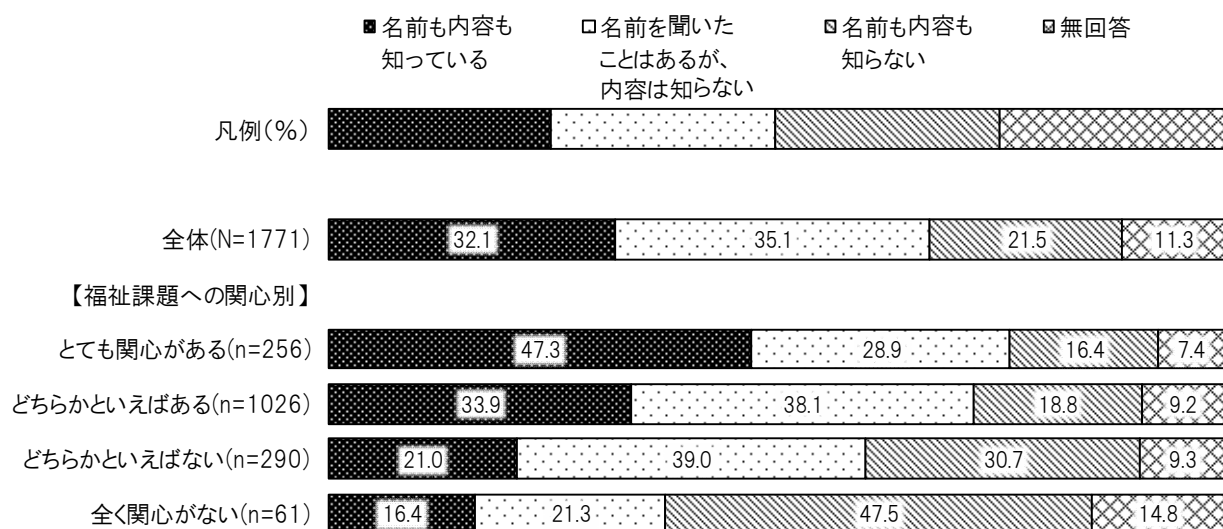
地域別では、比和地域で「名前も内容も知っている」、高野地域で「名前も内容も知らない」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「名前も内容も知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「名前も内容も知らない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「名前も内容も知っている」の割合が高くなっている。



25 成年後見制度に関する相談窓口の認知状況

【問 29 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

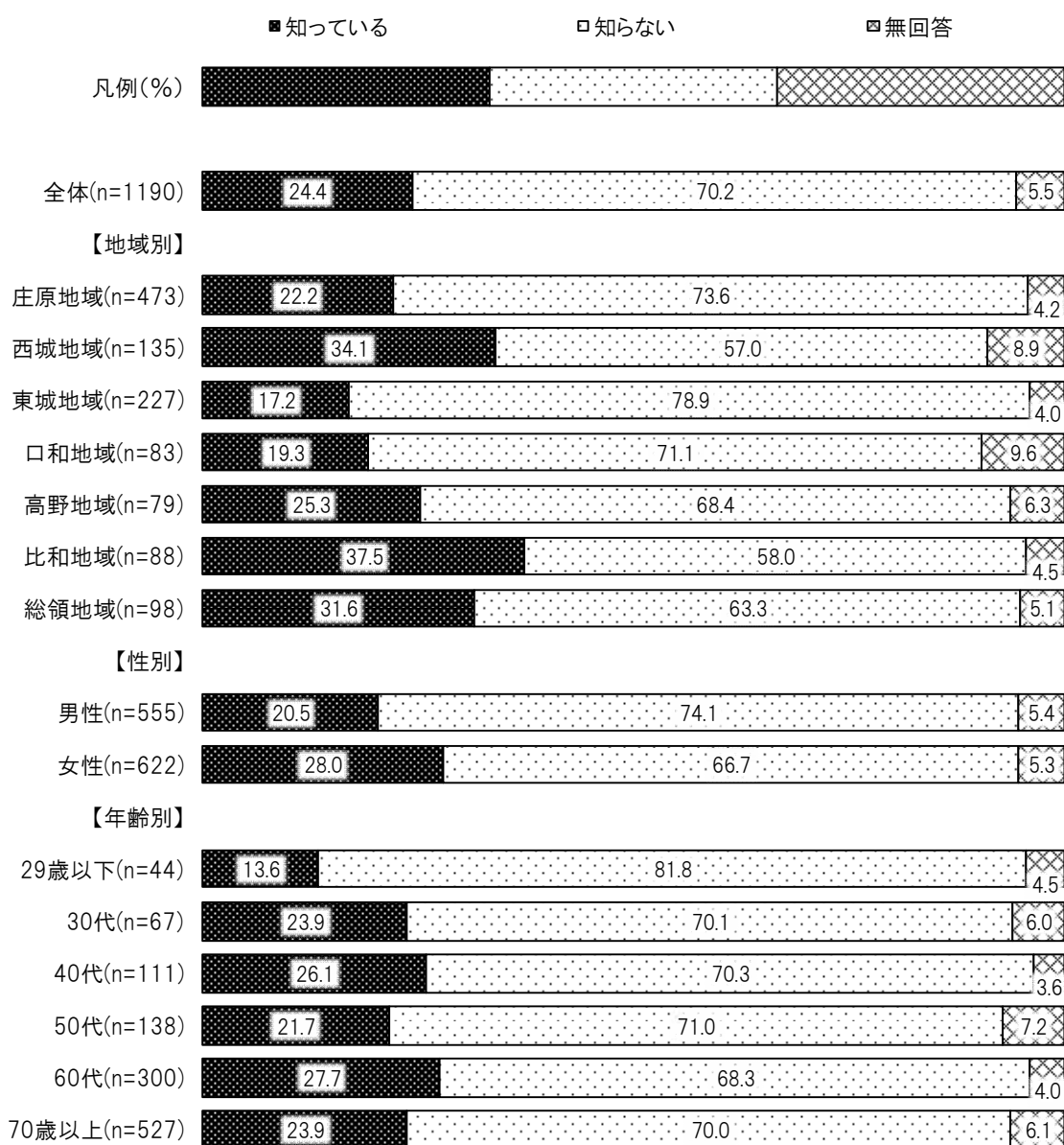
問 30 あなたは、成年後見制度の相談窓口を知っていますか。（○印1つ）

成年後見制度に関する相談窓口の認知状況については、「知っている」が24.4%、「知らない」が70.2%となっている。

地域別では、西城地域や比和地域、総領地域で「知っている」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「知らない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

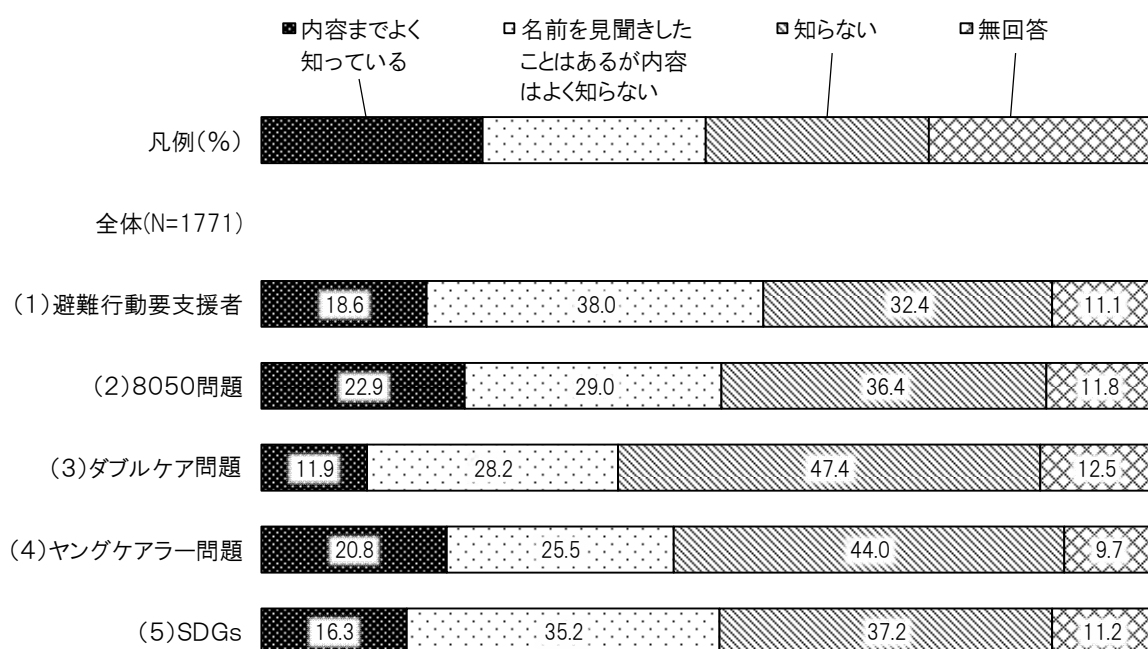


26 用語の認知状況

問 31 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。（○印1つずつ）

用語の認知状況については、「内容までよく知っている」の割合が高い順に「（2）8050問題」（22.9%）、「（4）ヤングケアラー問題」（20.8%）、「（1）避難行動要支援者」（18.6%）となっている。

一方、「知らない」の割合が高い順に「（3）ダブルケア問題」（47.4%）、「（4）ヤングケアラー問題」（44.0%）、「（5）SDGs」（37.2%）となっている。



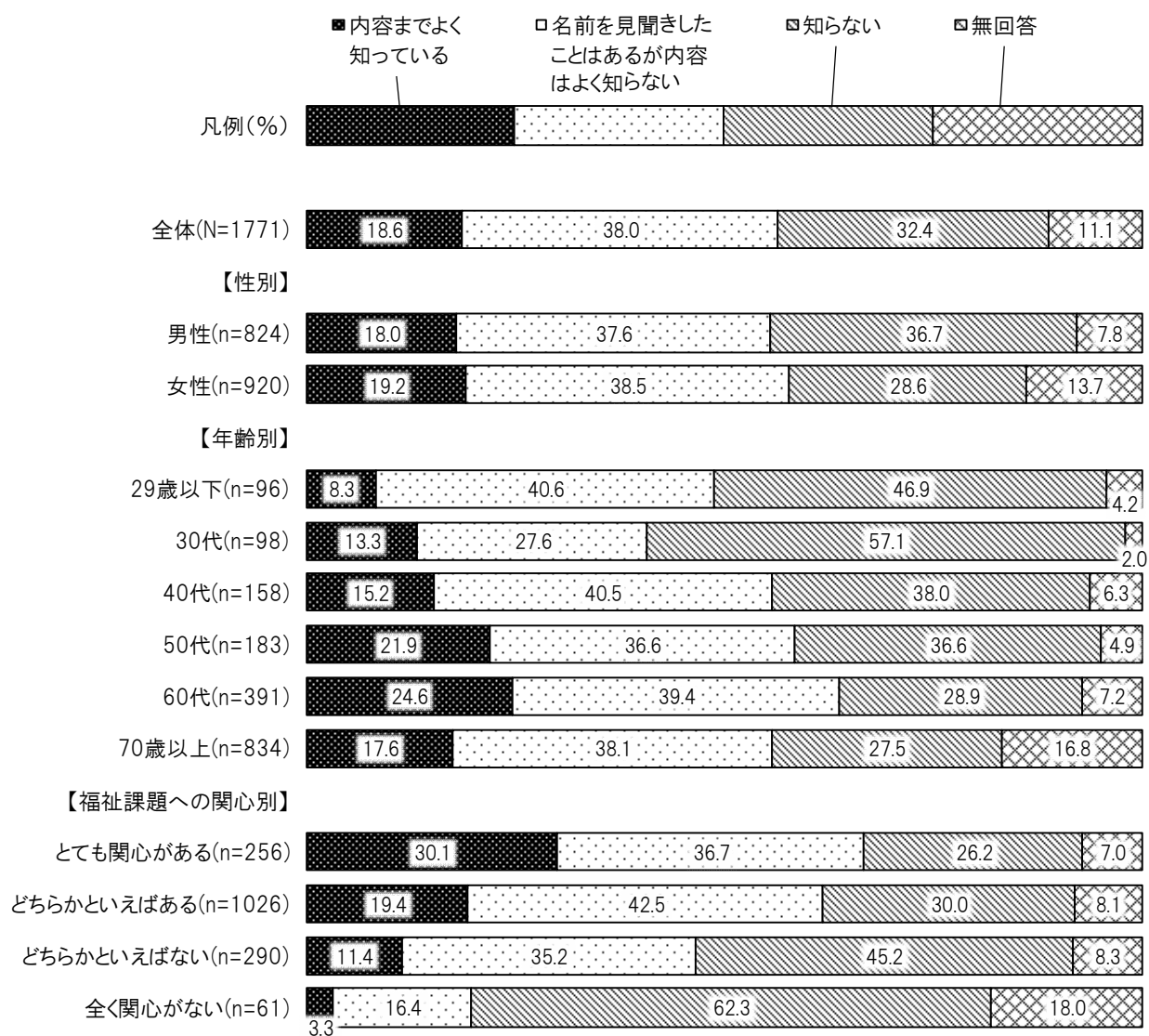
(1) 避難行動要支援者

避難行動要支援者については、「内容までよく知っている」が18.6%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が38.0%で、合計56.6%となっている。一方、「知らない」は32.4%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30代以下で「知らない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



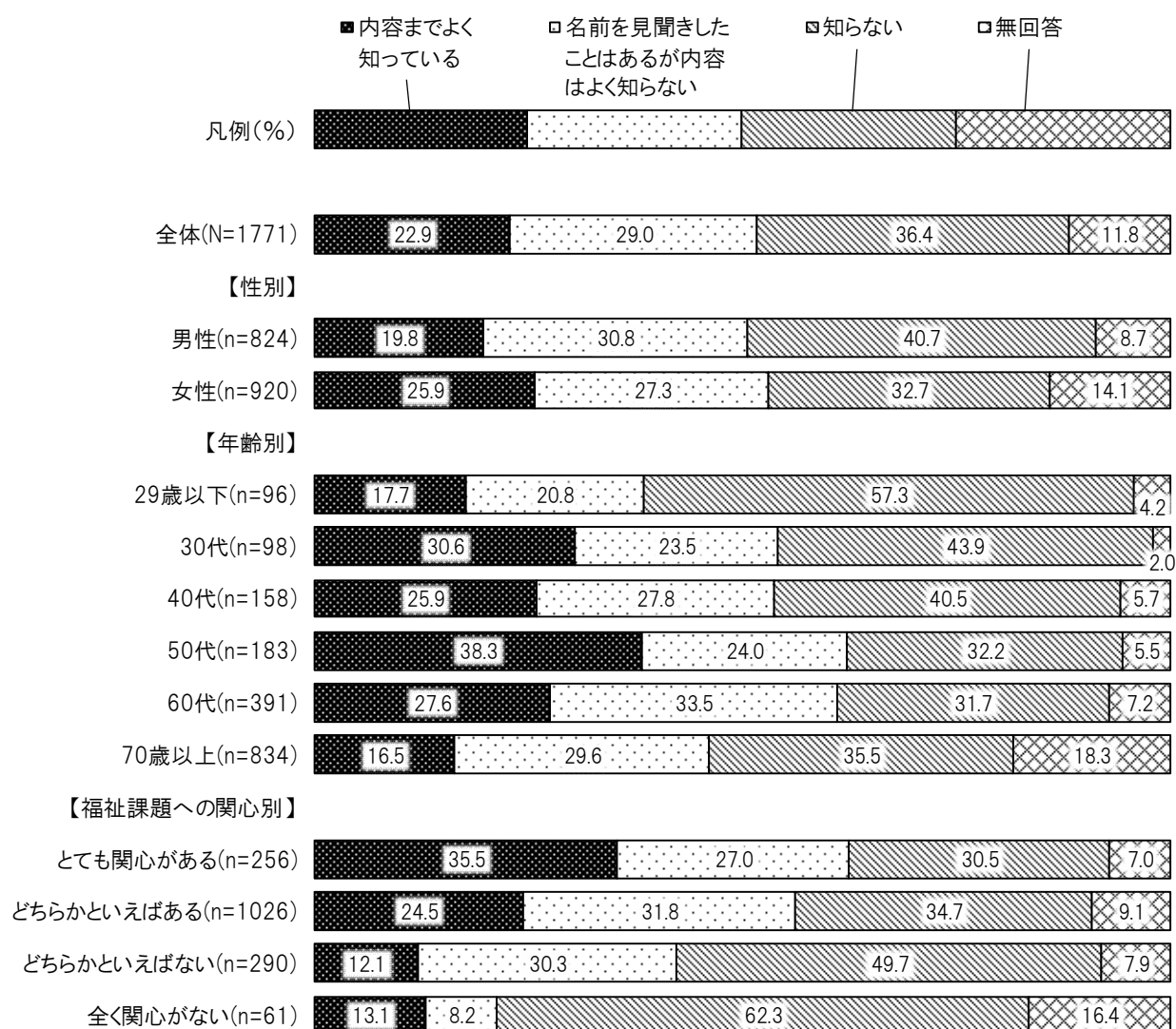
(2) 8050問題

8050問題については、「内容までよく知っている」が22.9%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が29.0%で、合計51.9%となっている。一方、「知らない」は36.4%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高く、女性は「内容までよく知っている」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、50代で「内容までよく知っている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層で「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



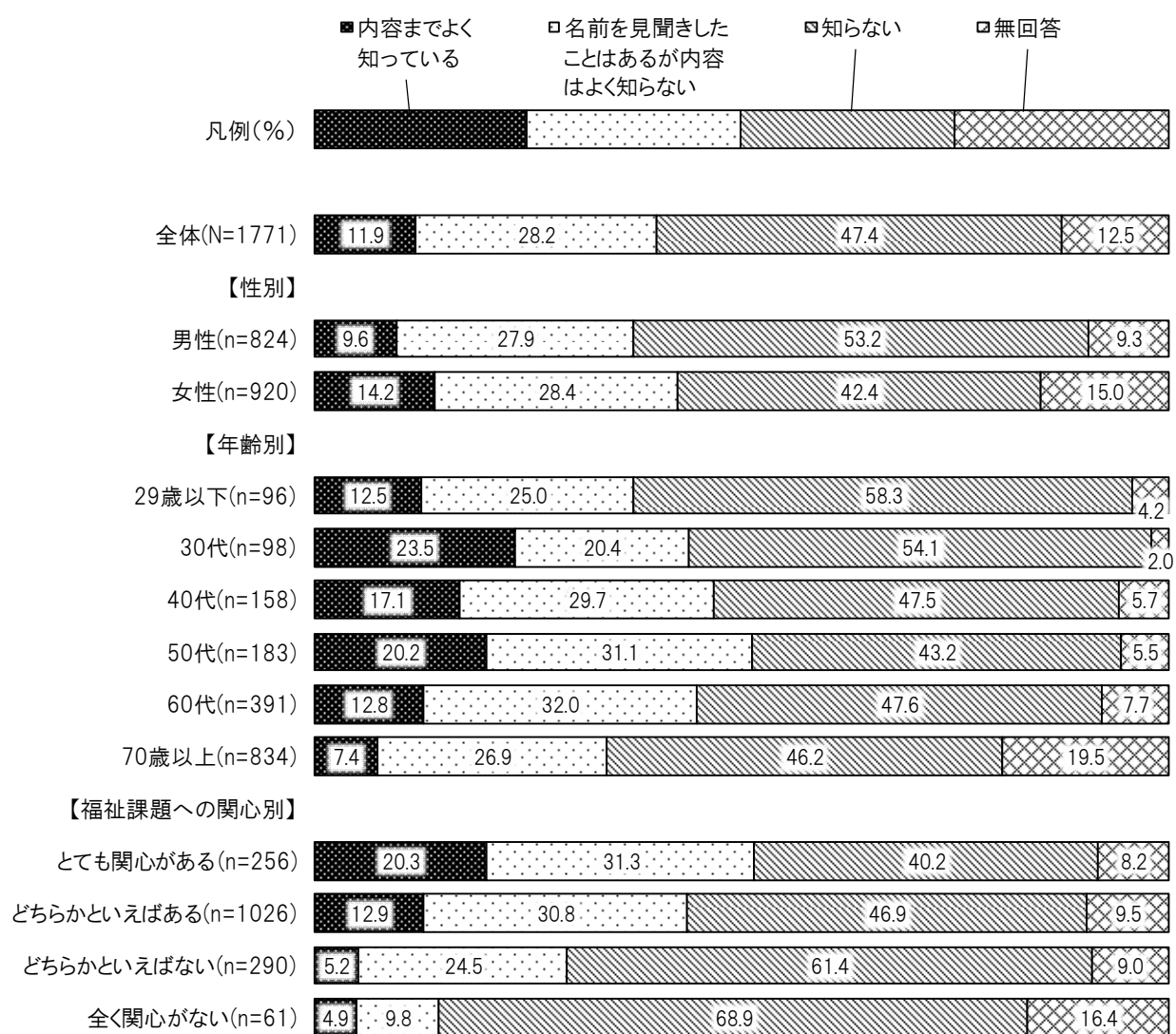
(3) ダブルケア問題

ダブルケア問題については、「内容までよく知っている」が 11.9%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が 28.2%で、合計 40.1%となっている。一方、「知らない」は 47.4%となっている。

性別では、男性は「知らない」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30 代以下で「知らない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層で「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



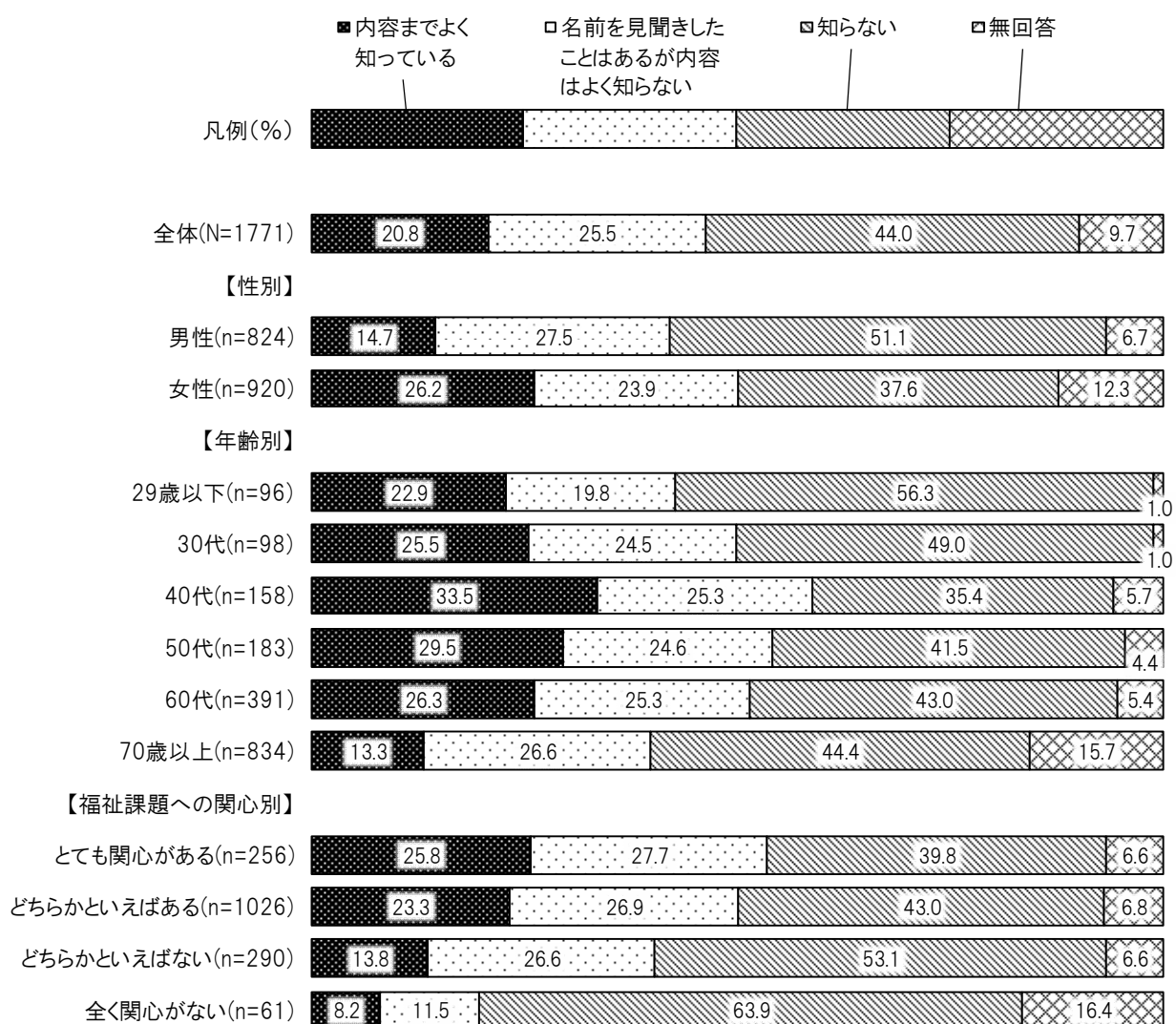
(4) ヤングケアラー問題

ヤングケアラー問題については、「内容までよく知っている」が20.8%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が25.5%で、合計46.3%となっている。一方、「知らない」は44.0%となっている。

性別では、男性は「知らない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「知らない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



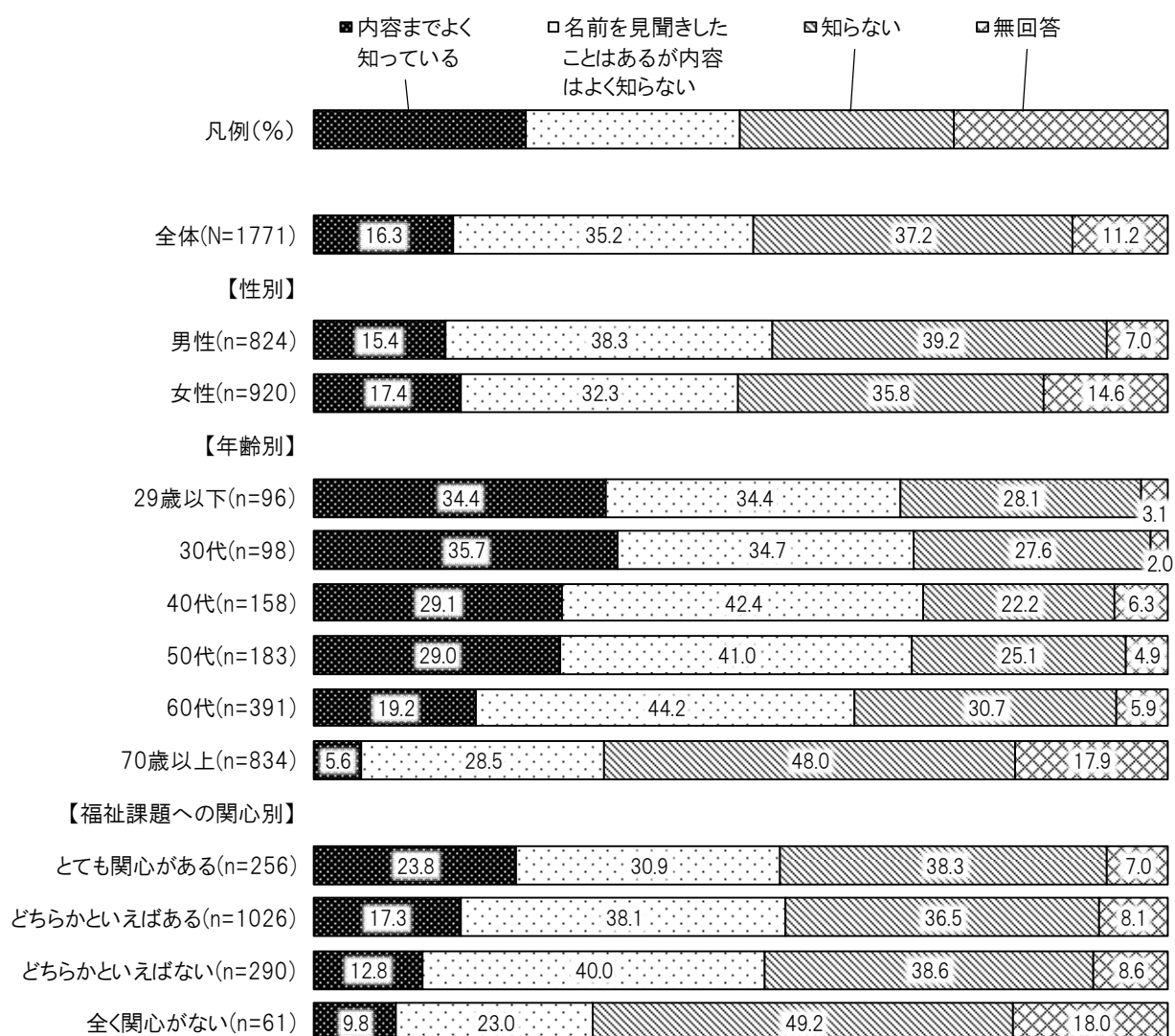
(5) SDGs

SDGsについては、「内容までよく知っている」が16.3%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が35.2%で、合計51.5%となっている。一方、「知らない」は37.2%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「知らない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



庄原市 地域福祉の推進に関するアンケート調査

～ご協力をお願い～

市民の皆様には、日頃から福祉の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

庄原市では、「第3期庄原市地域福祉計画」の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆様の福祉に関する現状や課題、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することといたしました。

調査の対象は、18歳以上の市民の皆様の中から3,000人を無作為に抽出させていただきました。

この調査は、無記名で回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、回答は統計的に集計を行い、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和3年8月

庄原市長 木山 耕三

ご記入に当たってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
- 2 回答は、あてはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある(○印1つ)(○印いくつでも)などに注意して記入してください。
- 3 令和3年9月1日現在の内容をお答えください。

調査のお問い合わせ先

庄原市 生活福祉部 社会福祉課 障害者福祉係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10-1

電話 (0824) 73-1210 FAX (0824) 75-0245

メール fukushi-syougai@city.shobara.lg.jp

この調査票は、**9月13日（月曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、返送してください（切手は不要です）。



～ はじめにお読みください ～

地域福祉とは？

「福祉」といえば、高齢者の福祉や障害者の福祉、児童福祉など、法律や制度によって対象者ごとに分かれたイメージがあります。

「地域福祉」とは、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、対象によって区分されることなく、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、住民一人一人が主体となって、お互いに支え合い、助け合いの関係を築きながら、様々な困りごとや不安を解決していく取組です。

地域福祉を進めることによって期待されること

ふれあいのある
地域



困ったときに
助け合える地域



見守り活動など
安心できる地域



つながりを
感じられる地域



- 庄原市では、市民の皆さんと一緒に地域福祉を進めていくための計画づくりに取り組んでいます。
- 市民参加の一つとして、このアンケートにぜひご協力ください。



● あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住まいの地域はどちらですか。（○印1つ）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 庄原地域 | 2 西城地域 | 3 東城地域 | 4 口和地域 |
| 5 高野地域 | 6 比和地域 | 7 総領地域 | |

問2 あなたの性別をお答えください（回答しにくい場合は「3」に○印をつけてください）。（○印1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問3 あなたの年齢をお答えください。（○印1つ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 | 4 40～49 歳 |
| 5 50～59 歳 | 6 60～64 歳 | 7 65～69 歳 | 8 70～79 歳 |
| 9 80～89 歳 | 10 90 歳以上 | | |

問4 あなたの主な職業をお答えください。（○印1つ）

自営業	1 農林水産業 2 商工・サービス業 3 自由業（開業医・弁護士・芸術家等）
勤め人	4 正社員・正職員 5 公務員・団体職員 6 パート・アルバイト・派遣など
その他	7 内職・在宅就業 8 家事専業 9 学生 10 無職 11 その他（ ）

問5 あなたの世帯構成をお答えください。（○印1つ）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ひとり暮らし世帯 | 2 夫婦のみの世帯 |
| 3 親と子の二世帯世帯 | 4 親と子と孫の三世帯世帯 |
| 5 その他（ ） | |

問6 あなたの同居家族の中に、次の方（あなた自身を含む）はいますか。（○印いくつでも）

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 2 小学生の子ども |
| 3 中学生の子ども | 4 高校生以上の子ども |
| 5 介護・介助を必要とする方 | 6 いずれもない |

● 地域との関わりについておたずねします

問7 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。（○印1つ）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 困ったときに助け合う親しい人がいる | 2 お互いに訪問し合う人がいる |
| 3 立ち話をする程度の人がある | 4 あいさつをする程度の人がある |
| 5 ほとんど近所付き合いはない | |

問8 あなたは、今住んでいる地域（おおむね自治振興区の区域）について、どのように思いますか。
次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○印1つつつ）

	そう 思う	どちらか と い え ば そ う 思 う	あ ま り そ う は 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い
① 愛着を感じている	1	2	3	4	5
② 高齢者にとって、住みやすい	1	2	3	4	5
③ 障害者にとって、住みやすい	1	2	3	4	5
④ 子どもや子育て家庭にとって、住みやすい	1	2	3	4	5
⑤ 他の地域から転入してきた人にとって、住みやすい	1	2	3	4	5
⑥ 近所付き合いや助け合いなど近隣関係が良好である	1	2	3	4	5
⑦ 自治振興区や自治会などの地域活動が活発である	1	2	3	4	5
⑧ ボランティア活動が活発である	1	2	3	4	5
⑨ 買い物などの日常生活が便利である	1	2	3	4	5
⑩ 図書館や自治振興センターなどの公共施設の利用が便利である	1	2	3	4	5
⑪ 福祉施設や福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5
⑫ 病院や診療所などの医療施設が充実している	1	2	3	4	5
⑬ 高齢者が集える場所が充実している	1	2	3	4	5
⑭ 障害者が集える場所が充実している	1	2	3	4	5
⑮ 子どもや子育て家庭が集える場所が充実している	1	2	3	4	5
⑯ 静けさや緑が多いなど、環境が良好である	1	2	3	4	5

問9 あなたにとって、助け合いや支え合いができる「地域」とは、どの範囲だと思いますか。
(○印1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 隣・近所 |
| 2 自治会 |
| 3 自治振興区 |
| 4 小学校区・中学校区 |
| 5 地域(庄原・西城・東城・口和・高野・比和・総領) |
| 6 庄原市全体 |
| 7 その他() |

問10 あなたが参加している地域の行事や町内活動などについてお答えください。(○印いくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 自治振興区や自治会、班、常会などの活動 | 2 女性会等の活動 |
| 3 老人クラブ活動 | 4 子ども会やPTA活動 |
| 5 防犯活動・交通安全活動 | 6 高齢者支援活動 |
| 7 趣味のサークル・文化・スポーツ活動 | 8 消防団活動 |
| 9 生涯学習活動 | 10 子育て支援活動 |
| 11 障害者支援活動 | 12 まちづくり活動 |
| 13 宗教行事 | 14 お祭り・盆踊りなど |
| 15 子どもや青少年の育成活動 | 16 その他() |
| 17 参加したことがない | |



問10で「1～16」と回答した方は次は問12へお進みください

問11 【問10で「17」と回答した方におたずねします】

参加したことがない理由は何ですか。(○印いくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1 忙しくて時間がない | 2 一緒に参加する人(顔見知りなど)がいない |
| 3 人間関係がわずらわしい | 4 役員や世話人になりたくない |
| 5 参加するきっかけがない | 6 家族の協力・理解がない |
| 7 健康や体力に自信がない | 8 行事や活動に関する情報がない |
| 9 子どもや介護が必要な家族をみってくれる人がいない | 10 身近なところに活動の場がない |
| 12 活動に経費がかかる | 11 興味の持てる活動が見つからない |
| | 13 その他() |

問 12 ①ご近所のお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをしてもらいたいこと」はありますか。（○印いくつでも）

②ご近所のお付き合いの中で、あなたのご近所に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたが「手助けできること」はありますか。（○印いくつでも）

	①手助けをして もらいたいこと ↓	②手助け できること ↓
(1) 日頃の安否確認の声かけ・見守り	1	1
(2) 災害時における避難等の手助け	2	2
(3) 話し相手	3	3
(4) 短時間の子どもの預かり	4	4
(5) 短時間の家族の介護・介助や見守り	5	5
(6) 通院・買い物など外出の手伝い	6	6
(7) ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い	7	7
(8) 食事の準備や後片づけ	8	8
(9) 特にない	9	9

問 13 あなたは、地域の福祉課題（例：ひとり暮らし高齢者の見守り、生活困窮、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、社会的孤立など）に関心がありますか。（○印1つ）

1 とても関心がある	2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心はない	4 全く関心はない

問 14 あなたの住んでいる地域では、福祉に関して、どのような問題や課題があると感じていますか。（○印いくつでも）

1 身の回りのことについて相談できる人が少ない	2 自治振興区や自治会の役員のなり手、担い手が少ない
3 住民同士の助け合い活動が少ない	4 世代間の交流や付き合いが少ない
5 高齢者や障害のある人などが暮らしやすい環境の整備	6 高齢者の介護やひとり暮らしの高齢者への生活支援
7 高齢者の社会参加や生きがいづくり	8 子育て家庭の育児疲れやストレスの問題
9 子どもの非行やいじめ	10 子どもの遊び場が少ない
11 共働き家庭の子どもの生活	12 母子家庭や父子家庭の子育て
13 支援が必要な人の災害時の避難体制	14 地域の防犯
15 通院・買い物などの移動手段	16 高齢者や障害者、子ども等への虐待
17 生活困窮	18 特にない
19 その他（	）

問 15 あなたは、経済的に困っている人※¹や社会的に孤立している人※²に対して、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 いろいろな相談ができる福祉窓口の充実 | 2 住まいを確保するための支援 |
| 3 仕事に就くための支援 | 4 生活再建のための貸付金制度の利用支援 |
| 5 生活に困っている世帯の子どもが学習や進学をするための支援 | 6 社会参加の場の確保 |
| 8 地域の支援ネットワークづくり | 7 住民の理解の促進 |
| 10 その他（ ） | 9 誰も孤立させない地域づくり |
| | 11 わからない |

※1【経済的に困っている人】多重債務者、ホームレス、就業をせず職業訓練も受けていない人など、様々な事情により経済的に困窮している人(生活困窮者)のこと。

※2【社会的に孤立している人】ニートの状態にある若者(就業しておらず、通学も家事もしていない 35 歳程度までの若者)や閉じこもりの人など、生活の活動空間がほぼ家の中のみなどに限定されている人のこと。

問 16 近年、子どもの貧困が社会問題となっていますが、あなたは、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 学校以外での学習の支援 | 2 進学などのための奨学金制度の充実 |
| 3 多様な体験活動の機会の提供 | 4 こども食堂などの居場所や食事の提供 |
| 5 何でも相談できる場所の提供 | 6 親の就労など自立に向けた支援 |
| 7 保護者等への経済的な支援 | 8 その他（ ） |
| 9 わからない | |

問 17 災害時に避難の誘導など、あなたの手助けをしてくれる人はいますか。（○印いくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 同居の家族（同敷地内別居も含む） | 2 別居の家族（近隣・市内在住） |
| 3 別居の家族（市外に在住） | 4 隣・近所の知人 |
| 5 市外在住の知人 | 6 自治振興区や自治会の役員等 |
| 7 地域のサロン・見守り活動のメンバー | 8 地域の自主防災組織の人 |
| 9 民生委員・児童委員 | 10 ひとり暮らし高齢者巡回相談員 |
| 11 勤務先又は近所の会社・商店などの人 | 12 入所又は近所の障害者・高齢者施設の人 |
| 13 関係しているボランティアやNPOの人 | 14 近所の教育・保育施設の人 |
| 15 利用中のヘルパーやケアマネジャー等 | 16 かかりつけ又は近所の医療機関の人 |
| 17 その他（ ） | 18 わからない |
| 19 手助けしてくれる人はいない | |

問 18 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。
(○印3つまで)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 日頃からのあいさつや声かけ、付き合い | 2 地域・近所での協力体制づくり |
| 3 日頃の避難訓練 | 4 地域の支援や配慮が必要な人の把握 |
| 5 支援や配慮が必要な人への支援体制の整備 | 6 災害時の情報伝達方法の確立 |
| 7 災害時ボランティアの育成 | 8 災害時ボランティアの受入れ体制の確立 |
| 9 その他 () | 10 特にない |

問 19 あなたは、今までボランティア活動に参加したことがありますか。(○印いくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 道路や河川などの環境美化に関すること | 2 防災や防犯など安全に関すること |
| 3 災害ボランティアに関すること | 4 スポーツ活動に関すること |
| 5 お祭りなどの催しや行事に関すること | 6 高齢者の福祉に関すること |
| 7 障害のある人の福祉に関すること | 8 子育て支援に関すること |
| 9 健康づくりに関すること | 10 文化や芸術活動に関すること |
| 11 その他 () | 12 参加したことがない |

問 20 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○印1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 ぜひ参加したい | 2 自分ができる範囲であれば参加したい |
| 3 あまり参加したいと思わない | 4 参加したくない |
| 5 参加できない | |

問 21 今後、ボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○印3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する |
| 2 企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする |
| 3 学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う |
| 4 地域で児童・生徒のボランティア活動を充実する |
| 5 ボランティア活動に関する相談支援を充実する |
| 6 活動の拠点となる場所を提供する |
| 7 ボランティアに関する研修を開催する |
| 8 ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する |
| 9 ボランティアへの参加を広く市民に呼びかける |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |
| 12 特にない |

問 22 地域福祉を推進するために、今後、あなた自身ができることは何ですか。（○印3つまで）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 地域のことに関心を持つ | 2 福祉に関する知識や技術を身に付ける |
| 3 地域での活動に積極的に参加する | 4 地域の人と活発に交流する |
| 5 できる範囲で地域に貢献する | 6 その他（ ） |
| 7 特になし | |

問 23 あなたは、誰もが住み慣れた地域で安心して生活するために、どのようなことが特に必要だと思いますか。（○印5つまで）

- 1 自分の健康は自分で守るよう、気をつけること
- 2 家族や親戚同士で、助け合う意識
- 3 地域や近隣で、助け合う意識
- 4 自治振興区や自治会等、住民による地域活動の活性化
- 5 地域が主体となっていく、見守りや支え合いの活動の活性化
- 6 介護予防や健康づくりに関する住民活動の活性化
- 7 福祉や保健に関するボランティア活動の活性化
- 8 高齢者や障害者、子育て家庭などが集う場所（サロン）づくり
- 9 地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材（コーディネーター）の育成
- 10 住民間の調整や住民と関係団体をつなぐ人材（コーディネーター）の育成
- 11 福祉や子育て、保健に関する情報提供の充実
- 12 様々な生活上の困りごとに関する相談窓口の充実
- 13 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスや在宅医療体制の充実
- 14 社会保障制度（年金・医療・介護）の充実
- 15 その他（
- 16 特になし

問 24 あなたは、今後、庄原市にはどのような地域活動が重要だと思いますか。（○印3つまで）

- 1 地域を元気にする活動（自治振興区や自治会での交流活動など）
- 2 災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要支援者の見守りなど）
- 3 高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出時の付き添いなど）
- 4 障害のある方を支援する活動（手話、点字、要約筆記、軽介助、外出時の付き添いなど）
- 5 子育てを支援する活動（子育て交流会や乳児健診、児童の一時預かりなど）
- 6 児童の健全育成の活動（スポーツの指導、子ども会の活動など）
- 7 介護予防や健康づくりの活動（運動教室、生活習慣病予防、食育など）
- 8 特技や趣味を生かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）
- 9 周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）
- 10 地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど）
- 11 その他（ ）
- 12 特になし

問 25 地域における「福祉」を誰が担うべきかという考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。（○印1つ）

- 1 できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親戚で支え合うべきである
- 2 地域の人がお互いに協力し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである
- 3 住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである
- 4 福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである
- 5 福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである
- 6 その他（ ）

問 26 地域福祉を推進するために、行政（庄原市）はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印5つまで）

- 1 広く市民に対して地域福祉活動の意義と重要性を周知・啓発する
- 2 隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する
- 3 困りごとを気軽に相談できる身近な福祉相談窓口を充実する
- 4 地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材を育成する
- 5 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
- 6 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う
- 7 福祉活動の相談や指導を担当する専門職員を増やす
- 8 困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する
- 9 困っている人や助け合いの場、組織についての情報を入手しやすくする
- 10 地域福祉への関心を高める講座や研修会を充実する
- 11 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
- 12 防災に関する関心を高める啓発を推進する
- 13 福祉サービスを利用する人の権利を守る制度を周知する
- 14 福祉に関わる人や機関とのネットワークを構築する
- 15 困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなげる仕組みをつくる
- 16 地域福祉の推進に向けた話し合いの場を充実する
- 17 その他（ ）
- 18 特にない

問 27 庄原市と庄原市社会福祉協議会では、自治振興区等が主体となって、高齢者等の世帯の見守りや支援など、誰もが住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、「協議体（おたがいさまネット・〇〇サロン（集まりの場）など）」の取組を充実させています。あなたは協議体について知っていますか。（○印1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 聞いたことがない → 問 29 へお進みください

問 28 【問 27 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

あなたの住んでいる地域では「協議体」に取り組んでいますか。（○印1つ）

- 1 地域で取り組んでおり、自分も活動に関わっている、又は支援を受けている
- 2 地域で取り組まれているが、自分は活動に関わっていない
- 3 自分の住んでいる地域では、取り組まれている
- 4 自分の住んでいる地域で、取り組まれているかどうか知らない
- 5 その他（ ）

問 29 あなたは、成年後見制度※について知っていますか。（○印1つ）

- 1 名前も内容も知っている
- 2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知らない → 問 31 へお進みください

※【成年後見制度】認知症、知的障害、精神障害などの理由により判断能力が十分でない方の財産や権利を守るための制度。本人が不利益を受けないように、家庭裁判所に選任された「成年後見人」や「保佐人」などが、本人に代わって財産の管理や日常生活上の手続きを行う。

問 30 【問 29 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

あなたは、成年後見制度の相談窓口を知っていますか。（○印1つ）

- 1 知っている
- 2 知らない

問 31 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。（○印1つずつ）

	知っている	名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない	知らない
（1）避難行動要支援者 災害時に自力での避難が困難で、かつ「家族の支援が得られない方」又は「家族の支援だけでは避難が困難な方」のこと。	1	2	3
（2）8050問題 高齢の親と同居する無職やひきこもり状態の子どもが抱える生活課題のこと。80代の親が50代の子どもの生活を支えるという事例が、その社会的背景となっている。	1	2	3
（3）ダブルケア問題 一人の人や一つの世帯が、同時期に介護と育児の両方に直面する状態に生じる様々な問題のこと。晩婚化や晩産化も一つの要因と考えられている。	1	2	3

	知っている 内容までよく 知っている	名前を見聞きした ことはあるが内容 はよく知らない	知らない
（４）ヤングケアラー問題 法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、子どもが日常的に行っている場合の様々な問題のこと。	1	2	3
（５）SDGs（Sustainable Development Goals） 平成27年9月に国連サミットで採択された、全ての国がその実現に向けて目指すべき「持続可能な開発目標」で、貧困の根絶や不平等の解消、環境との調和など17のゴールから構成され「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す目標のこと。 	1	2	3

問 32 地域福祉の推進についてのご意見・ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、自由にご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

庄原市 地域福祉の推進に関するアンケート調査 報告書

発 行／令和 3（2021）年 10 月
発 行 者／庄原市 生活福祉部 社会福祉課 障害者福祉係
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10-1
電 話（0824）73－1210
FAX（0824）75－0245
E - Mail／fukushi-syougai@city.shobara.lg.jp
